

第七十五回帝國議會 衆議院 所得稅法改正法律案外三十件 小委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十五年三月八日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

小委員長 小山倉之助君

理事川崎末五郎君 理事內藤 正剛君

理事石井徳久次君 理事瀧澤 七郎君

長野 高一君 成島 勇君

飯田 助夫君 塚本 三君

宮本雄一郎君 上田 孝吉君

山川頼三郎君 森田 福市君

小見山七十五郎君 永江 一夫君

青木 作雄君 武田徳三郎君

同日委員西川貞一君及池本甚四郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ森田福市君及塚本三君ヲ委員長ニ於テ選定セリ

同日理事西川貞一君ノ補闕トシテ瀧澤七郎君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

內務書記官 古井 喜實君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

出)

○小山委員長 是ヨリ開會致シマス——永

江一夫君

○永江委員 私ハ今回ノ地方稅改正案ニ件

ヒマシテ起リマシタ三部經濟制度ノ廢止ニ

關シマシテ、當局ニ御尋ヲ致シタイと思ヒ

マス、是ハ今日殘ツテ居リマス所ハ、御

承知ノヤウニ愛知縣ト兵庫縣ダケデアリマ

シテ、限ラレタ地方のナ經濟制度ノ廢止ニ

關シマシテ、此ノ席上ヲ借りテ質問ヲ致シ

マスコトハ、地方的ナ事ヲ私共ガ強調スル

ヤウニ取ラレ易イノデアリマスケレドモ、

三部經濟制度ト云フモノガ今日マデ存續致

シテ居リマスノニハ、歴史のニ見マシテソ

レ相應ノ理由ガ存在シテ居ツタノデアリマ

ス、隨テ今回稅制改革ト共ニ、此ノ愛知縣

及ビ兵庫縣、三部經濟制度ヲ廢止サレヨウ

トサレマス所ノ當局ノ御方針ト云フモノハ、

延イテハ都制及ビ特別市制ニ關スル政府ノ

實質上ノ方針トモ關聯ヲ致シマスシ、此ノ

制度ヲ廢止スルト云フ方針ノ中ニハ、將來

ノ地方制度ニ對シマスル政府ノ方針ト云

フモノモ明ニナツテ參リマスノデ、此ノ兵

庫縣及ビ愛知縣ニ於キマスル三部經濟制度

ノ廢止ト云フコトハ、大局のニ見マシテ、

政府ノ考ヘテ居ラレマス所ノ地方制度ニ重

大ナ關聯ガアリマスノデ、唯單ニ是ハ愛知

縣及ビ兵庫縣ノ限ラレタ地方問題デアル、

斯ウ云フヤウニ片付ケテシマフコトハ當ラ

得ナイモノト思ヒマスカラ、敢テ此ノ委員

會ニ於キマシテ相當ナ時間ヲ拜借シテ、此

ノ點ニ付テ政府ノ所信ヲ御尋致シタイノデ

アリマス、私ノ質問ハ地方ニ相當關係ガア

リマスノデ、直接關係ナキ地方ノ方々ニ對

シマシテハ、稍、説明的ナ議論ニモ互ルカモ

知レマセスガ、其ノ點ハ豫メ御諒承願ツテ

置キタイノデアリマス

第一ニ御尋ヲ致シタイノハ、政府モ十分

御承知ノヤウニ、今日愛知縣及ビ兵庫縣ニ

アリマス三部經濟制度ト云フモノハ、明治

十三年ニ創設セラレマシテ、爾來六十年ノ

付託議案

地方稅法案(政府提出)(第四七號)

地方分與稅法案(政府提出)(第四八號)

府縣制中改正法律案(政府提出)(第四九號)

市制中改正法律案(政府提出)(第五〇號)

町村制中改正法律案(政府提出)(第五一號)

北海道會法中改正法律案(政府提出)(第五二號)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第五三號)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第五四號)

歴史ヲ持ツテ居ルコトハ御承知ノ通りデア

リマス、即チ明治十一年ノ布告ニ基キマシ

テ、我が國ノ府縣會規則及ビ郡區町村編制

法ガ定メラレタノデアリマスガ、當時既ニ、

都府港市ノ地人民輻湊貿易繁昌ノ所ハ郡村

ト其ノ利益狀態ヲ異ニスルヲ以テ一般郡制

ヲ概行スベカラズトサレマシテ、同一府縣

ニ於テモ都市ト町村トハ、自ラ施設スベキ事

業モ負擔力モ異ルモノデアリマスガ爲ニ、

之ヲ同様ニ律スルコトヲ得ナイト云フ關係

カラ、大體大都市所在ノ府縣ニ此ノ三部經

濟制度ト云フモノノ特例ガ認メラレテ來タ

ノデアリマス、此ノ特例ヲ其ノ後東京、大

阪、京都等ニ於キマシテハ一時廢止ヲシタ

コトガアリマスガ、ヤハリ地方ノ猛烈ナ反

對デ、直チニ翌年復活シタト云フ例モアリ

マスルノデ、今日マデ大都市ノ間ニ於テ名

古屋ト神戸ダケガ、此ノ三部經濟制度ノ下

ニ置カレテ、他ノ都市デハソレモ、廢止ガ

實現サレテ居リマスケレドモ、此ノ三部經

濟制度ト云フモノノ歴史カラ見マシテ、今

日政府ガ是ノ廢止ヲ強行セラレルト云フコ

トニ付キマシテハ、何カ大キナ御方針ノ上

デナサレテ居ルト思ヒマスガ、一應其ノ點

ヲ御説明願ヒタイと思ヒマス

○按間政府委員 三部制度ハ現在二縣ニ殘存シテ居リマスガ、元來府縣制ノ建前カラ申シマス、府縣ノ經濟ト云フモノハ單一デアリ、府縣ガ一體トシテノ經濟團體、一個ノ經濟ヲ以テ財政經理ヲ爲スベキモノデアル、ソレガ理想デアルト云フコトハ申シマスモナシ、現在此ノ二縣ニ殘ツテ居リマス所以ノモノハ、其ノ縣ノ從來ノ沿革上已ムヲ得ナイ事情ガアルト云フ譯デアツタト思フノデアリマスガ、今回稅制ガ改正ニナリマシテ、斯ウ云フ根本的ノ變革ガ參リマシテ、其ノ趣旨トスル所ガ、現在ノ各地方團體間ニ於ケル財政狀態カラ考ヘテ見マシテ、各地方團體相互間ニ於ケル負擔ノ不均衡ヲ調整ラ致シマシテ、負擔關係ヲ正シ、且ツ財政ノ確立ヲ期スルト云フ方針ノ下ニ稅制ヲ根本的改正ヲスルノデアリマス、隨テ三部制ノ如ク、一府縣内ニ於テ其ノ負擔關係ヲ別ニスルト云フ制度ヲ殘シマスコトハ、此ノ稅制ノ根本ノ建前カラ考ヘマス、ソコニ相當矛盾シタ制度ガ殘存スルト云フコトニナル譯デアリマス、隨テ此ノ機會ニ於テ、地方自治ノ根本ノ理想ニ從ツタ渾一シタ制度ニ改メテ參ラナレバナラスト思フノデアリマス、是ガ三部制ヲ廢止致シマス理論的ノ根據デアリマス、尙ホ今日ノ分與稅制ヲ施行スルニ當ツテ、府縣團體ノ内ニ別個ノ經濟ガゴザイマスコトハ、分與稅ヲ施行スルニ付テ技術的ニ非常困難ガアリ、又分與稅ヲ分與スルニ付キマシテ、他ノ府縣トノ間ニ於ケル非常權衡ヲ失スルコトニナリ、技術的ニ到底ハ殘シテ置クコトガ出來ナイコトニナルノデ、斯ウ云フ技術的ノ見地カラ致

シマシテモ、三部制ヲ廢止セザルヲ得ナイ、斯ウ云フ理由ヲ以チマシテ今回三部制ノ廢止ヲ斷行スルコトニ致シタノデアリマスガ、併シ其ノ廢止ニ當ツテ、從來ノ沿革モアリマスカラ、其ノ善後措置ニ付キマシテハ適當ナル手段方法ヲ立テマシテ、府縣行政ノ圓滿ヲ缺クコトノナイヤウニ致シタイト考慮致シテ居ルノデアリマス

○永江委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、第一ハ負擔ノ不均衡ヲ正スルト云フ稅制ノ建前カラ廢止スルト云フノガーツ、第二ニハ今回創設サレマス分與稅ノ配分方法ノ上ニ於テ不便ガアルカラト云フノガ其ノ二ノヤウニ承ツタノデアリマス、私ハ其ノ前ニ、稅トハ關係ナシニ仰シヤツタコトト思ヒマスガ、一府縣ニ於ケル單一化ト申シマセウカ、府縣内ニ於テ經濟ガ分レテ居ルコトニ付テ、當局ハ之ヲ單一化スル必要ガアル、斯ウ云フコトヲ併セテ御答辯ニナツテ居リマス、以上三ツノ點ヲ私ハ區分シテ少シ當局ノ御方針ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、其ノ一ツハ、長イ間特別市制ト云フモノガ六大都市ニ於テ問題ニナリマシタ、政府モ東京ニ都制案、或ハ五大都市ノ特別市制案ト云フモノヲ近イ將來ニ於テ出シタイト云フ御意向デゴザイマス、尙ホ東京都制案ニ付キマシテハ、先日地方局長ノ御答辯ニアリマシタヤウニ、都長ノ官選カ公選カト云フ一點ガ問題トナツタ爲ニ、議會ノ討議ノ對象トハ今日ナツテ居ラヌヤウデアリマス、ソレデハ都長ノ官選公選ト云フ問題ハ別ニ致シマシテ、當局ノ御考ニナツテ居ル都制案トカ特別市制案ト云フモノノ實體ガ私ハ問題ニナツテ來ルト思フノデアリマス、今私ガ質問致シテ居リマス三部經

濟制度ノ建前カラ申シマス、御承知ノヤウニ私ハ神戸市カラ選バレテ參ツテ居ルノデ、神戸市ノ例ヲ取ルコトヲ御許ラ願ヒタイと思ヒマス、何レ塚本サンカラ名古屋及ビ愛知縣ノ例ニ付テ御尋ガアルト思ヒマスガ、從來ノ兵庫縣ニ於ケマス稅制ノ上カラ申シマス、此ノ三部經濟制度ノ上カラ申シマシテ、神戸市内ニ於テハ國稅ト市稅ハ納メテ居ルノデアリマスガ、兵庫縣ノ縣稅ハ納メテ居ラスノデアリマス、是ハ勿論形式デアリマス、サウシテ神戸市稅ノ中ニ兵庫縣稅ヲ合セテ徵收ガセラレテ居リマシテ、神戸市カラ兵庫縣ニ對シマシテ、縣會ノ議決ニ從ツテ分擔金ヲ納付シテ居ル制度デゴザイマス、斯ウ云フ制度デ、今申シマシタヤウニ數十年兵庫縣ニ於テハ此ノ制度ガ存續シテ來テ居ルノデアリマス、是ハ見方ニ依リマス、稅制ノ上ニ於ケル一ツノ特別市制デハナイカト思フノデアリマス、唯單ニ都制デアルトカ、特別市制ト云フ言

シテモ、特別市制或ハ都制ト云フモノガアリマスレバ、其ノ内容ニ於テハ、府縣支辨デナクシテ、ヤハリ市カラ支辨ヲサレルヤウナコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府ハ近イ將來ニ於テ、都制及ビ特別市制案ヲ御出シニナル御意思ガアルノデアリマスガ、其ノ内容ガ稅ノ上カラ申シマシテモ、教育費ノ府縣支辨ノ上カラ申シマシテモ、特別市制乃至都制ノ内容トハ合致シテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ如何デアリマスカ

○按間政府委員 大都市ニ特別制度ヲ施行スルト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ最近ニ於ケル大都市ノ發達ノ狀況カラ見マシテ、ドウシテモ拾置キ難イ、早晚實現シナレバナラヌ問題デアルト考ヘテ居リマスガ、例ニ御舉ゲニナリマシタ二三ノ點ハ、特別市制ノ問題トハ全ク別ノ問題デアルト思フノデアリマス、現在大都市ニ對スル特別ノ扱ヒニ付キマシテハ、六大都市ノ行政監督ニ關スル特別ト云フモノガ出テ居リマス、是ハ詰リ府縣ノ外ニ六大都市ヲ置クト云フ制度デアツテ、是ハ私ハ特殊ノ特別市制デアルト思フノデアリマスガ、今例ニ御舉ゲニナリマシタ府縣費ハ分賦、所謂府縣稅ヲ取ラズシテ府縣費ヲ其ノ市ニ分賦スルト云フコトハ、詰リ府縣ノ下ニ大都市ガアルト云フ前提ノ下ニ、其ノ府縣ノ費用ヲ如何ナル形ニ於テ、市稅トシテ取ツテ府縣ニ納メルカ、或ハ府縣ガ直接ニ稅ヲ取ルカト云フノデアツテ、府縣カラ獨立シタ形デアリ、府縣ノ下ニアル形デアリ、又教員給ノ問題ニシマシテモ、假ニ六大都市ガ全然府縣カラ逸脱シテ、別個ノ對等ナ地位ニ立ツト云フノデアレバ、是ハ一種ノ特別市制ノ形ヲ

シテモ、特別市制或ハ都制ト云フモノガアリマスレバ、其ノ内容ニ於テハ、府縣支辨デナクシテ、ヤハリ市カラ支辨ヲサレルヤウナコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府ハ近イ將來ニ於テ、都制及ビ特別市制案ヲ御出シニナル御意思ガアルノデアリマスガ、其ノ内容ガ稅ノ上カラ申シマシテモ、教育費ノ府縣支辨ノ上カラ申シマシテモ、特別市制乃至都制ノ内容トハ合致シテ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ如何デアリマスカ

取ルカト思ヒマスガ、サウデナケレバ是ハヤハリ府縣ノ下ニアル形デアリマスカラ、特別市制ノ一熊形トハナラスト考ヘルノデアリマス、吾々ノ考案致シテ居リマス特別市制ト云フノハ、要スルニ府縣カラ逸脱シ、府縣ト同格ニナリ、中央機關ノ直接ノ指揮監督ノ下ニアル所ノ第一次ノ自治體トシテ自治ヲ運営スルヤウナ機構ニスルト云フコトニ、特別市制ト云フモノノ本體ヲ置イテ居ルノデアリマス、隨テ是ハ三部制ト云フ問題トハ全ク別箇ノ問題デアルト思ヒマスシ、今御述ニナリマシタヤウナ二三ノ問題トモ全然其ノ出發點ヲ異ニシタ、モット大キナ「スケール」ノ自治機構トシテ考ヘタイト思ツテ居ルノデアリマス

○永江委員 只今ノ地方局長ノ御答辯ニ依リマス、現在兵庫縣ニアリマス三部經濟制度ヨリモ、若シ假ニ特別市制ガ布カレマシタ場合ヲ考ヘマス、府縣ノ監督ヲ離レタ一ツノ都市ガ出來テ來ルノデアリマスカラ、今申シテ居リマスルヤウナ三部經濟制度ノ上ノ稅制デアルトカ、或ハ義務教育費ノ府縣支辨ト云フヤウナコトハ、遙ニ超越シマシテ、根本的ニ左様ナ問題ハ清算サレテ行クト私モ考ヘルノデアリマス、サウ致シマス、今局長ガ仰シヤツテ居ルヤウナ特別市制ナリ或ハ都制ト云フモノガ、來議會ニ出ルモノト致シマスナラバ、何ヲ好ンデ今議會ニ於テ——此ノ特別市制ガ布カレマス場合ヲ考ヘテ見マシテモ、其ノ方ガ現在ノ三部經濟制度ヨリモ尙ホ鞏固ナ都市獨立ノ形ヲ取ルノデアリマスカラ、サウ云フ特別市制ト云フモノヲ實施サレル御意思ガアルモノデアリマスカラ、今日只今名古屋ト神戸ニ於ケル此ノ制度ヲ廢止セラレ

ルト云フヤウナ必要ハナイト思フガ此ノ點ハ如何デザイマスカ
○挾間政府委員 三部制ハ是ハ府縣ノ經濟ヲ分別スルト云フノデアツテ、ドウモ府縣ガ單一ノ地方團體トシテアリナガラ經濟ヲ分別スルト云フ所ニ、非常ニ不合理性ガアル譯デアリマスカラ、現行ノ機構ノ下ニ於キマシテハドウシテモ之ヲ存續セシメルコトハ出來ナイト思フノデアリマシテ、ソレハ先刻理由ヲ申上ゲタ通りデアリマス、特別市制ノ問題ハ無論早晚ハ解決シナケレバナラヌ問題ト思ヒマスカレドモ、其ノ時期ニ付キマシテハ私カラハツキリ申上ゲルコトモ出來マセヌシ、ソレハ此ノ三部制廢止ノ問題ト不可分ノ關係ニアルモノトハ申上ゲ兼ネルト思フノデアリマシテ、是ハ別ノ問題トシテ考究シ進行シタイト考ヘテ居リマス

○永江委員 ドウモ其ノ點私ハ徹底セヌト思ヒマス、假ニ特別市制ガ明年或ハ明後年デモ宜シイガ布カレルモノト致シマス、稅制ノ上ニ於テモ、或ハ義務教育費ノ府縣支辨ノ問題ニ致シマシテモ、今日此ノ委員會議問題ニナツテ居ルヤウナコトハ全部解決スル、斯ウ私ハ思フノデアリマスガ、特別市制ガ實施サレマシテモ、義務教育費ノ府縣支辨ト云フコトハヤハリ大都市ニハ行ハレル譯デアリマスカ、或ハ又稅制ノ上ニ於テモ、今日ノ稅制ハ其ノ儘特別市制或ハ都制ガ布カレマシタ都市ニ於テ施行サレルノデアルカ、此ノ點一ツ伺ヒタイ

○挾間政府委員 東京都制或ハ他ノ大都市ノ特別市制ト云フモノハ、吾々ノ希望トシテハ、出來ルダケ速ニ之ヲ制定實施シタイト思ヒマスカレドモ、何時ソレガ實現スルカト云フコトニ付キマシテハ、何人ト雖モ此處デ斷言スルコトハ出來ナイ問題デアリマス、私カラハツキリ申上ゲ兼ネルト思フノデアリマス、併シナガラ是ガ假ニ明年或ハ明後年實施シ得ルト致シマシテモ、其ノ間ニ一年ナリ數年ノ期間ヲ殘スコトニナルト思ヒマス、ソコデ此ノ三部制ガ存續シテ、其ノ不合理ナ狀態ノ下ニ於テ分與稅制ヲ施行スルト云フコトハ、技術的ニモ理論的ニモ容認出來ナイト云フコトニナリマス、假ニソレガ一年デアラウト二年デアラウト、ソコニ三部制ノ存續ヲ許サナイト云フコトニ付キマシテハ同様デアルト思ヒマス、假ニ都制、特別市制ガ早晚實現致シマシテモ、ソレトバ別箇ノ問題トシマシテ、三部制ヲ廢スト云フコトハドウシテモ此ノ機會ニ於テ實現ヲ致サナケレバナラスト考

權ノ所屬ガ變ツテ來ルノデヤナイカト思ヒマス、ソレカラ稅制ニ付キマシテモ、府縣ト同ジヤウナモノトナル譯デアリマシテ、例ヘバ分與稅ニ付キマシテハ、現在デハ道府縣ト市町村、斯ウ云フ風ニ分レ、サウシテ市町村ガ大都市、都市、町村ト云フ風ニ分レテ居リマスガ、此ノ分レ方ニ付キマシテモ、或ハ道府縣、大都市、サウシテ市町村ト云フ風ニナルト云フヤウナ、稅制ノ上ニ於キマシテモ全ク變ツタ形ヲ以テ一度建テ替ヲ致サナケレバナラスト思フノデアリマシテ、是ハ唯稅制トカ個々ノ問題デナク、自治行政ノ全面的ノ機構ヲ變更スルコトニナルノデアリマシテ、ソレ故ニ、只今申上ゲマシタヤウニ、特別市制ノ問題ハ自治行政ノ上ノ全般的ノ變更トナル譯デアリマス、此ノ三部制ノ問題トハ別箇ニ、モット大キナ規模ノ自治行政ノ問題トシテ吾々ハ考ヘテ參リタイト思フノデアリマシテ、是ト特別市制ノ問題トハ別箇ニ扱ツテ參リタイト考ヘルノデアリマス

○永江委員 サウ云フ御答辯デアリマスカラ私ハ益、此ノ點ヲ強調シナケレバナラスト思フノデスガ、政府ハ特別市制ナリ或ハ都制ト云フモノハ當分出サナイノデアル、斯ウ云フノデハナクシテ、近イ將來ニ於テ出スト云フコトヲ言明サレテ居ル、而モ其ノ内容ハ、今地方局長ノ御説明ノアリマシタヤウニ、相當強力ナ全面的ニ地方制度ノ上ニ改革ガ行ハレテ來ル譯デアリマス、隨ヒマシテ、私ハ此ノ委員會ノ席上デアリマスカラ、此ノ委員會ニ關聯ノアリマスル三部經濟制度ノ問題ト、ソレカラ義務教育費ノ府縣支辨ノ問題ダケヲ取上ゲテ御尋シテ居ルダケデアリマシテ、若シ特別市制ナリ

ヘルノデアリマス

○塚本委員 只今特別市制ノ問題が出マシタカラ、何レ三部制ノ問題ハ別ノ場合ニ申述ベタイト思ヒマスガ、此ノ特別市制ノ問題ニ付テ當局ノ御意向ヲ一應承ツテ置キタイト思ヒマス、此ノ頃中カラ他ノ委員カラモ、都制並ニ特別市制ノ問題ニ付テ色々質問ガアリマシタ、只今永江委員ヨリモ同様ノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテソレノ當局カラ御答辯ガアツタノデアリマスガ、此ノ當局ノ御答辯ヲ伺ツテ居リマスルト、如何ニモ特別市制並ニ都制ノ問題ト現下ノ重大ナル時局トノ關聯性ニ付テ、ソコニ殆ンド何等ノ認識モ見受ケラレヌト云フ風ニ、實ハ私感ジテ聽イテ居ツタノデアリマス、申スマデモナク東京ガ我國ノ帝都デアルト同時ニ、倫敦、紐育ニ次イデ世界ノ三大都市ノ一ツデアリ、所謂世界ノ大都市中ノ超大都市デアアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、斯ウシタ世界ノ超大都市ヲ、三万ヤ五万ノ地方的ノ小都市ト同ジ法制ノ下ニ、同ジ地方長官ノ下ニ縛ツテ置クト云フコトハ如何ニモ不合理デハナイカ、此ノ不合理不自然ナル狀態カラ大都市ヲ解放セヨト云フコトガ、所謂從來ノ都制並ニ特別市制ニ對スル理論デアツタヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、所ガ根本ノ理論ニ於テハ何等變リハアリマセヌケレドモ、今日ハ現下ノ時局ノ重大性ト併セテ都制並ニ特別市制ノ問題ヲ考ヘナクテハナラス時機ニナツテ居ルノアハナイカト私ハ思ヒマス、近ク支那中央政權モ出來上ルヤウデアリマスガ、愈之ヲ相手ト致シマシテ所謂日滿支ノ間ニ互助連環ノ關係ガ出來ル、日本ガ盟主トナツテ東亞ノ新秩序ヲ建設シテ行ク、此ノ大キナ

仕事ヲヤツテ行キマスル爲ニハ、ドウシテモ日本ノ國內體制ト云フモノヲ之ニ堪ヘ得ルヤウニ整ヘルコトガ、今日ハ極メテ必要ナル時機ニ差迫ツテ居ルト思ヒマスルガ、ソレニハ産業、經濟、政治、教育、各般ニ向ツテ各種ノ改革ヲ加ヘナクテハナラヌト思ヒマスルガ、ソレ等ノ改革ノ中ノ一ツハ大都市ノ解放ト云フコトデナクテハナラヌト思ヒマス、東京ガ我國ノ帝都デアリマスルト同時ニ、愈、東亞ノ再建ニ著手スルコトニナリマスルト、自然東亞ニ於ケル政治ノ中心ハ東京デアアル、大阪ニ致シマシテモ日本ニ於ケル經濟ノ中心デアリマスルト同時ニ、日滿支三國ノ經濟運籌ノ中心ニナツテ來ル、名古屋其ノ他ノ大都市ニ致シマシテモ、大厚薄ノ差ハアリマスケレドモ、ヤハリサウシタ重大ナル使命ヲ擔ツテ行カナクテハナラナイ、斯ウ云フ大都市ト二三万ノ小都市ト同ジ法制ノ下ニ、府縣知事ノ監督ノ下ニ縛ツテ置クトハ、恰度軍司令官ヲ聯隊長ノ下ニ隸屬セシメ、小隊長ト中隊長ト同ジヤウニ縛ツテ行カウト云フノト全ク同ジダト思フ、サウ云フコトハ極メテ不合理不自然デアリマス同時ニ極メテ非能率的デアリマシテ、國家ノ爲ニ大都市ノ機能ヲ發揮サセルト云フ上カラ申シマスレバソレハ洵ニ不自然ナヤリ方デアアルト私ハ思ヒマス、現ニ相手ノ支那ニ於キマシテハ、上海ニ致シマシテモ南京ニ致シマシテモ北京、天津ハ勿論ノコト、漢口ニ致シマシテモ廣東ニ於キマシテモ、ソレノ特別市制ヲ布イテ各其ノ大都市ノ機能ヲ發揮スルヤウナ組織ニナツテ居リマス、滿洲ニ於キマシテモ同様、新京ニ致シマシテモ奉天、哈爾濱ニ於キマシテモ——哈爾濱ハ過般特別市制ヲ取除イ

テ省政府ノ下ニ普通ノ市ニ引直シタ所ガ、結果ガ惡イト云フノデ、最近又特別市制ノ運動ガ始マツテ居ルト云フヤウナコトデ、相手ノ支那滿洲ニ於キマシテモ既ニ然リ、日本ガ東亞ノ盟主トナツテ此ノ大キナ仕事ヲヤツテ行キマス爲ニハ、之ニ堪ヘ得ルヤウナ國內體制ヲ整ヘナクテハナラヌ、ソレニ付テハ大都市ノ解放ト云フコト、眞ツ先ニヤラナクテハナラヌ一ツノ重要ナ國策デアルト私ハ思ヒマス、單ニ六大都市ノ關係ノ問題デナクシテ、一ニ現下ノ時局ニ應ズル爲ニ國家ガ整ヘナクテハナラヌ所ノ大キナ國策デアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、色々ヤラナクテハナラヌコトガアリマスルガ、ソレニハ金モ相當掛リマセウケレドモ、此ノ都制並ニ特別市制ノ實施ノ如キハ、唯制度ヲ變ヘサヘスレバソレデ行ケル、少シモ費用ノ要ル仕事デハナイ、少クトモ内務省ノ所管下ニ於ケル仕事ト致シマシテハ、此ノ戰時體制ニ應ズル爲ニハ先ヅ以テ取上ゲラレナクテハナラヌ問題デアルト私ハ存ジマスルガ、過日來當局ノ御答辯ヲ承ツテ居リマス、殆ド十數年以前ト全ク同ジ答辯デ、目下頻リニ研究ヲ致シテ居ル、近ク提案スル積リデアアル、殆ド十年一日ノ如ク判デ捺シタヤウナ答辯デアリマシテ、而モ會テ一回モ是ガ實現ヲ見ヌノデアリマス、果シテ當局ノ此ノ頃中御答ニナリマスル近ク提案スル積リダト云フコトハ、文字通りニ之ヲ解釋シテ宜シイノデアリマスルカ、十年前ノ御答辯ノ如ク、未來永劫實現シナイ其ノ場逃レノ答辯デアルト考ヘテ宜シイノデアリマス、其ノ點承ツテ置キタイト思ヒマス

○狹間政府委員 東京都制、特別市制ニ付テノ政府當局ノ認識ニ付テノ御質疑デゴザイマスカラ、少シク所見ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、政府トシテハ特別市制ナリ東京都制ニ付テハ相當熟意ヲ持ツテ居リマス、少クトモ私ガ東京都制ニ關係シ特別市制ニ手ヲ著ケマシテカラデモ十八年ニナツテ居リマス、政府トシテハ案ヲ持ツテ居リマス、是デ進ンデ宜シイト云フ一定ノ成案モ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ間調査會モ度々開キマシテ朝野ノ御意見モ伺ツテ見タルデアリマス、議會ニモ提案致シタコトガアリマス、昭和八年ノ帝國議會ニ提案ヲ致シタコトモ、塚本サシハ十分御存ジノコトト思ヒマス、其ノ當時ハ大體政府トシマシテハ色々協議ヲ致シマシテ、通過ノ見込アリト云フ大體ノ見透シノ下ニ提案シテ、而モ提案後ニ於テ色々ノ經緯デ未議了ニ終ツタノデアリマシテ、其ノ經緯ニ付テハ十分御存ジノコトデアルト思ヒマス、決シテ政府ハ大都市ノ特別組織ニ付テ熱意ガナイノデハナイ、私ノ考ヲ持ツテシマスレバ、此ノ問題ハ自治制度上ノ大キナ問題デアルト思ヒマス、決シテ地方問題デハナイト思ヒマス、六大都市ノ如キハ日本ノ資力ノ大キナ部分ヲ占メテ居リ、經濟的活動ノ大キナ部分ヲ背負ツテ居ル自治體デアリマスカラ、ソレニ對シテ適切ナル制度ヲ設ケルト云フコトハ極メテ大切ナ問題デアツテ、決シテ一地方問題デハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シナガラ輿論乃至色々ノ方面ノ考ヘ方ト云フモノハ、是ガ一タビ組上ニ上レバ地方問題トシテ扱ハレル處ガアルノデアリマシテ、隨テ例ヘバ衆議院議員選舉法ノ如ク大キナ力ヲ以テ之ヲ押通スト云フ如キ「バ

ツクニ缺ケテ居ルト云フコトガ、私ハ此ノ
案ノ成立ヲ容易ナラシメザル一ツノ大キナ
原因デハナイカト思ツテ居リマス、決シテ
政府ガ其ノ點ニ對シテ熱意ガナイノデモ何
デモナイト私ハ思ツテ居リマス、度々案ヲ
持ツテ各方面ノ意見ヲ叩キマス、ソレニ
對シテ議論百出シテ中々案ガ纏マラナイ、
纏マラナイト云フコトハ、議會ニ於テ其ノ
案ノ成立ノ見透シガ付カナイト云フコト
ニナルノデアリマシテ、幾ラ案ヲ作りマシ
テモ、ソコニ成立ノ見込ガナイト云フナラ
バ、恰モ死兒ヲ抱イテ子守唄ヲ歌フ如キモ
ノデアルト、私ハ思ツテ居ルノデアリマス、
政府トシテハ十分ノ熱意ヲ以テ此ノ案ノ成
立ヲ希望致シテ居リマス、隨テ十年一日ノ
如ク同じ答辯ヲシテ居ルト云フ御話デアリ
マスガ、ソレハ之ヲ「バック」スル大キナ力ガ
ナイ爲ニ、或ハ政府ノ熱意ガ足ラヌト云フ
コトニモナルカモ知レマセヌガ、成立セザ
ル一ツノ原因ハソコニアルノデハナイカト
思フノデアリマス、併シナガラ今日ノ時局
ニ於テ、此ノ案ヲ一日モ早く成立セシメナ
ケレバナラヌト云フコトニ付キマシテハ、
政府當局ハ非常ナ熱意ヲ持ツテ考ヘテ居ル
ノデアリマス、折角御述ニナリマシタヤウ
ナ點ハ十分吾々モ同感ノ意ヲ表シマシテ、
速ニ案ヲ立テルヤウニ致シタイト思ツテ居
リマス

○扶間政府委員 只今申述マシタ通り、大
都市ノ背負ツテ居リマス社會經濟上ノ重要
性ト云フモノハ非常ニ大キナモノデアリ、
殊ニ今日ノ時勢カラ考ヘマスト益々其ノ重要
性ガ増シテ居リマスノデ、都制乃至特別市
制ト云フモノノ制定ノ必要ト云フコトガ益々
増加シテ參ツテ居ルコトハ御述ノ通りデ
アルト思フノデアリマシテ、此ノ意味ニ於
テ特別市制ノ制定ガ一日デモ遷延スルコト
ハ、國家ノ爲ニ採ルベカラザルコトデア
ルト考ヘテ居リマス

○塚本委員 ドウモハツキリ致シマセヌガ、
日本ガ東亞ノ盟主トシテ此ノ東亞新秩序ノ
建設ヲ是カラヤツテ行ク、ソレガ爲ニハ此
ノ重大ナル仕事ニ堪ヘ得ルヤウニ日本ノ國
内體制ト云フモノヲ整ヘナクチャナラス、
ソレニハ各方面ニ各種ノ改革ヲ加ヘナク
ヤナラスノデアアルガ、其ノ國內體制ヲ整
ル一ツノ國策トシテ、此ノ都制並ニ特別市
制問題ヲ御扱ニナル考ヘナイカ、斯ウ云フ
コトヲ御尋致シマス

○扶間政府委員 國策ト云フ言葉ノ意味如
何ニ依ルト思ヒマスケレドモ、先刻モ申上
ゲマシタヤウナ意味ニ於キマシテ、地方自
治制度ノ整備充實ト云フコトハ、私ハ都制
ニ致シマシテモ、特別市制ニ致シマシテモ、
又一般ノ地方制度ニシマシテモ、戰時體制
ノ國內強化ト云フ意味ニ於キマシテハ大切
ノ國策デハナイカト思フノデゴザイマシテ、
此ノ意味ニ於キマシテハ塚本サンノ御述ニ
ナルコトニ同感デゴザイマス

○塚本委員 率直ニ御尋致シマスガ、政府
ハ案ヲ設ケテ來議會ニ御提案ニナル決意ガ
アリマスカ、或ハ其ノ目標ノ下ニ少クトモ
政府ガ此ノ問題ヲ御進メニナル考デアリマ
スカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○扶間政府委員 是ハ私カラ申上ゲルコト
ハ如何カト存ジマスガ、御存ジノ通り政府
ニハ地方制度調查會ト云フ調査會ガアリマ
シテ、其ノ中ニ第一特別委員會ト云フモノ
ガアツテ、今東京都制ヲ審議繼續中デア
リマス、他ノ大都市ノ特別制度ニ付テハマ
ダ研究ヲ致シテ居リマセヌケレドモ、當局
トシマシテハ速ニ此ノ制度ヲ調査スベク特
別委員會デモ設ケマシテ、サウシテソレニ
ハ他ノ大都市ノ府或ハ市ノ關係方面ノ方々
ノ參加ヲ御願シテ、行政財政各方面ニ意見
ヲ述ベテ戴キマシテ、政府ノ考ヘテ居リマ
ス案トソレトヲ對照シテ、適當ナ特別市制
案ト云フモノヲ作成スルヤウニ早々著手ヲ
致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデ
アリマス、是ハ大體事務當局ト致シマシテ
ハ斯ウ云フ腹案ヲ持ツテ居リマスガ、恐ラ
ク内務大臣トシテモ左様ナ方針ヲ以テ御進
メニナル御決意デアラウト私ハ想像致シテ
居リマス

○塚本委員 東京都制案ニ付テハ大體モウ
成案ガ出來テ居ル、他ノ五大都市ノ特別市
制ニ付テハマダ出來テ居ナイ、斯ウ云フ御
答デアリマスガ、此ノ運動ノ長イ經過カラ
考ヘテ見マスルト、東京都制ヲ實現ナサル
ニハ、同時ニ五大都市ノ特別市制案ヲ共ニ
出シテ實現サセルト云フ途ヲ執ラレルコト
ガ、一番事ヲ成立セシメルニシ易イヤウニ
私共ハ考ヘマスルガ、ドウカ其ノ目標ノ下
ニ一ツ問題ヲ御進メニナルコトヲ希望致
シマシテ、關聯ノ質問デアリマスカラ是デ
終リマス

○永江委員 私ハ地方局長ニ、只今塚本委
員トノ質問應答ニ現ハレテ居リマスル特別
市制ノ實施ト云フコトニ關聯シテ、諄イヤ
ウデアリマスガ、具體的ニモウ一度御伺シ
タイノデアリマス、ソレハ今問題ニナツテ
居リマス特別市制ガ布カレマシタスルナ
ラバ、其ノ時ニハ一例トシテ申シマスルナ
ラバ、神戸市ニ於キマスル稅制ト云フモノ
ハ、ヤハリ現在ノ三部制度ト同ジヤウナモ
ノニナルト私ハ思ウテ居ルノデアリマス、
又先程申シマシタ府縣支辨ノ義務教育費ノ
問題モ、ヤハリ府縣カラ支辨サレナクテ、
神戸市ノ手ニ支辨ノ方法ガ委ネラレルト斯
ウ思ウテ居リマスガ、此ノ點如何デアリマ
スカ

○扶間政府委員 永江サンノ御述ニナリマ
シタノハ、現在神戸市ニ於テハ府縣稅ヲ取
ツテ居リマセヌカラ市稅ヲ取ツテ居ル、府
縣費モ市ニ分賦シテ、府縣稅分ヲ市稅ノ形
ニ於テ取ツテ居ル、斯ウ云フ點ヲ御考ニナ
セラレマスレバ、形ニ於テハ大體サウ云フ
風ニナリマシテ、神戸市ニ付テハ神戸市ガ
市稅ヲ取ルダケデアツテ、郡部ノ方ハ兵庫
縣カラ兵庫縣稅ト云フモノヲ取ルダケデア
リマス、唯併シナガラ全然此ノ内容ガ變ツ
テ參リマスノハ、神戸市内ニ於ケル兵庫縣
ノ事業ト云フモノハ全然ナクナリマス、隨
テ神戸市内分ノ、現在兵庫縣ノ縣費ヲ分布
シテ居ル部分ノ神戸市稅ト云フモノハ全然
ナクナリマシテ、形ヲ變ヘテソレハ特別市
タル神戸市ト云フモノガ其ノ市ノ事業トシ
テ仕事ヲスル、其ノ施設ニ關スル費用ヲ併
セテ神戸市稅トシテ取ルト云フコトニナル
譯デアリマス、其ノ點ハ實質ニ於テ變ツテ
來ルト思ヒマス、市稅ト縣稅ト云フモノガ

ハツキリト分レルト云フコトハ、現在トソコハ變リハアリマセヌケレドモ、内容ニ於テハサウ云フ風ニ變ツテ來ルト思フノデアリマス

○永江委員 サウ云フ御答辯デアリマス、私ノ考ヘテ居リマスルコトト同ジコトト思フ、結局特別市制ガ布カレマスナラバ、現在神戸市デ施行サレテ居リマスル三部經濟制度ト稅制ノ上ニ於テハ同ジデアル、唯其ノ比率ノ部面ニ於テ多少違ツテ參ルノデアリマセウガ、ソレハ自ラ問題ガ別デアリマス、結局政府ガ言ウテ居ラレユウニ、本當ニ特別市制ヲ近イ將來實施サレルト云フナラバ、其ノ實施サレタ特別市制ノ上ニ於テノ稅制ハ、今既ニ神戸市ガ存續シテ持ツテ居リマスル三部經濟制度ノ上ノ稅制ト同ジモノデアル、唯比率ノ場合ニ於テ違ツタモノガ現ハレテ來ルカモ分リマセヌガ、同ジモノデアル

ソレカラ義務教育費ノ府縣支辨ノ問題ハ御答辯ガナカツタデアリマスガ、ヤハリ特別市制ガ出來マスレバ、此ノ問題モ自ラ解決サレルモノト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○挾間政府委員 同ジモノデアルト云フ風ニ御考ニナツテ居ルヤウデスガ、全ク制度トシテハ別個ノモノニナルト思ヒマス、稅制ノ建前トシマシテモ、特別市制ガ施行セラレマスレバ、特別市ニ對スル稅制ト云フモノハ全ク新シイモノヲ制定シナケレバナラスト思フノデアリマス

ソレカラ今ノ義務教育費ノ問題ニ付キマシテモ、特別市制ガ制定セラレレバ、ソレニ關スル又特別ト申シマスカ、サウ云フモノガ特別市制ノ中ニ織込マレテ制定セナケ

レバナナイト思フノデアリマシテ、特別市制ト云フモノハ、何ト申シマスカ、制度全體トシテ全ク府縣カラ獨立シタ別ノ團體ガ出來ルノデアツテ、三部制ガアルト云フコトハ、是ハ府縣團體ノ中ノ別個ノ經濟ガ存在スルト云フノデ、特別市制ト云フモノハ全クソレハ實質内容ニ於テ違フノデアリマスカラ、ソコハ十分御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○永江委員 此ノ點ハ是レ以上ハ議論ニナリマスカラ私ハ申シマセヌガ、結局ハ特別市制ガ布カレマスレバ、其ノ特別市制ノ一部分ニ於テ三部經濟制度ト同ジ稅制ガ布カレモノト云フ私ノ考ヘ方ハ依然トシテ變リマセヌ、特別市制ヲ本當ニ政府ガ近イ將來オヤリニナル積リデアリマスレバ、稅制ノ上ニ於テモ、或ハ其ノ他諸般ノ上ニ於テ今日問題ニナツテ居ルヤウナコトハ解決シテ來ルノデアリマシテ、サウ云フ點カラ申シマシテ、近イ將來特別市制ヲ御布キニナル御意思ガアルモノデアリマスルナラバ、此ノ三部經濟制度ヲ今日直チニ廢止スルト云フヤウナ御方針ニ對シテハ、私共ハドウシテモ納得ガ出來ナイノデアリマス、是レ以上ハ議論ニナリマスノデ、更ニ次ノ點ヲ御尋致シマス

第二ノ點ハ、負擔ノ不均衡ヲ是正スルト云フヤウナ御方針ガ、三部經濟制度廢止ノ一ツノ理由ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ負擔ノ不均衡ト申シマスノハ、都市ニ居リマスル者ト農村ニ居リマスル者ノ個人ノ負擔不均衡ガ、今日三部經濟制度ノ存置サレテ居リマスル府縣ニ於テハアル、個人ノ負擔不均衡ガアル、斯ウ云フ御見解デアリマスルカ、其ノ點ヲ一ツ御伺致シマス

○挾間政府委員 御述ニナリマシタ通りデアリマス、今回ノ稅制改正ニ依ツテ負擔ノ不均衡ヲ是正スルト云フノハ、私ガ先程申上ゲマシタノハ日本全國ニ付テ負擔ノ不均衡ヲ是正スルト云フコトガ建前デアリマス、隨テ一府縣内ニ於キマシテモ、經濟團體ハ別ニシテ、負擔ノ不均衡ガアルト云フコトハイケナイ、此ノ機會ニ於テソレヲ是正シナケレバナラス、其ノ意味ニ於テ、今御話ニナリマシタヤウナ意味ニ於テ縣内ニ於ケル負擔ノ不均衡ヲ是正スル必要ガアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○永江委員 只今御答辯ニナリマシタコトハ、一縣内ニ於ケル團體ノ負擔不均衡ノヤウナ御説明デアリマスガ、個人ニ付キマシテ都市ノ生活、農村ノ生活ヲ通ジマシテ、其ノ個人ニ農村居住者ト都市居住者ノ負擔ガ不均衡デアル、斯ウ云フ御見解ガアリマスカドウカ、負擔不均衡ガアルト云フ例ガアリマスレバ、其ノ事例ヲ御示シ願ヒタイ

○挾間政府委員 個人ノ負擔ガ不均衡ニナツテ居ルノデアリマシテ、數字ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス

○三好政府委員 細カイ數字ハ色々拾ヘバ出テ來ルト思ヒマスガ、一ツモデ申上ゲレバ御參考ニナルカト思フノデアリマス、愛知縣ニ於キマシテ家屋稅ノ賦課率ハ、市部ハ賃賃價格一圓ニ付キマシテ一錢一厘二毛デアリマスガ、郡部ハ同ジ賃賃價格一圓ニ付キマシテ二錢三厘七毛デアリマス、是ハ個人ノ負擔ガ此ノ數字ガ示ス割合ダケ不均衡ニナツテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス

○永江委員 私ハ今日ノ三部經濟制度ノ廢止ニ現ハレタ當局ノ考ヘ方ノ中デ一ツ脱ケ

テ居ルモノガアルト思フノデアリマス、ソレハ稅ト云フ形ニ於キマシテ都市居住者、農村居住者ノ負擔ノ不均衡ト云フヤウニ仰シヤルノデアリマスガ、私共ハソレヲ是認スルコトガ出來ナイノデアリマス、私モ茲ニ數字ヲ持ツテ居リマスガ、餘リ詳シイ數字デ述べマスト時間ガ掛リマスノデ、私モ一例ヲ舉ゲテ更ニ當局ニ御尋シタイ、ソレハ私ハ又神戸ノ例ヲ舉ゲルノデアリマスガ、此ノ點御諒解ヲ願ツテ置キタイノデス、稅ト云フモノガ個人ノ負擔デアアルコトハ勿論デアリマスガ、假ニ稅以外ノ負擔ト云フコトニ付テ、當局ハ或ハ統計上御考ニナツタコトガアルカト云フ點デアリマス、御承知ノヤウニ大都市居住者ハ、或ハ都市ノ文明ノ利器ヲ利用致シマスコトニ依ツテ、日常諸種ノ利益ヲ勿論得テ居ルノデアリマスガ、負擔ト云フ側カラ申シテ見マスト、一例ヲ兵庫縣ニ取リマシテ、兵庫縣ニ於テハ農村デハ小學校ノ授業料ヲ取ツテ居リマセヌ、併シ神戸市内ニ於キマシテハ授業料ハ一人三十錢ヅツ取ツテ居ルノデアリマス、是ハ稅デアリマセヌ、又尿尿取手數料ト云フモノヲヤハリ一戸當リ三十錢、或ハ比率ニ依ツテ是モ取ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ外ニ私共ノ問題ト致シテ居リマスノハ、或ハ神戸市ノ昭和十三年度ノ決算ノ側カラ見マシテモ、電氣事業經濟カラ一般會計ノ經濟ニ繰入レラレテ居リマス所ノ金額九十七萬餘圓、ソレカラ水道經濟カラ一般會計ヘ繰入レテ居ル額ガ六十萬圓、即チ合計百五十七萬餘圓ト云フモノガ繰入レラレテ居ルノデアリマス、此ノ電氣事業經濟或ハ水道經濟カラ一般會計ヘ繰入レル此ノ額ハ、即チ電車ヤ水道ヤ、或ハ電燈デ市ニ利益ガアリマシテ、

テ居ルモノガアルト思フノデアリマス、ソレハ稅ト云フ形ニ於キマシテ都市居住者、農村居住者ノ負擔ノ不均衡ト云フヤウニ仰シヤルノデアリマスガ、私共ハソレヲ是認スルコトガ出來ナイノデアリマス、私モ茲ニ數字ヲ持ツテ居リマスガ、餘リ詳シイ數字デ述べマスト時間ガ掛リマスノデ、私モ一例ヲ舉ゲテ更ニ當局ニ御尋シタイ、ソレハ私ハ又神戸ノ例ヲ舉ゲルノデアリマスガ、此ノ點御諒解ヲ願ツテ置キタイノデス、稅ト云フモノガ個人ノ負擔デアアルコトハ勿論デアリマスガ、假ニ稅以外ノ負擔ト云フコトニ付テ、當局ハ或ハ統計上御考ニナツタコトガアルカト云フ點デアリマス、御承知ノヤウニ大都市居住者ハ、或ハ都市ノ文明ノ利器ヲ利用致シマスコトニ依ツテ、日常諸種ノ利益ヲ勿論得テ居ルノデアリマスガ、負擔ト云フ側カラ申シテ見マスト、一例ヲ兵庫縣ニ取リマシテ、兵庫縣ニ於テハ農村デハ小學校ノ授業料ヲ取ツテ居リマセヌ、併シ神戸市内ニ於キマシテハ授業料ハ一人三十錢ヅツ取ツテ居ルノデアリマス、是ハ稅デアリマセヌ、又尿尿取手數料ト云フモノヲヤハリ一戸當リ三十錢、或ハ比率ニ依ツテ是モ取ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ其ノ外ニ私共ノ問題ト致シテ居リマスノハ、或ハ神戸市ノ昭和十三年度ノ決算ノ側カラ見マシテモ、電氣事業經濟カラ一般會計ノ經濟ニ繰入レラレテ居リマス所ノ金額九十七萬餘圓、ソレカラ水道經濟カラ一般會計ヘ繰入レテ居ル額ガ六十萬圓、即チ合計百五十七萬餘圓ト云フモノガ繰入レラレテ居ルノデアリマス、此ノ電氣事業經濟或ハ水道經濟カラ一般會計ヘ繰入レル此ノ額ハ、即チ電車ヤ水道ヤ、或ハ電燈デ市ニ利益ガアリマシテ、

之ヲ一般ノ會計へ繰入レテ、一般會計ニ於
キマス稅ノ一部ヲ補ツテ居ルモノト申サナ
ケレバナラヌト思ヒマス、是ハ一應理窟ニ
ナルノデアリマス。ケレドモ、私共ノ見ル所
ニ依リマスレバ、水道デ儲カッタ場合ハ出來
ルダケ水道料金ノ低下ヲ圖ルトカ、或ハ電
氣事業デ儲カツタ場合ニハ電燈料金ノ値ヲ
出來ルダケ下ゲテ行クト云フコトガ宜イト
思ツテ居ルノデアリマス。是ハ別ノ問題
ト致シマシテ、兎ニ角サウ云フ特別會計カ
ラ一般會計へ繰入レテ居リマス。ノガ、十三
年度ノ決算ニ依リマシテモ百五十七萬圓デ
アリマス、是ハ私共ノ見解ニ從ヒマスレバ、
此ノ金額ハヤハリ稅トハ名ガ附イテ居リマ
セヌガ、都市居住者ノ大衆課稅デアル、私
ハ斯ウ云フ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマス、
斯ウ云フヤウニ都市居住ノ市民ハ稅ト云フ
形デハアリマセヌガ、授業料トカ或ハ其ノ
他ノ手数料トカ、或ハ市ノ事業ニ於ケル益
金ノ上デ當然電氣、水道料金ノ値下ヲサレ
ナケレバナラナイ部分ニ於テモ負擔ヲ掛ケ
ラレテ居ル、斯ウ云フヤウニ解釋スルノデ
アリマス、斯ウ云フヤウニ都市ニ於キマス
住民ノ個々ニ付テ見マスルト、ヤハリ稅以
外ニ負擔ガ相當アル、斯ウ云フ點ニ付キマ
シテハ當局ハ如何ナル御見解ヲ御持チニナ
ツテ居リマス。

○按問政府委員 今御述ニナリマシタ色々
ノ稅外收入ナリ或ハ手数料等ノ問題デスガ、
三部經濟廢止、或ハ三部制ノ負擔關係ノ問
題トシマシテハ、稅以外ノ問題ニ付テノ比
較ト云フコトハ、是ハ必要ノナイ、適當デ
ナイコトデハナイカト思ヒマス、郡部ノ負
擔ト市部ノ負擔トハ專ラ稅制ノ上ニ於テ考
ヘルコトデアツテ、即チ稅負擔ガドウ云フ

風ニ個人ニ響イテ居ルカト云フコトヲ見ル
ベキデハナイカト思ツテ居リマス、併シナ
ガラ今御述ニナリマシタ二三ノ點ニ付テ申
上ゲマス、是ハ都市生活ト農村生活トニ
於テ各、特異性ガアルノデ違フト思ヒマスガ、
小學校ノ授業料ヲ取ルト云フヤウナコトハ、
是ハ小學校ニ特殊ノ設備ヲシ、其ノ學校ノ
維持管理等ニ付キマシテ、農村方面ト市内
ノ學校トニ於テ相當ノ相違ガアルト云フノ
デ、小學校令デ特別ノ事情ガアルモノトシ
テ授業料ヲ取ルト云フコトヲ致シテ居ルノ
デハナイカト思フノデアリマス、又電氣事
業其ノ他ノ公營事業ニ付テ百數十萬圓ヲ市
ノ經濟ニ繰入レテ居ルト云フ御話デアリマ
スガ、是ハ畢竟百數十萬圓ヲ繰入レルト云
フコトハ寧ロソレダケ市民ノ稅負擔ガ輕ク
ナツテ居ル、併シナガラ一面ソレハ使用料
トシテ取ツタ、ソレハ稅外收入ト云フコト
ニナルダラウト思ヒマス。カラ、ソレハト
ンノ關係ニナルダラウト思ヒマスガ、同
時ニサウ云フ公營事業ヲ市民ガ利用シテ居
ル、サウ云フ利益ヲ享受シテ居ルノデアリ
マシテ、而モ百數十萬圓ハ一般會計ニ繰入
ラレテ、稅負擔ガ其ノ限度ニ於テ輕減セ
ラレテ居ルト云フコトニナルト私ハ思フノ
デアリマス、併シナガラ斯ウ云フヤウナ色
色ナ事實ト云フモノハ、市民ト農民トノ
稅負擔ノ不均衡ト云フコトヲ考慮スルノニ
ハ、是ハ考ヘナイデ宜シイ問題デアツテ、
專ラ稅ノ課率ト云フコトニ付テ、私ハ市部
郡部負擔關係ヲ見ルベキモノデアルト云フ
ヤウニ考ヘルノデアリマス。

○永江委員 我先程大衆課稅ト云フ言葉
ヲ使ツタノデアリマスガ、即チ先程カラ私
ハ此ノ質問ヲ致シマス場合ニハ、都市居住
者、農村居住者ノ個人ノ負擔ガ不均衡デハ
ナイカト云フ點カラ私ノ質問ヲ致シテ居ル
ノデアリマシテ、現段階ニ於キマス稅制
ノ上カラ申シマシテ、唯稅制ノ窓カラノミ
都市居住者、農村居住者ノ負擔ノ不均衡ト
云フヤウナ議論デアリマスナラバ、只今御
述ベニナツタ議論デ通ルト思フノデアリマ
ス、私ハ今回ノ改革ノ根本ヲ成シテ居ルモ
ノハ、左様ナ一ツノ稅制ト云フ窓カラノミ
農村及ビ都市ノ——斯ウ云フ言葉ハ當ラヌ
カモ知レマセヌガ、所謂勤勞大衆ノ負擔ノ
均衡ヲ圖ラウト云フヤウナコトモ重大ナ考
慮ノ中ニ入レラレタ上ニ、斯様ナコトガ制
度ノ上ニ於テ稅制改革トシテ現ハレタモノ
ト斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨デ
都市ニ於ケル居住者ニ付キマシテモ、普通
ノ工場ニ通ヒマス勞働者ガ電車ニ乗ル、其
ノ勞働者ノ乘リマシタ電車賃ノ餘剩利益ヲ
以テ、今日改善サレザル所ノ所謂稅ノ一ツ
ヲ補ツテ行クト云フコトハ、大衆課稅ニ依
ツテ一部ノ大衆課稅ニアラザル所ノ側ノ稅
ヲ「カバ」シテ居ル、サウ云フ點ニ私共ノ不
滿ガアル、是ハ問題ガ別ノヤウデハアリマ
ス。ケレドモ、結局內務當局ガ御出シニナル
所ノ此ノ案ノ基本ヲ成シテ居リマス個人ノ
負擔不均衡ト云フ點ニ付キマシテハ、只今
ノ御答辯デハ少クモ私ハ満足シナイ、モウ
少シ個人ノ負擔不均衡ト云フ點ニ付キマシ
テ、數守的ニ何カ御示ヲ願フヤウナ方法ガ
アレバ幸ダト思ヒマス。

○三好政府委員 只今永江サンノ御引キニ
ナリマシタ問題ハ、寧ロ都市ノ市民ノ負擔
ガ稅以外ニ於テ考ヘレバ農村ヨリ輕イト云
フ證據ニナルデハナイカト私共ハ思フノデ
アリマス、數字ニ付テ只今資料ガゴザイマ
セヌカラ的確ニ申上ゲルコトハ出來マセヌ
ガ、例ヘバ小學校ノ授業料ノ御話ガゴザイ
マシタ、私ノ記憶ニ依レバ、神戸市ノ小學
校教員ノ俸給ハ全國デ一番高イモノデ、俸
給ガ高イ教員ガ必ズシモ良イトハ限リマス
マイガ、總體トシテ見マスレバ、最モ優秀
ナル教員ヲ集メテ居ルト云フコトガ出來ル
ト思ヒマス、サウデゴザイマスナラバ、自
然サウ云フ教員カラ教育ヲ受ケル者ガ、餘
所ノ貧弱ナ教員カラ教育ヲ受ケル者ヨリ重
イ負擔ヲシテ宜シイト云フコトニナルノデ
アリマス、又學校ノ施設等ヲ見マシテモ、
神戸市ノ施設ガ農村ノ施設ニ劣ツテ居ルト
ハ考ヘラレナイノデアリマス、ソレカラ電
氣事業ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、數字
ハ只今ゴザイマセヌガ、常識的ニ考ヘマシ
テ、公營事業デヤツテ、私設事業デヤラセ
ナイノハ何故デアアルカト言ヘバ、公營事業
デヤル方ガ、私設會社ガ儲ケヲ取ル代リニ、
市民ニ割ニ安イ使用料デ電氣ノ供給ガ出來
ル、斯ウ云フ建前デヤリマスガ故ニ、公營
事業デ電氣ヲ供給シテ居ル所ト、然ラザル
所ニ於キマシテハ、公營事業デ電氣ヲ供給
シテ居ル方ガ恐ラクハ料金ガ安イノデハナ
カラウカ、斯ウ思フノデアリマシテ、是ハ
數字ニ付テ調ベナケレバ分ラナイノデアリ
マスガ、若シ公營事業デヤツテ居リマスモ
ノガ私設事業ノモノニ比較シテ料金ガ高イ
ト云フコトニナレバ、自然其ノ料金ヲ引下
ゲルト云フ問題ニ相成ルベキ筋合カト思フ
ノデアリマスガ、實際ハサウデナクシテ、
私設事業ノモノヨリハ確ニ安クナツテ居ル
ノデハナカラウカ、安クナツテ居ルトスレ
バ、サウ云フ公營事業ヲヤリ得ナイ農村ニ
比ベテ、寧ロ其ノ意味ニ於ケル負擔ハ市民

ノ方ガ安クナツテ居ルト言ハザルヲ得ナイ
ノデアラウト思フノデアリマス、水道等ニ
付キマシテモ、是ハ的確ナ數字ヲ持合セマ
セヌガ、僅カ神戸市ノ水道料金ハ、東京市
ノ水道料金等ニ比レバ安クナツテ居ルカ
ト思フノデアリマス

○永江委員 非常ニ是ハ逆ノ御考ヲ持ツテ
居ラレバヤウデアリマシテ、私ノ見解ヲモ
ウ少シ述ベテ置ク必要ガアル、ソレハ今ノ
都市ニ於キマスル公共團體ニ委ネテ居ル電
燈、水道或ハ瓦斯等ノ事業ニ對シマシテ、
是カラ收益ヲ舉ゲテ行クト云フ考ヘ方ヲ持
ツテ居ル者ト、此ノ機關カラハ收益ヲ舉ゲ
テハナラヌト云フ考ヲ持ツテ居リマス者ト
ハ、今ノヤウニ結果ニ於テ逆ノ結論ヲ得ル
ノデアリマス、私ノ見解ハ、假ニ都市ニ於
キマシテ一ツノ事業ガ行ハレマシタ場合ニ、
ドレダケノ費用ガ掛リマシテモ、ソレガ公
共的ナ場合ニ於テハ其ノ中カラ利益ヲ舉ゲ
ルト云フ考ヘ方デヤツテハイカナイ、斯ウ
云フノガ私ノ見解デアリマス、一例ヲ舉ゲ
テ申シマスレバ、今日大都市ニ於キマシテ
一ツノ道路ヲ造ルトカ、或ハ橋梁ヲ架ケル
ト云フ場合ニ、幾十萬圓ノ費用ガ掛リマス
ガ、結局其ノ橋ヲ通過致シマスル市民ハ無
料ヲ通過シテ居ルコトハ御承知ノ通りデア
リマス、徳川時代ニ於キマシテハ、部落デ
橋ヲ造リマシタ場合ニハ、橋守ヲ置キマシ
テ、橋ヲ渡ル旅人カラハ一文デモ二文デモ
橋錢ヲ取ツタト云フコトハ、即チ橋ト云フ
モノヲ架ケル費用ニ付テハ、是等利用者カ
ラ費用ヲ取ツテ行クト云フ考ヘ方ニ出デタ
ノデアリマスガ、今日ハ時代ガ進ミマシテ、
ヤハリ公共團體デ如何ニ費用ガ掛リマシテ
モ一ツノ橋ヲ造ツテ、其ノ橋ヲ利用スル者

カラ一錢二錢ノ金ヲ取ルト云フヤウナコト
ハ許サレテ居ラス、是ハ一ツノ公共團體ノ
公共事業ニ對スル考ヘ方ガ進歩シテ來タモ
ノト私ハ思フ、隨テ電車ニ於キマシテモ、水
道ニ於キマシテモ、或ハ瓦斯ノ事業ニ付キ
マシテモ、斯ウ云フモノニ於テ假令幾許ノ
收益ヲ舉ゲマシテモ、ソレヲ一般會計ヘ繰
入レルト云フコトニハ私共ハ反對デアリマ
スカラ、サウ云フ觀念カラ申シマスルナラ
バ、此ノ私ノ考ヲ以テ致シマスルト、一般
會計ヘ繰入レルト云フ金ニ付テハ反對デア
ル、而モ現在ノ實情ハ之ヲドン／＼繰入レ
テ居ルノデアリマシテ、是ハ今三好サンカ
ラ御話ガアリマシタケレドモ、アナタ方ト
同ジヤウナ御考ノ人ガ地方ノ自治制ノ料理
ニ當ツテ居リマス場合ニハ、今私ガ申述ベ
タヤウナ結論ニ近イ結論ニ段々都市ノ公共
事業ト云フモノハ發展シテ來ル、斯ウ思ウ
テ居ルノデアリマスルガ、今日ノ自治ノ運
營ニ當ツテ居リマスル地方ノソレ／＼ノ自
治機關ニ於キマシテハ、不幸ニシテ私ノ考
ヘ方トハ必ズシモ一致シテ居ラヌノデアリ
マス、私ハサウ云フ考ヘ方カラ此ノ繰入金
ノ問題ヲ取上ゲマシテ、是ガ不都合デアルト
云フ結論デ申上ゲタノデアリマス、隨テ其
ノ同ジ方向ニ御考ニナツテ居ル内務當局ノ
御答辯ハ分ルノデアリマスケレドモ、現實
ハヤハリ何トシテモ大衆的ニ取ツタモノヲ、
漫然ト一般ノ稅收入ヲ「カバ」スル方ヘ繰
入レテ居ルコトハ、ヤハリ是ハ大衆ノ負擔
ニ轉嫁サレテ居ル、斯ウ云フ事例デ私ハ申
上ゲタノデアリマス、其ノ點誤解ノナイヤ
ウニ願ヒタイト思ヒマス、隨テ私ハ負擔不
均衡ニ關シマスルコトニ付テハ、モウ少シ
數字のナ例ヲ示シテ當局カラ御説明ニナラ

ナイト少クトモ満足ヲシナイノデアリマス、
併シ只今直グ數字ガナイト云フコトデアリ
マスカラ、時間ノ關係上次ニ御尋ヲ進メテ
行キタイト思フノデアリマス
ソレハ分與稅ニ關シテデアリマスケレド
モ、此ノ點ハ質問ノ都合デ後ヘ廻シマシテ、
今直チニ三部經濟制度ト云フモノヲ當局ガ
廢止セラレル所ノ御趣旨ニ付キマシテハ、
私ハ今マデノ質問應答ノ間ニ現ハレマシタ
限リニ於テハ納得シ兼ねルノデアリマスケ
レドモ、更ニ參考ノ爲ニ突進シテ御尋ヲ致
シタイ點ガ二三アルノデアリマス、ソレハ
若シ當局ノ御考ノ通りニ、三部經濟制度ト
云フモノヲ愛知縣及ビ兵庫縣ニ於テ廢止セ
ラレマスル場合、此ノ廢止ニ依ツテ地元ニ
相當摩擦ガ起キテ參ルト思フノデアリマス
ガ、其ノ摩擦ヲ當局ハ如何ニシテ圓滿ニ解
決スルカト云フ點ニ付テノ、具體的ノ御方
針ヲ御持チニナツテ居ルダラウト思ヒマ
ス、此ノ點ヲ先ツ伺ヒタイ
○扶間政府委員 三部制廢止ト云フコトハ、
地元ノ縣ト致シマシテハ負擔關係ガ相當違
ツテ居リ、又市部郡部ニ於ケル市部債郡部
債ノ額等モ相當違ツテ居リマスシ、財產處
分ノ問題等モゴザイマスカラ、相當經濟關
係ニ於テ變革ヲ來スト云フコトハ十分承知
致シテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ三部制
ヲ廢止致シマスル際ニハ、其ノ結果市部郡
部ノ間ニ於ケル摩擦ハ出來ルダケ之ヲ避
ケ、圓滿ナ自治制ノ運行ヲ致サユニ致サ
ナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、
其ノ爲ニハ、或ハ三部制廢止ト云フノハ、
今回法律ノ結果サウ云フコトニナルノデア
リマスカラ、通常ノ行キ方カラ行キマスレ
バ、其ノ善後措置ニ付キマシテハ經過規定

デ勅令ヲ以テ規定スルト云フヤウナ手段デ
進ム順序デアリマスガ、左様ナコトハ適當
デナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、通常
地元ノ協議ニ依ツテ三部制ガ廢止セラレ
ル時同様ナ方法ニ依ツテ、市部側、郡部側
ノ協調ニ依リ、關係府縣知事ノ作製致シマ
スル案ヲ以テ、縣會デ圓滿ニソレガ議決セラ
レルト云フコトヲ期待致シテ居ルノデアリ
マシテ、其ノ爲ニ先般來關係知事ノ會合ヲ
求メマシテ、内務當局ニ於テ色々善後措置
ニ付テノ指示ヲ與ヘマシテ、目下折角知事
ノ手許ニ於テ對案ノ作製ヲ致シテ居ルノデ
アリマス、唯利害關係ガ相當隔ツテ居リマ
スカラ、急ニ其ノ案ヲ提示シマシテソコニ
適當ナ歩ミ寄りガ出來ナイト云フコトガア
リマシテハ問題デアリマスノデ、其ノ時期
ヲ見計ヒ、圓滿ナ解決ヲ付ケル爲ニ、今關
係ノ當局ニ於キマシテ折角案ヲ練ツテ居ル
所デアリマス、其ノ手段方法トシマシテハ
色々ノ問題ヲ考ヘ得ルト思ヒマスガ、此處
デドウ云フ案ガアルカト云フコトヲ一々列
舉的ニ申上ゲルコトハ避ケタイト存ジマス
ケレドモ、色々ノ方法ヲ用ヒテ經過的ニ相
剋摩擦ノナイヤウナ方法ヲ講ジテ、圓滿ナ
解決ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス
○塚本委員 關聯シテ——此ノ三部制ノ廢
止ト云フコトガ、關係縣デアリマス兵庫、
愛知兩縣民ニ非常ナ衝擊ヲ與ヘテ居リマス
ルコトハ政府當局ノ御承知ノ通りデアリマ
ス、殊ニ此ノ三部制ノ廢止ニ依ツテ直接不
利ノ立場ニ陷リマスル神戸及ビ名古屋市民
ハ、此ノ案ノ成行ヲ非常ニ心配ヲ致シマシ
テ、只今地元ノ市會ニ於キマシテハ十五年
度ノ豫算市會ノ最中デアリマスガ、殆ド豫
算ノ審議モ手ニ著カスト云フヤウナ狀況デ、

市會ノ委員或ハ縣會議員等ガ入レ代リ立チ替リ上京ヲ致シマシテ、各方面ニ熱烈ナル陳情、嘆願運動ヲ續ケテ居リマスルコトハ、是亦當局ノ御承知ノ所ダト思ヒマス、勢ノ趨キマスル所、遂ニ市民大會ノ開催トナリ、市郡ノ間ニ苛烈ナル爭ヲ惹起シマシテ、憲政ノ圓滿ナル發達、自治ノ圓滿ナル振興ニ對シテ非常ナル障礙ヲ貽シ、三部制廢止ノ御趣旨ニ反スルヤウナ禍根ヲ長ク貽シハセヌカト云フコトヲ、私共ハ深く憂ヘテ居ルノデアリマスルガ、ドウカ政府當局ニ於キマシテハ、是等ノ現下ノ地元ノ事情ヲ篤ト念頭ニ置カレマシテ御答辯ヲ戴クコトガ出來レバ非常ニ仕合セダト存ジマス、御承知ノ通り此ノ問題ノ中心點ハ是マデノ借金ノ始末デアリマス、兵庫縣ノ現在ノ借金ヲ見マスルト、兵庫縣ノ神戸市部會ノ現在ノ借金ガ二百九十六萬圓、約三百萬圓デアリマス、之ニ對シテ郡部經濟ノ背負ツテ居リマスル借金ガ四千七百二十萬圓、約十六倍ト云フ巨額ニ達シテ居リマス、マダ起債ヲ致シマセヌ分ヲ加ヘマシテモ、神戸市部會ノ背負ヒマスル借金ガ四百八十萬圓、ソレニ對シテ郡部會ノ背負ヒマスル借金ガ五千九百四十八萬圓ノ巨額ニ達スルノデアリマス、愛知縣ノ方ハ兵庫縣程ヒドイ跛行狀態ニハアリマセヌケレドモ、ソレデモ名古屋市部會ガ現在背負ツテ居リマスル借金ガ六百三十萬圓、之ニ對シテ郡部經濟ノ背負ツテ居リマスル借金ガ二千六百三十萬圓約四倍デアリマス、未起債ノ分ヲ加ヘマシテモ市部ノ借金ニ對スル郡部ノ借金ノ割合ハ約二倍デアリマス、是ガ三部制廢止ノ結果ハ共同ノ借金トナル譯デアリマス、私ハ愛知縣ノ方ノ事情ガ能ク分ツテ居リマスルカラ、其ノ

方ノ例ニ付テ申上ゲマスルガ、名古屋市部會ノ背負ツテ居リマスル六百三十萬圓ト云フ借金ニハ償還財源ガ付イテ居リマス、之ニ對シテ郡部ノ背負ツテ居リマスル四倍ノ二千六百萬圓ノ借金ニハ殆ド償還財源ト云フモノガ付イテ居ラス、丸借金デス、而モ此ノ郡部ノ背負ツテ居リマスル二千六百萬圓ノ借金ハドウシテ作ツタ借金デアルカト申シマスレバ、御承知ノ通り其ノ大半ハ、過去幾十年ニ互ツテ郡部ニ道路ヲ建設シタ、道路ノ改修ニ使ツタ所ノ借金デアリマス、所ガ一方名古屋市ノ方カラ申シマスレバ、御承知ノ通り道路法ノ特例ニ依リマシテ、六大都市ハ、其ノ區域内ノ道路ヲ築造スルノハ總テ自前デヤツテ居リマス、縣ノ借金ニ依ラナイデ市自身ノ借金ニ依ツテヤツテ居リマス、其ノ結果名古屋市ガ現在背負ツテ居リマスル道路ノ對スル借金ガ二千九百萬圓、約三千萬圓デアリマス、然ルニ此ノ三部制廢止ノ結果ハドウナルカト申シマスレバ、郡部ノ方ノ二千六百萬圓ト云フ道路ヲ造ツタ借金ハ其ノ儘縣ノ借金ニ引繼ガレテ、市郡共同ノ借金トナリマス、然ルニ市ノ方ノ三千萬圓ト云フ道路ノ借金ハ依然トシテ市自身ノ借金トシテ殘ルノデアリマス、同ジ道路ヲ造リナガラ、一方ノ借金ハ共同ノ借金ニ轉嫁サレ、一方ノ借金ハ依然トシテ市ノ方ニ殘ル、コンナ馬鹿氣タ、コンナ不公平ナ行キ方ヲ若シ全國各府縣ニ互ツテ行ハレルト致シマスルナラバ、恐ラクハ全國大騒動、逆モ收拾ノ付クモノデヤナイト私ハ思ヒマス、又政府當局トシテモ斯ノ如キ亂暴ナ案ハ恐ラクハ御提案ニナラヌノダト私共ハ思ヒマス、相手が唯神戸ト名古屋ダケ、他ノ府縣ニハ關係ガナイ、相手が神

戸ト名古屋ダケカラト云フノデ、高ヲ括ツテ此ノ案ヲ若シ御提案ニナルト致シマスナラバ、ソレハ非常ナル暴舉デアルト申サシケレバナラスト私共ハ考ヘマス、郡部ノ人達ハ長イ間此ノ三部制ノ廢止ヲ熱烈ニ願ツテ居リマシタ、今回此ノ三部制ガ廢止ニナルト云フノデ非常ニ喜ンデ居リマス、併シ此ノ三部制ノ廢止ヲ喜ンデ居リマス郡部ノ人々ト雖モ、是マデノ借金マデ其ノ儘ソツクリ無條件デ市ノ方ニ押冠セテヤラウト云フヤウナ考ハ私持ツテ居ラスト思ヒマス、若シソナナ無法ナ考ヲ郡部ノ人々ガ持ツテ居ルト致シマスレバ、ソレハ三部制存置ノ理由ニハナリマスルケレドモ、廢止ノ理由ニハ斷ジテナラスト思ヒマス、三部制廢止ノ理念ハ、是マデノ借金ハオ互ニ話合ヲ付ケテ始末ヲシヨウ、將來ノ負擔ヲ共ニシテ行カウ、サウシテ相互ニ立場々々ヲ尊重シテ共存共榮ノ實ヲ擧ゲテ行カウト云フ理念ノ下ニ於テこそ、三部制ト云フモノノ廢止ガ許サレルノダト私共ハ考ヘマス、私共ノ政治的常識ト申シマスルカ、私ハ深イ理

論ハ存ジマセヌガ、私共ノ政治的常識カラ申シマスレバ、帝國憲法ハ個々ノ國民ニ對シテハ所有權ヲ保障シテ居ル、全體ノ國民ニ對シテハ、國ニ於キマシテモ、縣ニ於キマシテモ或ハ市ニ於キマシテモ、町村ニ於キマシテモ、其ノ住民ガ選舉シタ所ノ議員ヲ以テ構成スル所ノ議會ニ於テ、其ノ議員ニ依ツテ審議、協賛サレルニアラズンバ、新ニ一錢一厘ノ負擔モ加ヘナイト云フコトヲ私ハ憲法ハ保障シテ居ルト思ヒマス、斯ウシタ大キナ保障、特權ガアレバこそ、國民ハ其ノ堪ニ安シテ居ルコトガ出來ルノダト思ヒマス、然ルニ一法令ノ改廢ニ依ツテ、一錢一厘ドコロデハナイ、何百萬圓、何千萬圓ト云フ、會ツテ自分等ノ代表者ガ一遍モ決議シタコトモ參加シタコトモナイ借金ガ其ノ儘押冠サレテ來ルト云フヤウナコトハ、斷ジテアリ得ベカラザル事ダト私共ハ考ヘルノデアリマス、隨テ三部制ノ廢止ハ大勢デアリマスカラ至極結構ダト思ヒマス、唯之ヲ實施ナサルニ當ツテハ、先ヅ以テ地元ノ協議談合ガ出來上ツテ、其ノ協議談合ノ基礎ノ上ニ此ノ三部制廢止ハ實施サレナクテハナラス、斯ク私共ハ考ヘルノデアリマスルガ、此ノ三部制廢止ヲ實施スルニ當ツテハ、先ヅ以テ地元ノ協議談合ガ基礎ニナルベキモノデアルト云フ原則ヲ內務當局ハ御確認ニナルノデアリマセウカドウカ、先ヅ此ノ點カラ承リタイト思ヒマス

○挾間政府委員 三部制ヲ廢止スベキ必要、其ノ理由ニ付テハ先刻申上ゲタノデアリマシテ、茲ニ重複シテ申上ゲルコトヲ避ケタイト思ヒマス、併シナガラ此ノ三部制廢止ノ結果、今御述ニナリマシタ市部郡部トニ於ケル市負債、郡負債ノ額ノ相違、或ハ其ノ償還財源ノ關係等ニ付キマシテ權衡ヲ失シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、十分吾々モ認メテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ無條件ニ廢止シテ、善後措置ヲ講ジナイコトハ決シテ適當ナ策デナイト思ヒマス、殊ニ地方自治ニ於テ左様ナコトヲ致シマスコトハ、將來ニ禍根ヲ貽スコトニナルト思フノデアリマシテ、政府當局トシマシテハ此ノ三部制廢止ノ善後措置ニ付キマシテ、十分ナル用意ヲ以テ圓滿ナ解決ヲ致スヤウニ、適正ナ案ヲ立テタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ十分御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、就キマシテハ

今御述ニナリマシタ縣會ノ意思或ハ地元ノ協議談合ト云フコトニ付キマシテモ、政府トシマシテハ同感デゴザイマス、隨テ府縣制ノ規定ノ中ニハ、勅令ヲ以テ此ノ善後措置ノ案ヲ立テルコトガ出來ルヤウナ建前ニハナツテ居リマススケレドモ、是ハ最後ノ處置トシテ、左様ナ手段モアリ得ルヤウナ法制上ノ建前ヲ整ヘテ居ルト云フダケデアリマシテ、吾々ノ肚ト致シマシテハ、地元ノ協議ニ依リ、談合ニ依リマシテ、ソコニ適當ナル案ヲ立テ、縣會ノ議決ヲ以テ善後措置ガ決定スルヤウニ致シタイト考ヘルノデアリマス、無論市部、郡部ノ間ニ於ケル利害關係ハ、如何ニ歩ミ寄リマシテモ百「パーセント」ノ諒解ガ付クトハ或ハ期待出來ナイカモ知レマセス、併シナガラソコニハ兩方カラ御互ニ諒解シ會フ點ガ必ズ發見シ得ルモノデアルト思フノデアリマス、知事ガ只今折角其ノ案ヲ研究致シテ居リマシテ、內務當局トシマシテモ、ソレニ對シテハ出來ルダケノ協力ヲシ、指示ヲ致シマシテ、地元ニ於ケル意思ノ合致ヲ見テ、縣會ニ於ケル決議ヲ以テ善後ノ經過ノ措置ガ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、決シテ此ノ三部制廢止ノ際ニ於ケル負債處理ノ問題ヲ、全ク無條件ニ突ツ放スコトハ當局トシテハ考ヘテ居ナイノデアリマスカラ、其ノ點十分御諒承ヲ御願シタイト思ヒマス

デアリマス

今一ツ併セテ伺ヒタイト思ヒマスルガ、此ノ稅制改革ノ意圖スル所ハ、將來ノ負擔ノ均等ヲ圖ル所ニアルノデアツテ、過去ノ承知ノ上デシテ來タ借金マデモ均ラスト云フコトハ、此ノ稅制改革ノ意圖スル所デアリナイト私ハ思ヒマス、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○挾間政府委員 今回ノ稅制改革ハ無論昭和十五年度ヨリ施行スルモノデアリマシテ、過去ノ負擔ノ不均衡ヲ均ラスコトハ此ノ制度ノ建前トシテハ規定ハサレテ居リマセス、今御尋ニナツテ居リマス三部制ノ問題ニ付キマシテ、市部ト郡部ガ三分制廢止ノ結果、負擔ノ不均衡ガ均ラサレコトヲ如何ニ是正スルカニ付キマシテハ、色々ノ手段ガアルト思フノデアリマス、嘗テ五ツノ府縣ガ此ノ三部制ヲ廢止致シマシタガ、其ノ際過渡ノ措置トシテ、或ハ課率ヲ數年置イテ是正スルヤウナ手段ヲ講ジタ場合モアリマス、三部制ハ今回ノ稅制改正デ自然消滅デアリマスガ、假ニ三部制ヲ存續シテモ、課率ハ御存ジノヤウニ三收益稅ニ付キマシテハ八、七、六ト決ツテシマヒマスカラ、三部制廢止後ニ於テ課率ヲ漸次均ラスト云フ問題ハ自然消滅デアツテ、從來執ツテ居リマシタ三部制廢止當時ニ於ケル經過ノ措置ノ問題トシテハ、斯ウ云フコトハ問題ニナリ得ル譯デアリマス、或ハ市ニ於ケル事業ヲ致シマストカ——例ヘバ廣島ニ於ケル三部制廢止ノ際ニハ、其ノ負擔ノ均衡緩和ノ措置トシテハ、郡部經濟所屬ノ負債ノ始末ノ問題トシマシテ、新ニ事業ヲ計畫スルト云フノガ、廣島縣ニ於ケル三部制廢止ノ際ニ於ケル善後措置トシテ計畫サレテ居リ

マシ、其ノ外吾々トシマシテハ一應ノ腹案ヲ持ツテ居リマス、果シテ兵庫、愛知ノ三部制廢止ノ場合トシテハ方法ガ一番適當デアリカ、又地方ノ事情ニ應ジマシテ、ドウ云フ方法ヲ執ルノガ一番ビツタリ合フカト云フコトニ付キマシテハ、當局ニモ考ガアリマスガ、又地元ノ市ニ於テモ色々考案シテ居リマスノデ、ソレニ付テハ暫ク猶豫ヲシテ戴キマシテ、關係當局ノ案ヲ練ルノガ宜クハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○塚本委員 問題ハ既ニ四月一日ニ迫ツテ居リマス、此ノ儘デ行キマスレバ、必然的ニ三部制ハ此ノ三月三十一日デ消エテシマフ譯デアリマス、ソコデ地元ノ協議談合ニ依ツテ過去ノ借金等ノ始末ヲスルト云フコトハ御認メニナツタノデアリマスガ、一體ソレハ何時オヤリニナルノデアルカ、是ハハツキリ申上ゲマスレバ、四月一日以前ニ於テオヤリニナルノデアルカ、或ハ以後ニ於テオヤリニナルノデアルカ、サウシテオヤリニナルニハドウ云フ形式デソレヲナサルノデアルカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○挾間政府委員 先程申シマシタ通り、知事ガ今責任ヲ以テ解決案ヲ研究致シテ居ルノデアリマス、其ノ手段ト致シマシテハ其ノ案ヲ縣會ニ掛ケマシテ、其ノ議決ヲ經ルコトニナルノデアリマス

○塚本委員 時期ハ四月以前デアリマスカ、以後デアリマスカ

○挾間政府委員 大體四月ニナルノガ適當デアルト思ヒマススケレドモ、是ハ結局地元ニ於キマシテ談合協議ノ結果、案ノ成立ヲ見ルト云フコトガ必要デアリマスカラ、ソレニ俟タナケレバナラヌト思ヒマス

○塚本委員 サウシマスト、恐ラクソレハ臨時縣會デモ開イテオヤリニナルト思ヒマスガ、此ノ案ガ議會ヲ通過致シテ公布ニナリマスノガ何レ此ノ月末ダト思ヒマスガ、サウスルト縣會ハ二週間以前ニ召集シナケレバナラヌカラ、四月以前ニハ間ニ合ハス、斯ウ云フコトニ考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○挾間政府委員 無論サウデス、四月以後ニナルト思ヒマス

○塚本委員 若シ四月以後ニナルト云フコトデアリマスレバ、三月三十一日ヲ以テ市部會、郡部會ト云フモノハ自ラナクナツテシマフ、サウ致シマスト所謂地元ノ協議談合ノ合法的ノ基礎ト云フモノガ消滅シテシマフ、此ノ協議談合ヲスベキ合法的ノ基礎ガナクナツテシマツタラ、一體ドウシテ協議談合ヲサセヨウトナサルノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○挾間政府委員 只今ノ御尋ハハツキリト分リマセスガ、市部會、郡部會ト云フモノハ廢止セラレマスガ、詰リ私ガ申上ゲマスノハ、愛知縣全體トシテ此ノ三部制廢止後ノ善後措置ヲ如何ニスルカト云フコトノ地元ノ協議談合ガ出來レバ宜イノデアリマスカラ、市部會、郡部會ガ廢止セラレマシテモ、縣會ノ法制上ノ組織ハ變更セラレマシテモ、其ノ點ハチツトモ差支ナイト私ハ考ヘテ居リマス

○塚本委員 私ハ只今ノ局長ノ御話ハサツパリ分ラヌノデアリマスガ、市部ノ利害ハ全ク對立シテ居リマス、市部ノ縣會議員ハ全部政黨政派ヲ超越シテ結束シテ居リマス、サウシテ郡部ノ縣會議員ハ是レ亦一人ノ漏レナク黨派ヲ超越シテ結束シテ居リマス、全ク其ノ立場ハ對蹠的ニアルノデアリマ

○塚本委員 此ノ三部制廢止ノ實施ニ當ツテ、先以テ其ノ基礎トシテ、地元ノ協議談合ヲ基礎トスベキモノデアルト云フ此ノ原則ハ、只今ノ御言葉ニ依ツテ當局ガ御承認ニナツタコトト私ハ存ジテ居リマス、此ノ點ハ地元ト致シマシテモ非常ニ満足スル所

ス、ソコデ今ハ市部會、郡部會ト云フ
ソレハノ據リ所ガアリマスカラ、之ヲ
基礎トシテ協議談合ガ出來マスガ、愈
四月一日ヨリ市部會、郡部會ト云フモノ
ガ消滅シテシマヒマス、ソコニ何ガ殘ル
カト申シマスレバ、市部ヲ選舉區トシタル
縣會議員、郡部ヲ選舉區トシタル
縣會議員ハ殘リマス、市部會議員、
郡部會議員ト云フモノハ既ニソコニハナ
イデアリマス、サウ致シマスト利害ノ相對
立シテ居ル者ガ寄リマシテ談合ト申シマシ
テモ、ソコニ寄ツタモノハ對等ノ一票々々
ヲ持ツタ單一ノ縣會議員ニ過ギスノデアリ
マス、然ルニ此ノ縣會議員ノ數ヲ見マス、
兵庫縣ニ於キマシテハ郡部ノ議員數ガ四十
三人、之ニ對シテ市部ノ縣會議員ガ二十名
シカ居ナイノデアリマス、愛知縣ニ於キマ
シテハ郡部ノ縣會議員ガ三十八名、之ニ對
シテ市部ノ縣會議員ガ二十四名デアリマス、
ソレダカラ大キナ虎ト小キナ虎ノ居リマス
間ノ籬ヲ外シテ一片ノ肉ヲ抛リ込ム、眞中
ヘ肉ヲ抛リ込メヤツタカラ公平ダ、サウ
云フコトハ何人モ公平トハ考ヘマセヌ、之
ニ籬ヲ置イテ、一方ノ虎ガ一方ノ虎程ニ大
キクナルマデ待ツカ、然ラザレバ雙方ノ虎
ガ押合ツテ各ノ持前ダケ分テ喰ヒ合フヤ
ウナ状態ニナツテカラ肉ヲ與ヘレバ公平デ
アリマスケレドモ、雙方ガ對立シテ居ル、是
ハ利害ガ全ク相反シテ居ル、是ハ數ヲ以テ
争ヒマス、單一ノ議員ニナリマシタ時、ド
ウシテ協議談合ガ出來ルカ、市部會、郡部
會ト云フ據リ場ガアツテコソ、初メテ協議
談合ト云フコトガ出來ル、其ノ基礎ヲナク
シテドウシテ協議談合ガ出來ルカ、其ノ點
ヲ伺ヒタイ

○挾間政府委員 ソコハ私共ハ斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居リマス、無論市部會、郡部會ハ
四月一日ヲ以テ消滅致シマス、併シナガラ
如何ナル對案ヲ以テ此ノ善後措置ヲ講ズル
カト云フコトハ、市部選出ノ議員ガ少イ、
郡部選出ノ議員ガ多數デアリ、此ノ多數少
數ヲ以テオ互ニ利害關係ヲ主張シテ、サウ
シテ其ノ投票ヲ以テ利害ヲ争フト云フコト
デハ、此ノ案ノ適當ナ作成ハ出來ナイノデ
ハナイカ、私ハサウ考ヘルノデアリマシテ、
此ノ愛知縣ナラ愛知縣、兵庫縣ナラ兵庫縣
ト云フモノノ現在ノ機構ヲ、將來單一經濟
ニスルノニ如何様ナル對案ヲ以テ進ムノガ
宜カラウカト云フコトヲ、虚心坦懷ニ考ヘ
テ行カナレバナラヌノデハナイカ、知事ハ
ソコニ嚴正公平ナル立場ニ於テ、現在オ互
ニ異ツタ負擔關係ニアルモノヲ、如何ナル
手段方法ヲ以テ經過的ニ圓滿ナル解決ヲ付
ケルベキデアアルカト云フコトヲ、今考究致
シテ居ルノデアリマス、私ハ地方自治ノ本
當ノ精神の基礎ニ立ツテ、必ズ其處ニ到達
スベキ一ツノ案ガアルト思ヒマス、若シ極
メテ適當ナル案ニモ拘ラズ、多數ガ少數ヲ
壓倒シテ適當ナル知事ノ案ヲ蹂躪スルト云
フ場合ニ於キマシテハ、ソレハ監督官廳
トシテ原案執行ノ途ガアルノデアリマスガ、
私ハ斯ウ云フ問題ニ對シテ原案執行ト云フ
ヤウナ手段方法ヲ執リタクナイト思フノデ
アリマシテ、何處マデモ地方自治ノ根本ノ
精神ニ從ツテ、虚心坦懷ニ市郡ノ負擔關係
ヲ出來ルダケ近寄ラセ、此ノ單一經濟ノ下
ニ本當ノ縣民一體トシテノ經濟ガ、將來新
シイ稅制ノ下ニ運行サレルヤウニ進メル案
ガ必ズ出來ルヤウニ思ヒマス、御互ノ協
力ヲ得テサウ進メルヤウニ致シタイト思フ

ノデアリマシテ、何處マデモ多數ト少數ト
ガ奪ヒ合ヒマスルト云フヤウナ方向ニ向ケ
タイナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス
○塚本委員 當局トシテハサウ御考ニナル
ノ外ナイト思ヒマスガ、實ハ此ノ問題ハ利
害ノ問題デアリマス、此ノ問題ハ純
然タル政治問題ニナツテ居リマス、此ノ點
ニ御認識ガアリマセスト、此ノ問題ノ取扱
フ非常ニ誤ラヌト私ハ存ジマス、此ノ三部
制廢止ト云フコトヲ繞リマシテ、市郡ノ間
デハ永イ間抗爭ヲ續ケテ來タノデアリマス、
昨年ノ縣會議員ノ選舉ノ際ニ於キマシテモ、
市部會ノ市部選出ノ議員ハ殆ド例外ナク、
所謂政見發表ノ演說會ト申シマス、三部
制存置ト云フコトヲ其ノ政見ニ掲ゲテ選舉
民ニ約束ヲ致シタ、之ニ對シテ郡部ノ選出
ノ縣會議員ハ是レ亦殆ド例外ナク、三部制
ヲ廢止スルコトニ向ツテ進ムト云フコトヲ
選舉民ニ約束ヲシテ出テ來テ居ルノデアリ
マス、隨テ是ハ單ナル利害ノ問題トシテ扱
フト出來ヌ實際ノ立場ニ居ルノデス、純然
タル一ツノ政治問題ニナツテ來テ居リマス、
殊ニ今回政府ガ此ノ案ヲ出サレルト云フコト
ニナリマシテ、次第々々ニ地元ノ空氣ガ高調シ
テ參リマシテ、今日ノ事態ヲ以テ致シマシテハ
此ノ儘政府當局ガ此ノ案ヲ押切ラウトナサ
イマスナラバ、到底穩カナ話合ガ出來ルカ
ドウカ、政府ノ好マレマスルヤウナ状態
ハ當分起ツテ來ル見込ハ斷ジテナイノデアリ
マス、是ハ如何ニ御努メニナリマシテモ、
左様ナ空氣ガ近キ將來ニ於テ起ルト云フコ
トヲ考ヘマスナラバ、ソレハ夢想デアリマ
ス、斷ジテサウ云フ空氣ハアリマセヌ、ソ
レ程ニ此ノ問題ハ政治化シテ居ルノデアリ
マス、隨ツテ之ヲ處理ナサルニ付テハ、相

當ノ期間ヲソコニ設ケラレルト云フコトガ
政治的扱ヒトシテハ最モ妥當ダト考ヘマス、
現ニ廣島等ノ先例等ニ徴シマシテモ、三年
間ノ實施期間ヲ與ヘテ居リマス、京都ノ三
部制廢止ノ際ニモ三年間ノ實施期間ガ與ヘ
ラレテ居ルノデアリマス、京都ノ場合ニハ
昭和三年ノ七月ニ內務省令第二十八號ニ依
ツテ三部制廢止ガ公布セラレ、實施ハ六年
四月一日デアリマシテ、三年ノ猶豫期間ガ
アルノデアリマス、廣島ノ場合モ同ジク三
年間ノ猶豫期間ヲ持ツテ居ル、サウシテ其
ノ間ニ雙方ノ感情ヲ調和シ、其ノ間ニ談合
ノ機會ヲ與ヘテ、サウシテ此ノ法案ガ實施
サレテ居ルコトハ當局モ御承知ノ通りデア
リマス、横濱ノ場合ハ即時實行サレテ居リ
マス、此ノ場合ハ横濱市ガ永ク工場地帯ト
シテ鶴見保土ヶ谷ヲ要望シテ居リマシテ、
神奈川縣ガ仲ニ入ツテ横濱市ニ與ヘル諒解
ガ成ツテ初メテ是ガ實施サレテ居リマス、
東京、大阪ノ場合ハ是ハ市部議員ガ絕對多
數デアリマスカラ問題ハナイノデアリマス、
神戸ニ於テモ或ハ名古屋ニ於テモ先程申上
ゲマシタヤウニ、郡部ノ議員ハ壓倒的ニ多
數デアリマス、ソコデ斯ウシタ對立シタ利
害ノ問題ニ付テ雙方ガ頭張ルト云フト、小
サイモノガ負ケルト云フコトハ理ノ當然デア
リマス、負ケルト云フコトハ談合デハナ
イ、數ヲ以テ決メルト云フコトハ談合デハ
ナイ、其ノ基礎ト云フモノガ、三月三十一日
ヲ以テ此ノ儘行クナラバ壞レシマフ、他
ノ都市ニ於キマシテハ斯ウ云フ過渡的の經
過期間ヲ設ケテ此ノ問題ヲ解決シテ居ルノ
何故神戸市、名古屋市ニ對シテハ即時之ヲ
押付ケナクテハナラヌカ、其ノ建前ガ吾々
ニハドウシテモ吞込メスノデアリマス、此

ノ稅制改正ヲナサルニ付テハ、三部制ノ廢止ヲシテハナラズト仰セニナルノデアリマスガ、其ノ點ハ多分與稅トノ關聯ノ問題ニ於テハナイカト思ヒマスガ、成程此ノ實施ヲナサルニ付テ三部制建ニナツテ居ツテハ、手續トシテハ面倒デアリマセウ、面倒デアリマセウガ、是ハ絕對不可能ノコトデハナイト私ハ存ジマス、要スルニ手續ト云フモノハ是ハ枝葉ノ問題デアリマス、國家國民ノ爲ニ制度ハアルノデアリマシテ、制度ノ爲ニ國家國民ガアル譯デハナイ、技術ノ爲ニ制度ガアル譯デハナク、制度運用ノ爲ニ技術ガナクデハナラズノデアリマス、技術ガ面倒ダカラ本ノ方ヲ直ス、本ノ方ヲソレニ即應サセル、ソレハマルデ牛ノ角ノ方ガ牛ヨリ大事ダト云フ意見デ、本末顛倒ノ意見デアルト思ヒマス、稅制改革ヲナサルノニ絕對的ニ技術的ニ不可能デアルト云フ理由ハ斷ジテナイノデアリマス、面倒デハアリマセウ、面倒デハアリマセウガ、ソレダケノ面倒見ラレルト云フコトハ是ハ當然ナラズ、ドウシテ他ノ都市ニ於テハ實施ノ猶豫期間ヲ與ヘテ、名古屋、神戸兩市民ニ對シテハソレヲ與フルコトガ出來ナイカ、此ノ點ハドウシテモ私共得心ガ參リマセヌ、此ノ點ニ付テ當局ノ御説明ヲ伺ヒマス

○挾間政府委員 今マデノ前例ニ付テ色々御述ベニナリマシタガ、大體三部制廢止ノ際ニ於ケル一兩年ノ塚本サシノ所謂猶豫期間ト云フコトハ、是ハ市部郡部ノ稅ノ課率ヲ近ヅケル爲ニ暫定的ニ、經過的ニ、課率ヲ近ヅケルノヲ一二年掛ツテ近ヅケテ居ル譯デアリマス、三部制廢止ト云フコトハ決ツテシマツテ居ル、其ノ他ノ問題ニ付テハ

猶豫期間ト云フヤウナモノハアリマセヌ、稅ノ課率ト云フコトニナリマス、御存ジノヤウニ今度ノ稅制改正ノ結果ハ、地租其ノ他ノ稅ニ付キマシテ、稅率ハ一定シテ居ルノデアリマスカラ、課率ヲ近ヅケルトカ何ト云フ問題ハ既ニモウナイノデアリマス、隨テ御述ニナリマシタ二三ノ縣ノ前例ト云フ風ニ御話ニナル問題ハ、今回ノ兵庫、愛知ノ問題ニ關スル限リニ於テハナイ譯デアリマスカラ、其ノ點ドウゾ十分御諒解ヲ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ分與稅制ト三部制ノ關係ニ付テハ、今朝程申上ガマシタヤウニ、分與稅ト云フモノガ元來全國ノ府縣ニ付テノ財政調整ヲシヨウト云フコトガ本體ナラズ、全國ノ府縣ニ付テ

東京府ト沖繩縣、大阪府ト青森縣斯ウ云フ風ナ所モ打ツテ一丸トシテ、サウシテ財政ノ調整ヲ圖ラウ、均衡ヲ圖ラウト、斯ウ云フノデアリマスカラ、而モ兵庫縣、愛知縣兩縣ニ於テノミ、市部ト郡部トノ間ニ於テハ負擔ノ均衡ト云フモノハ圖ラナイデ、コト數年ノ間ハ日本全國ノ間ニ於テサウ云フ特例ヲ設ケルト云フコトハ、地方稅制ノ理論ノ上カラ言ツテモ、是ハ相反スル行キ方デハナイカト云フノガ先程申上ゲタ理由ナノデアリマス、ソレカラ技術的ノ問題トシテハ、市部ト郡部ガ別々ニナツテ居リマシテ、之ニ對シテ詰リ一縣統一シテ分與稅中ノ配付稅ヲ配付スルノニ、二箇ノ獨立シタ團體トシテ分與スルト云フコトハ、是ハ技術的ニ他ノ縣トノ分與ノ權衡カラ致シマシテモ不合理ニナルト云フノデ、ドウシテモ是ハ廢スルコトハ致サナケレバナラス、併シナガラ度々申シマスヤウニ、兩者ノ間ニ於ケル負擔上ノ問題ニ付キマシテハ出來ル

ダケノ善後措置ヲ講ジテ、ソコニ不合理ノ起ラナイヤウナ處置ヲ講ジタイト思フノデアリマス

○塚本委員 今度ノ稅制改革、此ノ分與稅ノ目的トスル所ハ、例ヘバ府縣ノ内ノ不均衡ヲ調節スルト云フコトヨリモ、實ハ東京府ト沖繩縣ノ間ヲ調節スル、サウ云フ意味デアツテ、其ノ三部制ノ廢止ガ伴ハナクテハソレガイカスト云フ御趣旨ハ、私ニハドウシテモ吞込メナイノデアリマス、之ヲ配付ナサル場合ニ、全國ヲ其ノ精神デ行カレルコトハ是ハ當然デアリマス、ソレノ上カラ兵庫縣ト愛知縣ニ配分サレル分ハ恐ラク決定スルデアラウト思フ、其ノ配付サレル分ヲ、分與稅配付ノ精神ニ依ツテ、サウシテ市部郡部ニ分配ヲナサレバソレデ一向差支ナイト私共ハ感ジマスルガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ、ソレハ技術トシテハ恐ラク面倒デアリマセウ、面倒デアリマセウガ、結局ハ技術ノ問題、所謂角ノ問題デアツテ牛ノ問題デハナイ、ソレガ絕對不可能デアルト云フコトハ私共ハドウシテモ考ヘラレナイ、殊ニ今度ノ稅制改革ノ各所ヲ見マスト、當局モ屢々御聲明ニナツテ居ル通り、急激ナ變動ハ努メテ避ケテ、ソレガ爲ニ經過的ニ緩和ノ規定ガ所々ニ加ツテ居リマス、是ガ恐ラク今度ノ稅制改革ヲナサル當局ノ用意ダラウト思フ、獨リ神戸、名古屋ダケ、此ノ問題ニ關シテ急激ナル斷行ヲナサラウトスルノハ一體ドウ云フ譯デアリマスカ、是モ成ルベク急激ナル狀態ヲ緩和スルヤウニ、ソコニ經過ノ規定ヲ置カレルト云フコトガ、稅制改革ノ御趣旨ノ點カラ見テモ當然デアルト考ヘラレマスガ、如何デアリマセウカ

○挾間政府委員 經過的ノ措置ヲ講ジマスノハ、團體トシテノ財政收入ニ急激ナ變化ヲ來サナイヤウニ致シタイト云フノデ、暫定的措置ヲ講ズルノデアリマス、ソレカラ各府縣相互ノ間ニ於テ財政ノ調整ヲスルノハ宜シイガ、一府縣内ニ於ケル世帯別ニスルト云フコトハ是ハ其ノ儘殘シテ宜イデハナイカ、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、ソレハ如何ナモノデアラウカト思フノデアリマス、東京、沖繩等各府縣ノ間ノ財政ノ調整ヲスルコトハ差支ナイガ、愛知縣ト云フ内ニ於キマシテハ、其ノ貫ツタ金ノ中デ市部ト郡部ニ振分ケテ行ク、詰リ市部ト郡部ノ間ハ別世帯從來ノ通りノ世帯別分ケテモ宜イデハナイカ、詰リ負擔關係ガ違フノデスカラ從前通りノ負擔關係ニシテ宜イデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御話デスガ、ソレハ私ハ如何ナモノデアラウカト思フ、例ヘバ町内ノ各家庭……

○塚本委員 一寸、御話中デスガ、若シサウ云フ風ナ御感ジデアリマスレバ私ノ質問ト違フノデスカラ……

○挾間政府委員 ソレデハモウ一度御伺シテ御答致シマス

○塚本委員 全國ヲ均サレマスル場合ニ、東京府ニ對シテハ幾ラ、沖繩縣ニ對シテハ幾ラ、兵庫縣ニ對シテハ幾ラ、愛知縣ニ對シテハ幾ラト云フコトガ決ツテ參ラウト思フ、ソコデ愛知縣ニ對スル分ハ愛知縣ニ配付サレ、サウシテ其ノ配付ノ中デ分與稅制度ノ精神ニ基イテ、ソレヲ市部、郡部ニ配當ナサレバ、全體トシテモ部分トシテモ少シモ矛盾ハナイカト私ハ斯様ニ考ヘル、之ヲヤリマス爲ニ技術ノ點ニ於テハ恐ラク面倒デアリマセウケレドモ、ソレハ結局技術ノ

面倒ト云フ問題デアツテ、少シモ其處ニ矛盾モ何モ起ツテ来ヌ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○挾間府委員 今御述ニナリマシタヤウニ私ハ聴取ツタノデスガ、サウ云フ風ニ致シマシテ縣ト縣トノ間ニ於ケル財政ノ均衡ヲ圖ルト云フノガ、今度ノ分與稅ノ建前デゴザイマスカラ、此ノ制度ノ下ニ於キマシテ、一縣ノ中ニ於テ別個ノ經濟團體ヲ設ケ、サウシテ別ノ世帯デオ五ニ財政ヲ經理スルト云フ制度ヲ殘スコトハ、稅制ノ建前カラシテドウモワカシイノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○三好府委員 塚本サンノ御述ニナリマシタノハ、恐ラク愛知、兵庫ニ縣トシテ分與スル金ハ餘所ノ縣並ニ、一體デアルカノ如キ標準ニ於テ先ツ分與セヨ、其ノ分與シタモノヲ又市郡經濟ヲ別ニシテ居ルノダカラモウ一段分ケレバ宜イデハナイカ、斯ウ云フ意味ノ御質問思フノデアリマスガ、本來一體デナイモノヲ一體デアルカノ如ク取扱ツテ分與スルコト自體ガ既ニ不合理ナノデアリマスカラ、ドウモ工合ガ惡イト思フノデアリマス

○塚本委員 一體デナイコトハナイ、三部制ノ經濟ト云フモノハ數十年來布イテ來テ居ル、一體デヤナイ、二體ノ制度ガ現存シテ居ル、一體デナイモノヲ一體ノヤウニ考ヘルノデハナク、二體アルモノヲ二體アルト考ヘテ行ケバ宜イ

○三好府委員 三部制ト云フモノハ二體アルノデアリマス、二體アルモノヲ一體デアルカノ如ク先ツ分ケテ置イデ、ソレヲモウ一段二體ニ分ケト云フノデアリマス、ソレガ不合理デアル、斯ウ云フノデアリマ

ス
○塚本委員 若シ三好サンノ仰シヤルヤウデアリマスレバ、兵庫、愛知兩縣ハ二體デアルトシテ分與稅ノ精神ニ依ツテ御分ケニナツタノデスカ

○三好府委員 二體デアルトシテ分ケルノハ又モウ一ツ不合理ガ起リマス、ナゼナラバ市部ト云フ財政力ノ鞏固ナ所ト、郡部ト云フ財政力ノ鞏固デナイ所ヲ分ケマシテ分與稅ヲ分與スルト云フコトニナリマスレバ、他府縣ノサウ云フ良イ所ト惡イ所ヲ一ツニシタ所ト、良イ惡イヲ分ケタ所ノ扱ヲ一ツニスルコトニナルノデ、分與稅分與ノ上カラ申シマス、他府縣トノ間ニ非常ニ不合理デアルト云フコトヲ申スノデアリマス

○塚本委員 サウ云フコトハ斷ジテナイト思フ、分與稅分與ノ精神ニ基イテ分配ヲナサルナラバ、サウ云フ不合理ナコトハ斷ジテ起ラヌト私ハ思ヒマス

○三好府委員 分與稅分與ノ精神ニ基クト申シマスガ、良イ所ト惡イ所ト分ケテヤルコトハ、ソレ自體分與稅ノ精神ニ反スルノデアリマスカラ、基キヤウガナイノデアリマス
○塚本委員 若シ政府當局ノ仰シヤルヤウデアリマスナラバ、技術上不可能ノコトニ歸セナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレナラバ一體稅制改革トハ今日急ニ始ツタコトデハナイ、數年前カラ豫期サレタコトデアツテ、此ノ議會ニ提案シナケレバナラヌコトハ三年前ニ分ツテ居ル、デアルカラドウシテモ技術上絕對不可分ノモノデアルトスレバ、何ガ故ニ今日マデ此ノ三部制ノ廢止セラレヤウナ地元ノ談合協議ノ氣運ヲ用意シテ、直ニ之ヲ實施セラレヤウ準備ヲシナカッタノデアルカ、準備ヲシナイデ、今ニ至ツテ技術的ニイカヌカラ直ダヤルノダト云フコトハ、政府當局ノヤルベキコトデハナイ、何故ソレヲシナカッタノカ、一體政府當局ハ昨年度ノ調查會ニ於テ府縣制並ニ市町村制ノ改正案ヲ立案セラレ、之ヲ非常ニ急ガレタ、當時政府ノ申サレタ所ニ依ルト、稅制改革ト不可分ノ問題デアルカラドウシテモ之ヲヤラナケレバナラヌト云フノガ、當時當局者ノ屢、繰返シ申サレタ所デアリマス、然ルニ今日ノ實際ハ如何デアリマスカ、アノ案ハ地方ノ自治權ヲ縮小スルト云フノデ、各府縣ニ於テハ反對ノ狼火ヲ上ゲタ、全人口ノ二割五分ヲ包含スル六大都市ヲ考ヘナイ所ノ地方制度ハ跛行ノモノデアルカライカヌト云フ反對ノ狼火ヲ上ゲタ、サウシテ形勢惡シト見ルヤ、曩ニ稅制改革ト不可分ノ關係アリト言ツタ當局ハ如何デアリマスカ、弊履ノ如ク之ヲ引込メテ今回ノ如キ立案セラレタノデハアリマセスカ、不可分ダト言ツテ居リナガラ、愈、形勢ガ惡イ、是デハ通リサウモナイト見ルト、何時ノ間ニカソレガ可分ノ問題ニナツテ居ル、技術ノ問題ハ必ズヤラウトスレバヤリ得ル途ガアル、ソレガ技術デアリマス、私ハ技術上絕對ニ出來スト云フ御言葉ニ對シテハ斷ジテ承服スルコトガ出來マセヌ、若シ絕對ニ出來ナイトスレバ、何ガ故ニ今日マデ此ノ制度ヲ圓滿ニ實施セラレヤウ地元ノ準備ヲナサラナカッタカ、ソレヲシナイデ、今日ニ至ツテ相剋摩擦、問題ニナツテ來ルト、技術ノ點ニ於テ延期ハ出來スト云フ、サウ云フ政治トガ出來ナカッタノデアリマス、去年ノ夏

ベキ事柄デハナイト私ハ思フ
○挾間府委員 分與稅ヲ分與スルニ付キマシテ、市部郡部ト別ニシテ配付稅ヲ分ケル、詰リ三府四十三縣ト云フノヲ三府四十一縣ト愛知縣市部、愛知縣郡部、兵庫縣市部、兵庫縣郡部ト云フヤウニ分ケルコトハ、塚本サンモ想像シテ戴キタイト思ヒマスガ、日本ノ制度トシテハサウ云フコトハドウモワカシイノデハナイカト思ヒマス、詰リ日本ノ自治組織ト云フモノハ府縣、市町村、斯様ニ分ケラレテ居リマス、サウシテ地方稅ノ配付稅ヲ分與スルニ付テハ、府縣配付稅ト云フモノハ三府四十一縣、愛知縣市部、愛知縣郡部、兵庫縣市部、兵庫縣郡部、斯ウ云フコトガ日本ノ制度トシテ如何ニモ私ハワカシイト思ヒマス、ソレデアルカラ此ノ制度ハ廢止シ、地方制度ヲ統一スルノデアル、併シナガラ其ノ場合ニ於テ色々善後ノ措置ヲ講ジナケレバナラヌカラ、其ノ善後ノ措置ニ付テハ十分ナ研究ヲ盡シタ上デ適切ナ案ヲ立テヨウ、斯ウ云フコトデ進ンデ居ルノデス、ソレカラ只今御述ベニナリマシタモウ一ツノ點ハ、何故ニ政府ハ一定ノ方針ガ決ツテ居ツタニモ拘ラズ、善後ノ措置ニ付テ速ニ話ヲ進メナカッタカ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、是ハ吾々ハモウ早クカラ此ノ點ハ致シテ居ルノデアリマス、少ククトモ此ノ案ガ稅制調查會ニ於テ進行致シテ居リマス當時カラ、此ノ稅制ノ建前トシテハ、三部制ハ廢メルノデアルカラト云フコトデ話ヲ致シテ居リマシタケレドモ、地元ノ方デハ、三部制ハ絕對ニ撤廢反對デアル、斯ウ云フ話デアリマスノデ、善後ノ措置ニ付テハドウシテモ進メルコトガ出來ナカッタノデアリマス、去年ノ夏

第六類第二號附屬 所得稅法改正法律案外三十件委員中地方稅法案外七件小委員會會議錄 第五回 昭和十五年三月八日 九五

以來ソレハ善後ノ措置ヲ考慮致シマセウト云フコトヲ言ツテ居リマスケレドモ、善後ノ措置ト云フコトニ入ルコトガ出來ナイノデス、撤廢絶對反對、或ハ撤廢延期——マア冬頃ニナツテハ撤廢延期ト云フコトニナツタガ、撤廢絶對反對ト云フコトデアリマスカラ、ソコニ善後措置ノ問題ニ入ル所ノキツカケヲ作ルコトガ出來ナカツタノデアリマス、ソコハ塚本サシモ十分御承知デアラウト思ヒマス、サウ云フコトデ、政府トシテハ決シテ籤カラ棒ニ三部制撤廢ト云フコトヲヤツテ、善後措置ハ、サア愈、ヤルノダカラ此ノ機會ニヤラウト云フコトデ飛ビ出シタ譯デハナイノデアリマス、併シナガラ既ニ是ニ至ツテ居リマスカラ、速ニ適當ナ案ヲ作成シテ、此ノ問題ノ解決ヲ進メルヤウニオモヒ進メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○小山委員長 ソレデハ暫時休憩致シマシテ、午後二時カラ再開致シマス

午後零時四十三分休憩

午後二時四十八分開議

○小山委員長 是ヨリ開會致シマス、理事ノ西川貞一君ガ委員ヲ辭任セラレマシタノデ、理事ノ補闕選舉ヲ行ハネバナリマセス、先例ニ依リ委員長ヨリ指名致シタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小山委員長 ソレデハ瀧澤七郎君ヲ指名致シマス

○小山委員長 此ノ前長野君ヨリ質問ラセラレマシタ件ニ付テ、三好政府委員ヨリ御答ガアルサウデスカラ、三好政府委員ニ發言ヲ許シマス

○三好政府委員 先日ノ委員會ニ於キマシテ長野委員ヨリ、大都市ノ改正前ノ稅收入ノ見込額ノ計算ノ基礎ヲ御尋ニナリマシタ、其ノ數字ヲ申上ゲマス、此ノ數字ハ勿論都市計畫稅ト目的稅ヲ含マイ普通稅ニ付テノ數字デゴザイマスガ、昭和十三年度ニ於ケル測定總額ハ一億六千四百萬圓デアリマス、其ノ中小學校教員俸給ノ道府縣費移管ニ伴フ經費ノ不要見込額ガ二千八百萬圓、職業紹介所費ノ地方負擔廢止ニ依ル經費ノ不要見込額ガ百萬圓、徵稅費ノ不要見込額ガ百萬圓、合計三千萬圓ガ不要ニナル額デアリマス、隨ヒマシテ一億六千四百萬圓ヨリ此ノ三千萬圓ヲ控除致シマシタ殘リ一億三千四百萬圓ガ改正前ノ大都市ノ稅收入見込總額ニ相成ル譯デゴザイマス

○小山委員長 永江君

○永江委員 午前ニ引續キマシテ尙ホ一ツ御尋ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、愛知縣及比兵庫縣ノ三部經濟ノ廢止ニ關シマシテ、午前中塚本委員ノ質疑ニ對シテ地方局長ノ御答辯ガアリマシタケレドモ、其ノ中デ縣債ニ關スルコトニ付キマシテハ、市部債、郡部債ノ現在アリマスルモノノ處理方法ニ付テハ、當該愛知縣知事及比兵庫縣知事ニ於テ適當ナル案ヲ練リツツアル、隨テソレハ地元ノ縣會ノ議決ニ依ツテ圓滿ニ解決ラスト云フヤウナ御答辯デアツタノデアリマスガ、先程來屢、質疑ノ中ニ現ハレテ居リマスルヤウニ、今マデアリマシタ三部制經濟ノ廢止サレマシタ府縣、即チ東京、大阪、京都、横濱、廣島等ノ實情カラ申シマシテモ、是等ハ一應其ノ地元ニ於ケル談合ガ解決シタ後ニ於テ、此ノ制度ガ廢止サレタノデアリマス、今回ノ御方針ニ依リマスト、

先ヅ三月末ニ廢止ヲ致シマシテ、ソレカラ後ニ解決ラスト云フコトデ、ソコニ解決方法ガ逆轉シテ居ルヤウニ私共ハ思フノデアリマス、ソレデ尙ホドウシテモ重要ナコトデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ御尋ヲシテ置カケレバナラスノデアリマスガ、私ハ兵庫縣ノ縣債ノ調ニ依リマシテ、昭和十四年八月ノ調査ニ基キマスル市部ノ借金及ビ郡部ノ借金ニ付テ、具體的ナ解決ニ關スル當局ノ御方針ヲ具體的ニ承リタイノデアリマス、ソレハ市部ノ昭和十四年八月末マデニ持ツテ居リマスル借金ハ一千七百七十九萬圓デアリマス、勿論是ハ既ニ發行済ノモノガアリ、或ハ議決シテ居ルケレドモ、マダ許可ノ済マナイモノモアリ、又議決ハ済マナイガ、起債額豫定ノモノ等ヲ加ヘタル額デアリマス、此ノ市部ノ借金一千七百七十九萬圓ニ對シマシテ、神戸市以外ノ兵庫縣ニ於キマスル郡部ノ持ツテ居リマスル縣債ハ七千六百四十萬圓ニ上ツテ居ルノデアリマス、優ニ七倍ニ上ツテ居ルノデアリマス、先程塚本委員カラ御説明ノアリマシタヤウニ、此ノ七千六百四十萬圓ノ縣債ニ付キマシマテハ、神戸市民ノ代表者デアリマスル市部選出ノ縣會議員ハ、未ダ曾テ此ノ議決ニ參與シタコトガナイ譯デゴザイマス、之ヲ、地元ノ知事ガ適當ニ解決シツツアルトカ、或ハ解決スルデアラウト云フコトデハ、私共ハツキリシナイノデアリマス、之ヲ具體的ニドウ云フ風ニ解決セシメルト云フ當局ノ御方針ガアリマスナラバ、承ツテ見タイト思ヒマス

○挾間政府委員 兵庫縣ノ市部債、郡部債ノ額ニ付キマシテハ、是ハ數字ハ多少調べ方ニ依ツテ違フト存ジマスガ、大體ニ於テ市部ト郡部トノ間ニ於ケル起債ノ權衡ヲ失シテ居ルコトハ御話ノ通りデアリマス、隨テ是ガ單一經濟ニナリマス場合ニハ、將來ニ於テハ市部、郡部ノ負債ヲ合一シテ、兵庫縣民トシテ是ノ償還ニ當ルコトニナル、隨ヒマシテ將來ニ於ケル償還計畫ニ對シテ適當ナ解決案ヲ考慮シナケレバナラスト思フノデアリマスガ、今此處デ然ラバソレニ對シテハ政府トシテドウ云フ案デ進ムカト云フコトハ、度々申上ゲマシタヤウニ、政府ガ茲ニ天降リ的ニ案ヲ立テルト云フコトハ私ハ避ケタ方ガ宜シイト思フノデアリマス、無論此ノ起債ニ對シテ、市部債ニハ郡部議員ハ參與シナイシ、郡部債ニ對シテハ市部議員ハ議決ニ加ハツテ居リマセスガ、ソレハ當時ノ制度ガサウ云フ風デアルノデ已ムヲ得ナイノデアリマシテ、今回ソレガ廢止セラレルガ故ニ、ソコデドウ云フ解決案デ進ムカト云フコトガ問題ニナル譯デアリマス、ソレニ付キマシテハ、知事ニ於テ色々考案ヲ致シテ居リマスシ、其ノ案ヲ得タ上デ、地元ノ關係方面ト十分協議ヲ致シマシテ、案ノ決定ラスト云フコトニ進ンデ行カザルヲ得ナイモノト思ヒマス、何レ案ハ漸次具體化スルト思ヒマスケレドモ、此處デ政府トシテハツキリシタ案ヲ示スト云フコトハ避ケタイト思ヒマス、又ソレハ地元ニ於テ研究立案スルコトガ一番自治的デ宜シイノデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○永江委員 ドウモ其ノ點ガ私共ニ非常ナ不安ナ點デアリマシテ、先程來塚本委員カラモ御質問ノアリマシタヤウニ、市部、郡部ノ兩者ガ對立シテ居ル現狀デアリマス、而モ御承知ノヤウニ、愛知縣ニ於キマシテ

ハ定員六十二名ノ縣會議員ノ中デ、市部二十四名、郡部カラ三十八名、兵庫縣ニ於キマシテハ、定員六十三名ノ縣會議員ノ中デ、神戸市選出ノ議員ガ二十名、郡部ガ四十三名ト云フ此ノ數字ガ示シテ居リマスヤウニ、地元ニ於テ其ノ數字ノ上デ爭フコトニ於キマシテハ、自ラ現ハレテ來マス所ノ解決案ト云フモノハ既ニ決ツテ來ルノデアリマス、隨テ、斯ウ云フモノヲ地元デ解決セヨ、斯ウ云フ御趣旨ハ分ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ解決スルニ關シマシテ、其ノ前ニ一應此ノ三部經濟ヲ三月末ニ廢止セシメテ、廢止シテ置イテカラ解決セヨト云フ態度デアラナラバ、是ハドウシテモ市部ニ取ツテハ非常ナ不利益デアル、是ガ議員ノ數ガ市部ト郡部ト逆ナ場合デアリマシテ、東京ナドニ於キマシテハ、府會議員百十二名ノ中デ、市選出ノ府會議員ガ百四名、郡部選出ガ僅ニ八名デアル、京都ナドハ四十五名ノ府會議員ノ中デ、市部二十七名、郡部ハ十八名、大阪ノ如キハ八十二名ノ府會議員ノ定員ノ中デ、五十七名ガ市部選出、郡部ハ僅ニ二十五名デアリマス、斯ウ云フヤウナ所ニ於テノ地元ニ於ケル解決方法トシテ、先ヅ三部經濟ヲ廢止シテ地元ニ何トカセヨト云フコトナラ、解決ノ方法ハ圓滿ニ付クト思フノデアリマスガ、愛知縣ト兵庫縣ハ、此ノ選出ノ議員ノ數カラ申シマシテモ、東京、京都、大阪ナドトハ逆デアリマス、サウ云フ所ニ持ツテ來テ、其ノ數ノ少イ市部ノ縣會議員ガ杖トモ柱トモ頼マナケレバナラナイ三部經濟制度ヲ先ヅ取上ゲテシマツテ、サウシテ地元デ圓滿ニ解決シロ、斯ウ云フコトハ私ハ不可能ノヤウニ思フノデアリマス、而モサウ云フ場合、其ノ中間ニ立ツテ

色々ト調停ノ勞ヲ執ラレル所ノ政府ノ方針——知事ト雖モ是ハ政府デアリマスガ、此ノ政府ノ方針ト云フモノガ、只今ノヤウニ何トカ地元デスラウト云フヤウナコトデハ非常ニ不安デアリマス、此ノ點如何デアリマスカ

○挾間府委員 善後措置ニ付テノ方法手段トシマシテハ、色々ノ解決案ガアルト思フノデアリマスガ、ソレハ午前ニモ申上ゲマシタ通り、其ノ各地ノ事情ニ應ジ、又愛知縣ト兵庫縣トノ間ニ於テハ自ラ事情モ違ヒマスカラ、ソレニ適應シタ方法ヲ執ル必要ガアルト思ヒマスノデ、隨テ政府トシテドウ云フ案デ行クベキデアルカト云フコトヲ、具體的ニ此處デハツキリト申上ゲルコトハ困難デアルト思フノデアリマス、隨テ、全然無爲無策デ之ヲ知事ニ任セル、斯ウ云フノデハナイノデアリマシテ、知事ガ例ヘバA・B・Cノ案ヲ立デテ、サウシテ何レニ依ルベキカト云フコトヲ協議シマス場合ニ、政府トシテハソレニ對シテ地方ノ實情等ヲ考慮シマシテ、此ノ案ガ適當デアルト云フヤウナ裁斷ヲ指示スル用意ハ持ツテ居ルノデアリマス、唯度々御述ニナリマシタ大阪ノ東京ナドノ三部制ヲ廢止致シマス場合ト、今度ノ場合トハ事情ガ違ツテ居ルノデ、無論自治的ニ廢スル、何年カ猶豫期間ヲ置イテ、漸次機ノ熟スルヲ待ツテ廢スルト云フ方法ニ依ルノモノツノ方法デアルト思ヒマスガ、今回ハ斯ウ云フ劃期的ノ稅制改正ト云フコトヲモウ既ニ眼前ニ控ヘマシテ、其ノ結果トシテ廢止ト云フコトニ進マザルヲ得ナクナツタノデアリマスカラ、其ノ間事情ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアルト思フノデアリマス、併

シナガラ解決ノ方法時期ト致シマシテハ、マダ相當ノ餘裕モアルコトデアルシ、十分ソコニ談合協議ヲ致スベキ期間ハ存在シテ居ルト考ヘテ居リマス

○塚本委員 事ハ四月一日ニ迫ツテ居ルノデス、此ノ儘御實施ニナレバ事ハ四月一日ニ決ツテ居ル、隨テ過去ノ借金ヲドウ云フ風ニ始末スルカト云フコトハ、無論是ハ知事ガ案ヲ設ケテ、形式トシテハ其ノ地方ノ縣會ニ掛ケテヤルノデアリマスガ、モウ事ハ四月一日ニ決ツテ居ル、之ヲスルニ付テハ知事ハ必ズ政府ニ指示ヲ仰イデ、政府ト相談ヲシテ案ヲ設ケテ之ニ臨ムト云フコトハ當然ナコトデアアル、ソレガ二年三年先ノ問題デハナクシテ、政府ハ直チニヤラウト云フ御考デアリマスカラ、必ズ此ノ案ナルモノハ具體的ニ出來テ居ナケレバナラヌノデアリマス、是カラ知事ガ地元ト協議シテ作ルトカ云フヤウナコトハ一片ノ口實デアツテ、少クトモ政府ト知事トノ間ニハ最早既ニ其ノ具體案ガ出來テ居ラナクテハナラスト思ヒマス、大體其ノ案ノ輪廓ヲ一ツ此處ニ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○挾間府委員 案ノ具體的ナ輪廓ヲ此處デ申上ゲルト申シマシテモ、是ハ政府カラ斯ウ云フ案デ進ムノガ宜カラウト云フコトヲ指示スベキモノデハナイト私ハ考ヘテ居リマス、假ニ一二ノ例ヲ申上ゲマス、例ヘバ廣島縣ニ於キマシテハ、三部制廢止ノ際ニ於ケル負債ノ整理ノ問題トシテ、市部ニ於ケル廣島港ノ修築ノ問題ヲ新規ノ事業トシテヤルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス、即チ市部ニ關係ノアル事業ヲ府經費ヲ以テ新規ニ起ストカ、或ハ市部事業ニ對スル府縣ノ援助ヲ將來ニ於テ十分ニ保證スルトカ、色々サウ云フ手段方法ガアルト思ヒマス、ソレニ對シテハ又地元トシテ、市部側ト申シマスガ、市ノ側ノ希望モアルコトデアラウト思ヒマスカラ、此ノ方法ガ當市トシテハ希望デアアル、斯ウ云フ方法ハ神戸市デハ餘リ希望シナイ、斯ウ云フヤウナ事情ガアツテ、知事ガ考慮スル各種ノ案ノ中デドレヲ採ルカト云フコトハ、其ノ事情、又其ノ考ニ依ツテ違フト思ヒマスノデ、ハツキリト之ニ依ルト云フコトヲ政府トシテ確定的ニ御話スルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、今申シマシタノハ一二ノ例デゴザイマス、サウ云フヤウナヤリ方ガ幾ラモアルト思ヒマス、サウ云フモノヲ具シテ市部側、郡部側ノ希望ヲモ考慮ノ中ニ入レマシテ、適當ナ案ヲ作成スルヤウニ、今折角知事ノ所デ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、茲ニ暫ク時ヲ與ヘマスレバ、必ズソコニ案ガ出來ルコトト思ツテ居ルノデアリマス

○塚本委員 先程モ仰セニナリマシタヤウニ、知事ハモウ昨年ノ間ニモ地元ト協議會ヲ開イテ、サウシテソレニ呼掛ケヨウトシテ居ツタガ、地元ノ空氣ガ惡クテ、ツイ其ノ機會ガナクシテズルノト延ビテ居ルノデアリマス、本來カラ言ヘバ、此ノ協議談合ハ三部制ノ存置シテ居ル間ニ出來ルナラバヤルノガ一番宜イノデアリマス、恐ラクハ政府モソレヲ希望ササツテ居ルコトト思ヒマス、然ルニ地元ノ空氣ガ惡イ爲ニツイ其ノ機會ガナクテ、ソレヲ延バスト云フヤウナ形勢ニ立至ツタノデアリマス、隨テ地元ノ空氣サヘ良ケレバ三月前ニ立案ヲシテ仕事ヲヤラウ、必ズサウ考ヘテオ居デニナルニ違ヒナイノデアリマス、只今アナタノ仰セノヤウニ今研究シテ居ルトカ、是カ

ラ作ルト云フコトデハナクシテ、必ズ大體ノ案ハ出來テ、サウシテ政府カラ指示ナサルノデハナイカ、政府ノ方ニ御相談ガアツテ、政府ノ方デハ十分ソレヲ御承知ニナツテ居ル、斯様ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマスガ、實際ハサウデナイノデアリマスガ、マダ是カラ研究ヲシテ其ノ案ヲ作ルト云フノデアリマスルカ、此ノ點ヲモウ一度御同致シマス

○挾間政府委員 抽象的ニ色々ノ方法ガアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、斯ウ云フ三部制ヲ廢止スル場合ニ於テ、前例ニモ色々アリマスシ、ソレカラ又理論ト申シマスカ、詰リ抽象的ニ斯ウ云フ方法ガ考案シ得ルダラウト云フヤウナ假設的ノ手段方法ト云フモノハ色々研究ハ致シテ居リマス、併シ具體的ニ愛知縣ニドレヲ適用スルカ、兵庫縣ニドレヲ方法デ進ムカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ地元ノ希望、其ノ他ノ關係モアリマスカラ、ソコハ地元ノ知事ト地元ノ協議ニ依リマシテ、適當ノ案ヲ作ルト云フコトヲ第一ノ條件トシテ考ヘテ居リマスノデ、抽象的ノ案ニ付キマシテハズツト舊クカラ内務省トシテハ考慮ハ致シテ居リマスケレドモ、具體的ノ問題ハ各個ノ場合ニ其ノ地元ニ於テ適當ニ考慮スルト云フコトヲ條件トシテ進ミタイト思ツテ居リマス

○塚本委員 サウスルト抽象的ノ案ト云フモノハ早クカラ内務省ニ出來テ居ル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、恐ラク其ノ抽象的ノ案ト云フ言葉ヲ其ノ言葉通りニ受取ルトシマスレバ、之ヲ始末スルニ付テハ内務省ノ方針トシテハ、現在市ガ持ツテ居ル借金ヲ縣ノ方ヘ肩替リスルト云フノモノツノ方法

デアリマセウ、ソレカラ市部ノ方ニ新ニ仕事ヲ多クシテ、サウシテ此ノ起債ノ市郡ノ「バランス」ヲ取ルト云フノモノツノ方法デアリマセウ、ソレカラ將來永キニ互ツテ縣ノ方カラ市ノ方ヘ補助ヲスルト云フヤウナ途ヲ取ルコトモ一ツノ方法デアラウト思ヒマスガ、此ノ始末ヲスルニ付テ、内務省ハ大體ドノ方針ヲ以テ臨マレヨウト致シテ居リマスルカ、恐ラクソレハ決ツテ居ルト思ヒマスガ、ソレヲ伺ヒマス

○挾間政府委員 ソノ點ニ付テ内務省トシテハ具體的ニ決定ヲ致シテ居リマセウ、度度申上ゲマスヤウニ、其ノ中デドレガ一番其ノ市、縣ノ事情ニ適合スルカト云フコトヲ地元ニ於テ決定サセルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○塚本委員 事ハモウ四月一日ニ迫ツテ居ル、而モソレヲ押切ツテ實施ナサラウトスルノニ、其ノ具體的ノ案ガ立ツテ居ラウト云フヤウナ、ソコナコトハアリ得ル事デハナイト思フ、若シソコナコトデアルトスレバ、ソレハ非常ニ減額ナ行キ方ダト私共ハ考ヘマス、大體四月ニ入りマスレバモウ三部制度ト云フモノハナクナツテシマフノデアリマス、本當ノ談合ナドト云フモノハ絶對ニ出來ル譯ハナイノデアリマス、地元ノ空氣サヘ宜ケレバ三月一杯ニ談合ヲ済マスト云フコトハハ當然デアリマス、此ノ方針ヲ堅持サレマスル限り、案自體ハ必ズ出來テ居ナクテハナラヌト私共ハ考ヘマス、而モソレガ大體ノ方針モ決ツテ居ラヌト云フコトハ如何ニモ不用意千萬ナコトデアルト思ヒマスガ、併シサウ云フ事態デアラナラバ是モ致シ方ナイト思ヒマス

キタイト思ヒマスガ、愈、此ノ三部制ガ廢止ニナリマス、昨年ノ十二月ニ縣會ノ決議シマシタアノ豫算ハ、市部會ノ豫算、郡部會ノ豫算、連帶會ノ豫算、斯ウ云フ三本建ニナツテ居リマス、ソコデ愈、四月一日ヲ以テ三部制ガナクナルコトニナリマス、此ノ三本建ノ豫算ハ一本建ニ引直サヌト一錢一厘モ使ヘヌコトニナリマスガ、一體此ノ三本建ノ經濟ヲ一本建ニ直スニハドウ云フ方法ニ依ツテソレヲ御直シニナルノデアリマスガ、之ヲ承リタイ

○挾間政府委員 無論ソレハ地方議會ノ議決ニ依リ譯デアリマス、縣ノ事情ニ依ツテ臨時縣會ヲ開キマシテ、其ノ議決ヲ經ルコトニナルカト思ヒマスガ、或ハ斯ウ云フ事態ノ生ズルコトモ豫想致シマシテ、是ハ實ハ豫算ノ單純ナ更正デアルト思ヒマスカラ、參事會ニ委任シテアリマスレバ、參事會ニ於テ議決シテ済ムコトデハナイカト思ヒマス、又是ハ府縣制ノ解釋ノ問題ニモ多少關係スルコトカトモ思ヒマスガ、府縣參事會ノ權限トシテ、急施事件トシテ參事會ニ於テ議決スル途モアルカト思ヒマス、內容的ニ見マスト、歳出ハ市部經濟、郡部經濟ニ屬スル歳出、ソレカラ連帶經濟、此ノ三ツヲ合セレバ其ノ縣ノ歳出ト云フモノガ出來ルト思ヒマス、歳入ニ付キマシテハ一應合セテ置ケバ宜イノデハナイカト思ヒマス、サウシテ稅制ガ變リマスカラ、今御審議ヲ御願シテ居リマス稅制ガ施行セラレマスコトニ依ツテ——是ハ各府縣共通ノ問題デスガ、全般的ノ歳入豫算ノ更正ヲ致サナケレバナリマセウ、其ノ際ニハ何レ臨時縣會ヲ各府縣共開カナケレバナヌコトニナルト思ヒマスノデ、暫定的ノ措置ヲ歳入ニ

付テ執ツテ置ケバ宜シイノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○塚本委員 臨時縣會ヲ開ク望ハ全然アリマセウ、此ノ點ハ恐ラク政府モ御承認ニナルト思ヒマス、ソコデ第二段ノ只今局長ノ御話ニナリマシタ參事會デ之ヲ代決サセルト云フ御話デアリマスルガ、一體ノ此參事會ハヤハリ只今デハ三本建ニナツテ居リマシテ、市部會ノ參事會、郡部會ノ參事會、ソレカラ連帶會ノ參事會ト三本建ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ市部會ノ參事會ガ市部ノ經濟ヲ代決スルコトハ是ハ出來マセウ、郡部會ノ參事會ガ郡部ノ經濟ヲ代決スルコトハ是亦或ハ出來ルカモ知レナイト思ヒマス、更ニ連帶會ノ參事會ガ連帶會ノ經濟ヲ決スルコトモ出來ルカモ知レヌト思ヒマスガ、三本ノ經濟ヲ一本建ニ參事會ガ直シ得ルト云フコトガ事實出來マスガ、若シ出來ルトスルナラバ、其ノ法的根據ヲ一ツ承リタイ

○挾間政府委員 府縣制ノ改正案ニ依リマシテ、三部制ヲ施行シテ居リマシタ府縣ノ參事會員ノ機構ガ變ツテ參リマス、市部參事會、郡部參事會モ消滅致シマシテ、一本ノ縣參事會ト云フモノニナリマス、改正後ニ於ケル參事會ニ於テ只今申上ゲマシタヤウナ豫算ノ更正決議ヲスルト云フコトニナルノデアリマス

○塚本委員 サウ致シマスルト、此ノ案ガ通ツテ、サウシテ新シイ參事會ニ依ツテソレヲ處置サセヨウト云フ御方針ノヤウデアリマスガ、其ノ參事會デ處置ヲ致シマスマデニハ、必ズソコニ一ツノ空間ガ出來ルト思ヒマス、現在ノ三本建ノ經濟ヲ一本建ニ引直シマセヌコトニハ、私ハ一錢一厘モ支

出スルコトガ出来スト思ヒマスガ、其ノ空間的ナ、過渡的ナ間ニハ、一體其ノ經濟ハドウ云フ風ニ御始末ニナルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○**扶間政府委員** 是ハ此ノ法律ガ四月一日ヨリ施行セラレマスカラ、四月一日ニ於テ今申上ゲマシタヤウナ手續ヲ執レバ宜シイト思ヒマス

○**塚本委員** 私ハ其ノ點ニ付テハ甚ダ疑義ヲ持ツテ居ル者デアリマスルガ、假ニ局長ノ御考ノ通りデアルト假定致シマシテモ、實際問題トシテ、四月一日ニ參事會ヲ開クト云フコトハ絕對ニ出来マセヌ、之ヲ出来ルト云フ見透シガアリマスカ

○**扶間政府委員** 私ハ無論開イテヤルベキダト思ヒマスガ、若シドウシテモ開ケナイト云フ場合ニハ、府縣制ノ上ニハ、斯様な場合ノ救済手段トシテ、知事ノ專決處分ト云フヤウナ方法モ執ルコトガ出来ルヤウニナツテ居リマス、豫算ノ執行ニハ差支ガナイヤウニ出来ルト考ヘテ居リマス

○**塚本委員** 三本建ノ經濟ヲ知事ノ職權ニ依ツテ一本建ニ直シテ、ソレヲ使用スルコトガ出来ルト云フ御解釋デアリマスガ、一體其ノ法的根據ハ何處ニアリマスカ、承リタイ

○**扶間政府委員** 三本建ヲ一本建ニスルト申シマスガ、ソレハ經濟ガ分別セラレテアルモノヲ一本ノ經濟ニスルト云フノデアリマシテ、豫算ノ實質、内容ニ變更ヲ加ヘルト云フコトデハゴザイマセヌ、サウシテ府縣制ノ建前ト致シマシテ、府縣會ヲ開クコトガ出来ナイ場合ニハ急施事件トシテ府縣參事會、尙ホ府縣參事會モ開ク餘裕ガナイ時ニハ、府縣知事ノ專決處分ヲ爲スコトガ出

來ルト云フ救済手段ヲ執ルコトガ出来ルノデアリマス

○**塚本委員** ソレハドノ箇條ニ依ルノデスカ

○**扶間政府委員** 府縣制ノ第八十六條デアリマス、御參考マデニ申上ゲマスト、「府縣參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣知事ハ專決處分シ次ノ會期ニ於テ其ノ處分ヲ府縣參事會ニ報告スヘシ」トナツテ居リマス

○**塚本委員** 此ノ點ニ付テハ雙方ニ於テ相當研究シナクテハナラスト思ヒマスガ、假ニソレヲ窮通スルノ途ハアリト致シマシテモ、實際ノ政治的措置ト致シマシテハ、サウ云フ案ヲ適用シテ進マナクテハナラスト云フヤウナ無理ガ伴フコトハ、是ハドウシテモ考ヘテ置カナクテハナラヌノデアリマス、斯ウ云フ問題ヲ處理スルニ當リマシテ、サウシテ無理ヲシテマデモ進メルベキ性質ノモノデハナイト私ハ考ヘマスガ、關聯質問デ餘リ時間ヲ取リマシテモイケマセヌカラ、少シ永江君ニヤツテ戴クコトニ致シマシテ、又機會ガアリマシタラ……

○**扶間政府委員** 一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ決シテ私ハ無理ヲ申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、四月一日デアリマシテモ、何時デモサウ云フ問題ハ起ルノデアリマス、ソレカラ研究ト云フ御話デアリマシタガ、法規ノ解釋トシマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ非常ノ場合ニ處スル手段トシマシテハ、私ノ申上ゲタ通りデ差支ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○**永江委員** 只今ノ質問應答ニ現ハレテ居

リマスヤウニ、結局四月一日カラ實施セラレナラバ、此ノ三部制經濟ノ廢止ニ關スル限りニ於キマシテハ、ヤハリ原案執行のナ態度ヲ以テ當局ガ臨マレナケレバ出来ナイト思ヒマス、是ハ假定デハアリマスケレドモ、斯様な地元ノ談合ガ濟マナイ場合ニ、法令一本デ行ハレルト云フコトニナレバ、兵庫縣ニ於キマシテモ、愛知縣ニ於キマシテモ、縣會ハ招集サレテモ恐ラク市部選出ノ縣會議員ハ一人モ其ノ縣會ニ出席シナイト思フ、恐ラク是ハ私ハ斷言シテモ差支ナイコトダト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テモ、當局ハ此ノ原案執行ヲ行フヤウナ方針デ處理セラレルトデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○**扶間政府委員** 豫算ノ更正ヲ議決スベキ臨時縣會ニ於テ、議員ガ出席ヲ致サナイト云フ時ニハ、議員ガ招集ニ應ゼザルモノト致シマシテ、縣參事會ニ依ツテ府縣會ノ議決スベキ事件ヲ議決致サナケレバナリマセヌ、是ハ獨リ三部制廢止ノ場合ノミデナク、一般ノ府縣行政上ニ於テサウ云フ場合ガ生ズルノデアリマス、尙ホ府縣參事會員モ招集ニ應ジナイト云フヤウナ場合ガアリマスレバ、已ムヲ得ズ知事ノ專決處分ヲ致サナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、無論左様ナコトハ府縣行政上ニ於キマシテハ、吾々トシテハ想像致シタクナイコトデアリマスノデ、臨時縣會ナリ、或ハ府縣參事會ナリニ依ツテ、圓滿ノ議決ニ依ツテ豫算ノ更正ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○**永江委員** 今非常ニ不幸ナル豫想ト言ハレタノデアリマスガ、私ハ此處デ確言シテモ差支ナイ、大阪、東京其ノ他ノ地域ニ於ケル三部制經濟ノ廢止ハ、地元ニ於ケル自

治的ナ談合ノ上デ行ハレタニ拘ラズ、獨リ兵庫縣、愛知縣ガ此ノ機會ニ法令一ツニ依ツテ廢止セラレルト云フコトニ付キマシテハ、先程來塚本委員ガ屢言ハレテ居リマスヤウニ、政治的ナ意味ニ於キマシテモ到底神戸市及比名古屋市ニ於テハ承服シ難イ點デアリマシテ、其ノ點カラ申シマス、今非常ニ不幸ナル豫想ト言ハレマシタケレドモ、恐ラク臨時縣會ヲ御開キニナツテモ、市部選出ノ縣會議員ハ出ナイデセウ、ソレカラ參事會モ、是ハ四月一日ニナレバ、此ノ法令通りニ行キマスル、三本デナク一本ニナツタ參事會ニナルヤウデアリマスレドモ、御承知ノヤウニ今ハ兵庫縣ニ於テモ市部、郡部ソレノ同數ノ參事會員ヲ出シテ居ル、六名ガ市部、六名ガ郡部カラ出テ居ル、ソレガ十名ニナリマシテモ、大體市部、郡部共ニ五名ツツト云フヤウニナツテ、現在ノ參事會員ガ減員サレテ來ルト思ツテ居ルノデアリマスガ、サウナレバ參事會ニ於テヤラレル場合ニ於テモ、結局郡部側ノ參事會員ノミガ出席シテ行フト云フコトニナル、サウ云フ場合ニ強權ノ發動ニ依ツテヤルト云フ心構ヘガヤハリ内務省ニアレバコソ此ノ案ヲ御出シニナツタ、斯様ニ私共ハ解釋シナケレバ、只今マデノ御答辯ニ依ツテハ吾等トシテハ了承シ兼ねルノデアリマス、其ノ心構ヘニ付キマシテ、今一度明確ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○**扶間政府委員** 只今申上ゲマシタノハ、一般府縣制ノ適用ニ依ツテサウ云フ手段方法ガアルノデアリマシテ、是ハ獨リ三部制廢止ノ場合ニ起ルトカ云フ問題デハゴザイマセヌ、今度ノ府縣制ノ改正ノ附則ニ掲ゲテ居リマスノハ、三部制廢止ノ際ニ於ケル

善後措置ト申シマスガ、參事會員ノ定數ヲ如何ニスルカ、補充員ヲ如何ニスルカト云フヤウナ規定デアリマシテ、今申上ゲマシタ議決機關ノ代行方法ニ付キマシテハ、一般府縣制ノ規定ニ依ルノデアリマシテ、ドウシテモ議決ガ出來ナイト云フヤウナ時ニハ、先程ノヤウナ結果ニナルノモ已ムヲ得ナイト思ツテ居リマス

○塚本委員 尙ホ一寸關聯シテ伺ヒスガ、四月ニ新ニ一本建ニ直サウト云フコトデ、參事會ヲ開イタ場合ニ、市部ノ參事會員ハ、是ハ判ヲ捺シテモ宜イ程一人モ出スト思ヒマスガ、若シ市部側ノ參事會員ガ出ナカツタト云フ場合ガ起リマスルト、財務ニ關スル代決ハ定員ノ三分ノ二以上ノ出席ヲ要スルト思ヒマシタガ、若シ市部會ノ者ガ出ヌト云フコトニナリマス、三分ノ二ト云フ數ガナイノデアリマシテ、其ノ決議ハ恐ラク出來マイト思ヒマス、ソコデ先程アナタカラ御述ニナリマシタ緊急招集ノ暇ナキ時ト云フ條文デアリマスガ、暇ナイ時デヤナイ、招集スル暇ハ十分アツテ招集シタガ、反對ノ者ガ出テ來ナカツタ、而モソレガ三分ノ二以上ノ員數ヲ要スルト云フ場合ニハ、只今御述ニナツタ條項ト云フモノハ適用ガ出來ナイノデアリマスガ、其ノ間ノ困難ハドウシテ打開ナサラウトスルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ御伺致シマス

○挾間政府委員 今御述ニナリマシタ三分ノ二ト云フノハ何デゴザイマスカ

○塚本委員 財務ニ關スル處分ハ三分ノ二以上ノ決議ヲ要スルノデハナイデスカ

○挾間政府委員 先程ノ御尋ヲ私一寸誤解致シテ居ツタカモ知レマセスガ、今御話ナリマシタノハ、三部制ト云フモノガ存在

シテ居ルコトヲ前提トシテノ御議論デハナイカト思フノデアリマス、併シ四月一日ニ三部制ガ廢止ニナリマス、愛知縣モ兵庫縣モ普通ノ府縣ト同ジヤウニ一本經濟ニナリマスカラ、普通ノ縣會ノ議事方法、參事會ノ議事方法ニ依ルコトニナルノデアルト思ヒマスノデ、議事方法トシマシテハ特例ハナイト考ヘテ居リマス

○永江委員 ソレデハ此ノ附則ニ關シテ、今ノコトニ關聯ガアリマスノデ御尋ヲスルノデアリマスガ、此ノ付則ノ第四項ニ「從來市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ニ於ケル昭和十四年度分以前ノ財務ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル」ト云フ風ニ書イテアリマス、此ノ昭和十四年度分以前ノ財務ト云フコトノ中ニハ、屢、私共ガ質問致シテ居リマスルヤウナ郡部債、市部債ノ問題ヲ含メテ居ルト思フノデアリマスガ、サウ云フモノハ從前ノ例ニ依ルトシテアル、ソレカラ附則第五項ニ於キマシテハ「從來市部及郡部ノ經濟ヲ分別シタル府縣ノ財產處分ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トシテアルノデアリマス、是ハ其處デ法文ヲ御探シニナツテモアル譯ハナイノデ、此ノ財產處分ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ定ムトシテアリマスレバ、何カソチラニ命令ノ基礎案デモアル筈デアリマスガ、其ノ從前ノ財務ト云フコトト財產處分ト云フコトニ關聯シマシテ、只今問題ニナツテ居リマスル處理方法ヲモウ少シ具體的ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○挾間政府委員 此ノ附則ノ第四項ノ昭和十四年度分以前ノ財務ト申シマスルノハ、詰リソレガ十五年度ニ入りマシテモ、十四年度ノ決算等ノ問題ハ引續イテマダ殘ツテ

居リマスシ、ソレカラ十四年度マデノ例ヘバ府縣稅ノ過年度ノ收入デアルトカ、マダ引續イテ從前ノ規定ニ依ラナケレバナラス問題ガアリマスノデ、斯様ナモノハ從前ノ例ニ依ルモノデアルト思ツテ居リマス、ソレカラ第五項ノ府縣ノ財產處分ニ付キマシテハ、現在モ府縣制ノ第四百四十條ニ「從前郡市經濟ヲ異ニシタル府縣ノ財產處分ニ關スル規定ハ內務大臣之ヲ定ム」斯ウ云フ規定ガアルノデアリマス、是ハ今度此ノ規定ガ削除ニナリマス、是ガ三部制ノ規定デアリマスガ、此ノ規定ガ削除ニナリマスノデ、何カ必要ガアツタ場合ニハ斯様ナ規定ガ殘ツテ居ナケレバナナイト云フノデ、茲ニ第五項ヲ設ケテ居リマスガ、恐ラク一本ノ經濟ニナリマスノデ、斯様ナ命令ヲ出ス必要ハナイト思ヒマスルケレドモ、是ハ萬全ヲ期スル爲メ、念ノ爲メ斯様ナ規定ヲ入レテ居ルト云フ程度デアリマシテ、只今ノ所如何ナル命令ヲ出スカト云フコトハ豫想致シテ居リマセス

○永江委員 非常ニ重大ナ御答辯ヲナサツタノデアリマスガ、サウ致シマス、此ノ三部制經濟ノ四月一日カラノ廢止ト云フコトガ實現致シマスルト、從來三本建デアリマシタ所ノ各經濟ノ財務モ、或ハ財產處分モ、總テ是デ何等特別ナ命令ヲ出サナクテモ一本ニ還元シタモノダ、斯ウ云フ御見解デアリマスカ

○挾間政府委員 度々御話致シテ居リマス通り、此ノ三部制ヲ廢止致スニ伴ヒマシテ、各種ノ經過的ノ措置ニ付キマシテハ、府縣會ノ議決ヲ要スベキモノニ付キマシテハ、地元ニ於テ協議決定ノ上、府縣會ノ議決ヲ以テ自治的ニ決定スルト云フコトガ一番

宜シイト云フノデ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ今ノ財產ニ付キマシテハ、御承知ノ通り一本建ニナリマス、積極財產、消極財產共ニ當該府縣ニ歸屬スルコトハ、是ハ當然デゴザイマスカラ、御話ノ通リデアラウト思ヒマス

○永江委員 積極財產、消極財產ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナツタノデアリマスガ、先程來私共ガ屢、御尋ヲシテ居ルヤウニ、市部債、郡部債ノ問題等ハ、當然一本ニナツテシマフ、斯ウ云フ見解デ宜シウゴザイマス、カ

○挾間政府委員 無論サウデゴザイマス、ソコデ市部債モ郡部債モ併セテ其ノ縣ノ縣債トナリマスカラ、ソコデ其ノ負擔關係ニ付キマシテ、從來ハ市部ハ市債部ヲ償還シ、郡部ハ郡債ノミヲ負擔シテ居ツタガ、今度ハ一本ノ經濟ニナルノデ、將來ノ善後措置ヲ如何ニシタラ宜シイカト云フコトガ、是カラノ問題ニナル譯デアリマス、ソレヲ地元ニ於テ知事ガ對案ヲ立テテ協議決定ノ上、府縣會ノ議決ヲ經テ適當ナ案ヲ決定スベキデアル、斯ウ云フコトヲ今マデ申上ゲテ居ルノデアリマス

○永江委員 サウ云フ御答辯デアリマス、結局一本ニナツテシマフト云フコトニナリマスレバ、先程私ガ申上ゲマシタヤウニ、郡部債ニ關シマシテハ、名古屋及ビ神戸ノ市民ノ代表者デアアル所ノ縣會議員ガ參與セザルモノデアリマス、其ノ負債ガ市民ニ轉嫁サレテ來ルノデアリマスガ、是ハ先程塚本委員ガ屢々御述ベニナリマシタヤウニ、日本ノ憲法ノ上ニ於テモ、或ハ立憲政治ノ建前ニ於キマシテモ、其ノ市民ノ代表者ガ參與セザル所ノモノガ——或ハ市會ニ於キ

マシテモ、縣會ニ於キマシテモ、或ハ國會ニ於キマシテモ、是等ノ代表者ノ參加セザル所ノ借金ト云フモノガ、法令一本ノ改正ニ依ツテ市民ニ轉嫁サレルト云フ、斯様ナ建前ヲ當局ハ御認メニナルデアリマスガ

○**狹間政府委員** ソレハ永江サンノ御話デゴザイマスガ、私ハサウ云フモノデアラウト思フノデアリマス、三部制ヲ廢止シテ、愛知縣ト、兵庫縣トガ一本ノ經濟ニナルノデスカラ、市部債、郡部債ガ愛知縣、兵庫縣ノ縣債トナルト云フハ、二部經濟三本建ノモノガ單一經濟ニナルト云フ結果トシテ、サウ云フコトニナルハ當然ノ歸著ダラウト思ヒマス、ソコデ結局如何ナル手段方法ニ依ツテ其ノ市部民、郡部民ノ負擔ノ均衡、善後ノ措置ヲ講ズルカト云フコトヲ、茲ニ政究シ、立案シナケレバナラヌト云フ問題ニ歸著スルノデアルト思フノデアリマス、若シ今御話ノヤウナ問題ヲ突詰メテ参リマス、市部債、郡部債ガアル限リハ、三部經濟ト云フモノハドウシテモ廢止スルコトハ出來ナイノダト云フコトニナルノデアリマスガ、サウハ行カナイノデハナイカ、隨テソコニ善後措置トシテ適當ナル方法デ辻褄ノ合フヤウナ手段ヲ講ジヨウト云フコトニナツテ參ルト思フノデアリマス

○**永江委員** サウ云フ風ニ市部債、郡部債ガ連帶債同様ニ一本ニナツテシマフト云フ原則的ナコトガ、日本ノ代議政體ノ上ニ於ケル議決ヲ屢、繰返シテ茲ニ六十年來ノ歴史ヲ持ツテ來タモノガ、今日根本的ニ其ノ建前ガ崩レマシテ、サウシテ一本ニナル、斯ウ云フコトヲ原則的ニ當局ガ御認メニナルト云フコトハ、私共トシテハ絕對ニ承服ガ出來マセヌ、ソレカラ善後措置ト仰シヤル

ノデアリマスガ、私モ將來三部經濟ヲ廢止スルコトニ付テハ、絕對反對デアルトハ申シテ居ラスノデス、將來市部ノ負擔均衡ノ爲ニ三部經濟ガ廢止サレルコトモ萬已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居リマスガ、今日只今マデノ所三本建デ參ツテ、而モ斯様ニ開キノアル借金ヲソレノ經濟ガ背負ツテ居ルノデアリマス、ソレダケハ國家ガ其ノ間ニ入ツテ肩替リスルトカ、何カ此ノ代議政體ノ建前ニ於テ、不當デナイ一ツノ方針ヲ御立デニナラナケレバ是ハ出來ナイコトダト思フノデアリマス、ドウシテモ其ノ點ハ私共ハ承服出來ナイノデアリマシテ、最モ良イ案ト屢、漫然ト仰シヤツテ居ルノデアリマスケレドモ、原則的ニ市部債モ郡部債モ一ツニナツテシマフトダ、市民ハ今マデノ自分等ノ代表者ノ參加セザル借金ヲ大體七千萬圓背負ヒ込ムノダト云フ原則ヲ御認メニナルコトハ承服出來マセヌ、ソレデ之ニ對シテハ何處マデモ代議政體ノ建前カラ行ツテ妥當デアルト云フ案ヲ原則トシテ御立デニナラヌ限リニ於キマシテハ、私ハ是ハ圓滿ナル解決法ハナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○**狹間政府委員** 御述ニナリマシタ點ニ付キマシテ、大體三部制廢止ト云フコトニ付テハ理論的ニハ別段反對ハシナイト云フ御說デゴザイマス、廢止ヲスルト云フ前提ニ立チマスルト、債務ヲ縣ニ於テ一緒ニソレヲ縣債ニスルト云フ手段方法以外ニハナイノデアリマシテ、市部債、郡部債ヲ市部議員、郡部議員ガ議決シテ、他ノ議員ハ關與シテナイト云ツテモ、ソレハ其ノ時ノ制度ガサウ云フノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイノデアリマシテ、一本經濟ニナレバ

之ヲ引繼グト云フ外ハナイト思ヒマス、無論今同ノ三部制廢止ト云フコトハ、法律ニ依ツテ最モ立憲的ニ議會ノ協賛ヲ經テ實行スルト云フ譯デアリマス、唯併シナガラ其ノ際ニ於テ債務ヲ一本ニシテ縣ニ於テ縣債トシテ引受ケル、市部債、郡部債ト云フ別箇ノ經濟ノ債務ガ單一經濟ノ債務トナルト云フ場合ニ、互ニ負擔ノ均衡ガ失ハレテ居リマスカラ、其ノ際ニ於ケル善後措置ト云フモノハ成ベク權衡ヲ失スルコトノナイヤウニ、地元ニ於テ適當ナ案ヲ考ヘテ、ソコニ満足ノ行クヤウナ方法ヲ考案シナケレバナラウト思フノデアリマシテ、ソレニ付キマシテハズツト前カラ申上ゲテ居リマスヤウニ、關係府縣知事ニ於テ只今考慮ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、ソレニ從ツテ近ク適當ナ案ガ出來、縣會ノ議決ヲ經ルヤウナコトニナルト考ヘテ居リマス

○**塚本委員** 此ノ自治制度ノ組織ノ方カラ三部制ノ廢止ト云フ問題ヲ考ヘマス時ニ、現在出テ居リマスル縣會議員ト云フモノハ、三部制度ノ下ニ選出セラレタ議員デアリマスカラ、此ノ議員ノ任期中ヲ其ノ實施期間トシテ、サウシテ此ノ組織ノ下ニ生レテ來タ議員ニ依ツテ、過去ノ借金等ノ話合ヲ付ケサセテ、サウシテ新ナル縣會議員ノ手デ一部制ノ新シイ制度ヲ運用シテ行クト云フコトガ、此ノ組織ノ建前カラ言ツテ一番合理的ナ行キ方デヤナイカト私ハ考ヘマス、殊ニ此ノ問題ハ最前カラモ申上ゲマスルヤウニ、非常ニ深刻ナル對立ヲ來シタ政治問題デアリマシテ、郡部ハ多年三部制ノ廢止ヲ絶叫シテ參リマシタジ、市部側ハ多年之ニ反對ヲシテ來タ、然ルニ今同此ノ法案ニ依リマシテ三部制ヲ廢止スルト云フコトハ決

定ヲ見ルノデアリマスカラ、所謂郡部側ノ言ヒ分ト云フモノハ七割マデハ是デ通ルノデアリマス、七割マデハ額ガ立ツノデアリマス、ソコデ三部制ハ廢止スル、サウシテ七割ハ郡部ノ額ヲ立テル、實施期間ヲ現在ノ縣會議員ノ任期中ニ置イテ、三割ノ額ヲ市部ノ方ニスル、是ガ政治的措置トシテ最モ妥當ナル行キ方デアリハセヌカト私ハ考ヘマスガ、當局ハ左様ニ御考メナラヌノデアリマスカ

○**狹間政府委員** 成程三部制ノ下ニ於テ選舉セラレタ議員デアリマスガ、議員ノ任期ト云フモノト三部經濟制ト云フモノトハ、私必然ノ關係ハナイノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ度々申上ゲマシタヤウニ、今回ノ稅制改正ト云フ大キナ立場カラ考ヘマシテ、三部制ハドウシテモ此ノ機會ニ於テ廢止セザルヲ得ナイ、唯ソレニ付キマシテ必要ナル善後措置ハ速ニ決定ヲ致シマシテ、ソコニ負擔ノ不權衡ノ起ラナイヤウニ、又問題ノ起ラヌヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○**塚本委員** 尙ホ一寸其ノ點ニ付テ伺ヒマスガ、先程過去ノ借金ヲ始末スル一ツノ方法トシテ、神戸市及ビ名古屋市ノ背負ツテ居ル借金ヲ縣ノ借金ニ肩替リスル方法モ一ツノ方法デアアル、斯ウ云フ御答ガアリマシタガ、果シテサウ云フコトガ、例ヘバ神戸市役所ノ持ツテ居リマス市債ヲ縣債ニ肩替リサセルト云フコトガ、實際問題トシテ出來マスカ、ドウデアリマスカ

○**狹間政府委員** ソレハ一ツノ方法トシテハ考ヘラレマスガ、ソレハ無論市ト縣トノ話合ノ問題デアリマスカラ、幾ラ良イト言ヒマシテモ相手方ノアル問題デ、出來ルカ出

來スカハ問題デアリマスガ、今御話ニナリマシタヤウニ色々方法ガアリマスカラ、各種ノ方法ヲ考ヘマシテ、地元デ協議ノ上デ折合フヤウナ案ニシテ問題ヲ解決シテ行キタイト考ヘルノデアリマス

○塚本委員 此ノ市部ト郡部ガ是デ永久ニ分レルト云フノデナクテ、今マデ鍋釜ヲ別ニシテ居ツタノヲ是カラ一緒ニナツテ仲好クシテ行ク、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ多年ノ兩方ノ争ヒヲ徹底的ニ一方ガ勝ツテシマツタ、一方ガ徹底的ニ負ケテシマツタト云フ解決ノ仕方ハ、政治的ニ見テ極メテ惡イ解決ノ仕方ダト思ヒマス、サウ云フ解決ノ仕方ヲ致シマスレバ、必ズ將來ニ禍根ヲ貽シマス、市郡ノ間ニ永ク結ンデ解ケナイシコリヲ殘スノデアリマスカラ、政府トシテ政治的ニ之ヲ御扱ヒニナルニ付テハ、一方ニ七分ノ額ヲ立デタラ一方ニ三分ノ額ヲ立テル、斯ウ云フコトガ私ハ當然ノ行キ方デアルト思ヒマス、此ノ稅制改革ト云フ大キナ仕事ヲスルノダカラ之ヲヤナケレバナラスト仰セニナリマスカ、併シナガラ稅制改革ヲオヤリニナルニ付テ、三部制ガアツタカラト云ツテ何モ差障リガアル譯デハナイ、唯技術ノ點ニ於テ面倒ダ、又過渡的經過ニ於テ全體トシテ三部制廢止ノ趣意ニ多少反スルカモ知レヌ、過渡的經過ニ於テ多少反スルコトハ如何ナル場合デモアルノデアリマス、三部制ハ廢止サレノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ少シモ私ハ矛盾ハ起ラスト思フ、寧ロ政治的ナ公正ナ處置ヲ執ル方ガ一層重要性ヲ持ツテ居ルトス様ニ考ヘマスカラ、當局ハ如何ニ御考デアリマスカ

○挾間政府委員 政治的ニ見マシテ一方ガ敗者、一方ガ勝者ト云フヤウナ感ジヲ與ヘルコトハ宜クナイ、是ハ全ク同感デゴザイマシテ、此ノ解決案トシテハ雙方ガ歩ミ寄リ、成程是デオ五ニ諒解シヨウト云フヤウナ方法デ、此ノ問題ヲ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス、其ノ點ハ全ク同様ニ考ヘテ居リマス、後段ニ付テ御述ニナリマシタ點ハ、度々申上ゲマシタ通り、今回ノ稅制改正ノ方針ト互ニ相容レナイモノデアリマスノデ、單ナル技術的ノ問題ト云フヨリモ、其ノ方面カラ致シマシテ、ドウシテモ稅制改正ノ施行ト同時ニ廢止ハ致シタイト考ヘテ居リマス

○塚本委員 此ノ問題ガ相當面倒デアルト云フ御見透シノ下デアツタカト思ヒマスルガ、過日內務省ニ於テハ、地元ノ兵庫縣知事ト愛知縣知事トコチラヘ御呼ビニナリマシテ、種々其ノ工作ニ付テ御打合セニナツタト私ハ承知致シテ居リマス、其ノ打合セヲ濟マシマシテ愛知縣知事ガ、地元ヘ立歸リマシテ、新聞記者ヲ集メテ發表ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ發表致シテ居ルノデアリマス、去ル十五日ニ上京シテ三部制廢止問題ニ關シテ內務當局ト打合セヲ行ツタ田中愛知縣知事ハ十九日午後四時四十分熱田驛著列車デ歸縣シテ次ノヤウニ語ル、今度ノ上京デ兵庫縣知事ト內務次官官邸ニ會見、關係局課長ト打合セノ結果三部制廢止ハ猶豫期間ヲ設ケズ昭和十五年度カラ實施スルコト、市部郡部トノ縣稅賦課ノ均等ヲ圖ルコト、三部制廢止ニ伴フ善後措置トシテ必要ナ新規事業ハ各知事ガ案ヲ作成シテ內務省ト打合フシタ上善處スルコト、此ノ三點ノ申合ヲシテ來タ」斯ウ云フコトヲ發表致シテ居リマス、私ハ之

ヲ直接聞キマシタ新聞記者ニモ會ヒマシタガ、其ノ時ハ知事ハ凱旋將軍ノ如キ態度デ、意氣軒昂トシテ發表シタ、之ニ依リマスルト內務次官ノ官邸デ局課長ト會見シタト云フコトデアリマスカラ、多分此處ニオ居デニナル御二方デアルト私ハ思ヒマス、サウシテ兵庫縣知事ト愛知縣知事ト四名ノオ方デ、次官モ御會合ニナツタカドウカソレハ私ハ存ジマセヌ、三部制ノ廢止ニ付テハ猶豫期間ヲ設ケナイ、斯ウ云フ申合ヲナサレタト此處ニ出テ居リマスガ、果シテ左様ナ申合ヲナサレタノデアルカ、ドウカソレヲ一ツ承リタイ

○挾間政府委員 關係府縣知事ヲ集メマシタノハ、申合セデハゴザイマセヌ、既ニ三部制ハ此ノ稅制ヲ施行スルニ伴ヒマシテ廢止スルト云フ方針ハ、政府トシテ既ニ決ツタ問題デアリマシテ、ソレヲ決定ヲ致シマシタノハ、稅制調査會ニ於テ中央地方ヲ通ズル稅制改正案ノ決定ヲ致シマシテ、ソレヲ閣議ノ決定ニ付シタ時ニ、正式ノ政府ノ決定トナツテ居ルノデアリマス、尙ホ其ノ前ニ於キマシテ內務省ノ方針トシテ定マツタト云フコトガ、既ニ稅制調査會ニ政府試案ト云フモノヲ提案シテ居ル時カラ、內務省トシテハ決定致シテ居ル問題デアリマシテ、度々申上ゲマシタヤウニ其ノ當時カラ私共ハ關係方面ニ對シテ、ドウシテモ是ハ今回ノ稅制改正ニ伴ツテ廢止スルノデアルカラ、一ツ善後措置ヲ講ジヤウ、オ互ニ協議シテ講ジヨウデヤナイカト云フコトヲ縷々御話ヲシテ居ツタノデアリマス、正式ニ政府ノ方針トシテ決定致シマシタノハ、昨年稅制改正案ノ要綱ヲ閣議ノ決定ニ付シタ時ニ、政府トシテノ意思ガ決定致シ

タノデアリマス、ソレニ基キマシテ法律案ガ作成セラレ、議會ニ提案セラレマシタ、次官官邸ニ關係府縣知事ヲ集メテ協議ヲ致シマシタノハ、決シテ此ノ三部制ヲ廢止スルノ猶豫期間ヲ置クヤ否ヤト云フコトヲ協議シタノデアリナイノデアリマシテ、廢止ニ伴フ善後措置ノ方法ニ付テ、速ニ適當ナル案ヲ協議決定ヲスルヤウニト云フコトヲ申渡シタノデアリマス、ソレダケデゴザイマス

○塚本委員 本案ハ只今吾々ノ手許ニ差出サレテ此ノ議會ニ於テ審議中デアリマス、是ガ海ノモノトナルカ山ノモノトナルカハ、此ノ議會ニ於テ決定致シマセヌコトニハ決定ガ付カヌノデアリマス、果シテ猶豫期間ヲ置クカ置カヌカト云フコトモ其ノ上デナイト決定ヲ致サヌノデアリマス、内輪ニ於テアナタ方ガドウ云フ申合セヲナサラウトモ、議會ノ審議ミタイナモノハ勝手ダ、形式的ニヤルダケダ、何ト云ハレヨウガソレハ構ヒマセヌガ、之ヲ外部ニ發動ナサルニ付キマシテハ、此ノ議會ノ審議權ヲ今少シク御尊重ニナラストイカスト私ハ思ヒマス、知事ガ、サウデナクテモ地元ニ於テ相剋摩擦ヲ起シテ居リマス最中ニ局課長ト既ニ猶豫期間ハ設ケナイト云フヤウナ申合セラシタ、サウ云フコトヲ外部ニ發表致シマスコトハ、此ノ案ガ議會ニ提案セラレテ居リマス現在トシテハ如何ニモ不謹慎ナ、議會ノ審議權ヲ無視シタモノデアアル、既ニアナタ方ノ方デ議會ノ審議ノ結果ヲ決定シテ、サウシテスクアルベキモノダト云フノデ外部ニ發表シタト同ジコトデアリマスカラ、斯様ナ不都合ナ事柄ハアルベキコトデナイト思フノデアリマスガ、其ノ點如何デ

アリマス

○**挾間政府委員** 政府ハ此ノ法案ガ議會ノ御協賛ヲ戴クコトヲ熱望致シテ居リマス、

サウ云フ意味ニ於キマシテ著々準備ヲ進メルノデアリマシテ、此ノ方針ハ決シテ外部ニ發表スルトカシナイト云フ問題デハナ

イノデ、法案ガ議會ニ提案セラレマシタ時ニハ、天下ニ政府ノ方針トシマシテハ公表セラレテ居ルノデアリマシテ、知事ヲ集メ

テ政府ガ其ノ際ニ方針ヲ發表シタトカ何ト云フ問題デハアリマセス、政府ノ方針トシテ斯ウ云フ法案ノ下ニ進行スルト云フ

コトニ付キマシテハ、善後措置トシテ早クソレニ即應スルヤウナ案ヲ作ラナケレバナラ

ヌノデアリマスカラ、其ノ方針デ一ツ案ヲ立テルヤウニト云フコトヲ集メマシテ話

ヲシタノデアリマシテ、十五年度ヨリ之ヲ廢止シ、猶豫期間ヲ置カズト云フコトハ、

此ノ法案ヲ議會ニ政府ガ提案シマシタ時ニ明ニナツテ居ルノデアリマス

○**小山委員長** 塚本君ニ一寸御注意ヲ申上

ガマスガ、アナタノ順番モ廳テ参リマスカラ、關聯質問ノ程度デ一ツ……

○**塚本委員** ソレデハ私ハ關聯質問ハ此ノ程度ニ致シテ置キマス

○**小山委員長** 永江君、アナタノ方ハ質問アレバ……

○**永江委員** 私ハマダアリマスケレドモ、何レ後デ塚本君ガ質問セラレル時ニ關聯シ

テヤラシテ貰フコトニシテ、今ノ御答辯デハ私ハ非常ニ納得シ兼ネル點ガ多イト云フコトヲ申添ヘテ打切りマス

○**小山委員長** 青木作雄君

○**青木委員** 私ハ分與稅ニ付テ御伺シテ見タイト思ヒマス、分與稅ニ於キマシテ第十

條ノ道府縣配付稅トシテ百分ノ六十二、市

町村配付稅トシテ百分ノ三十八、之ヲ御決

定ニナツタ基礎ヲモウ一度御説明願ヒタイ

○**挾間政府委員** 是ハ今回ノ稅制ニ於キマシテハ、一應地方ノ稅制ヲ白紙ノ狀態ニ置

キマシテ、道府縣ト市町村トニ必要ナル財源ヲ與ヘル爲メ計數的ニ算盤ヲ入レマシタ結

果、其ノ數字ガ六十二ト三十八ト云フコトニナツタノデアリマシテ、先日御手許ニ「地

稅第三十八號」ト云フ參考資料ヲ差上ゲテ置イタノデ、此ノ數字ヲ御覽戴キマスストオ

分リ戴ケルト思ヒマス

○**青木委員** サウシマススト此ノ數字ノ根據ハ、必要ナル財源ヲ計數ニ依ツテ出サレタ

ト云フノデアリマスカ

○**挾間政府委員** 左様デス

○**青木委員** 其ノ必要ナル財源ト云フコトハ、現在ニ於ケル歳出ヲ先ヅ肯定シテ、其

ノ歳出ノ上ニ立ツテ現在ノ稅收入額ノ總額ヲ考慮ニ入レテ、府縣ト市町村ノ額ガドノ

位ニナルカ、ソレニ依ツテ稅額ヲ按分セラレタノデアリマスカ

○**挾間政府委員** 歳出デハアリマセス、歳入デス、十五年度ニ於テ舊稅法ニ依リマシ

テドレダケノ收入ガアルデアラウカト云フ

コトヲ計算シマシテ、ソレヲ基準トシテ今

回ノ改正法ニ依リ稅收入ヲ振分ケタノデア

リマス

○**青木委員** 稅收入ヲ根據ニシテ振分ケタト言ハレコトハ、ソレダケノ稅收入ガナ

ケレバ現在ノ豫算ガ實行出來ナイト云フ意

味合デ、其ノ稅收入ダケハ確保シテヤル、斯ウ云フ意味デ分ケラレタノデアリマスカ

○**挾間政府委員** 昭和十五年度ニ於テ各地方團體ガ施設經營ヲ致シテ居リマスモノヲ

支辨スルノニハ十億三千二百萬圓ノ經費ガアレバ必要ニシテ十分デアル、其ノ稅收入

ヲ改正法ニ於テハ斯様ナ割振リデ配分スルコトガ適當デアルト云フノデ此ノ稅制ヲ立

テタノデアリマス

○**青木委員** 改正法ニ依リマススト三收益稅ハ折半サレテ居ル、デスカラ其ノ折半サレ

タモノニ更ニ獨立稅ヲ五ニ加ヘタモノガ、今度ノ改正後ニ於ケル道府縣並ニ市町村ノ

收入デアツテ、ソレニ今回ノ此ノ配付稅ヲ加ヘタルモノガ只今仰シヤイマシタ十五年

度ニ想像サルベキ稅收額ニ適合スルモノデアル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカ

○**挾間政府委員** 一應サウデゴザイマスガ、其ノ外ニ負擔區分ノ變更ニ依リマシテ、例

ヘバ義務教育費ノ教員給ガ市町村カラ府縣ニ移リマストカ、或ハ市町村ノ方デハ戶數

割ガ廢止ニナリマスストカ、府縣市町村ヲ通ジテ所得稅附加稅ガ廢止ニナルトカ、斯ウ

云フヤウナ問題、ソレカラ細カイ問題デスガ、府縣ニハ警察費運送費支辨金、或ハ市町

村ノ職業紹介所ノ地方分擔金ガ廢止ニナルトカ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ綜合シマシテ

ノ地方歳入ノ全般的ノ統合ノ結果、斯ウ云フ數字ニナル譯デアリマス

○**青木委員** 只今ノ參考資料ト云フノヲ私ハ持合シテ居リマセスカラソレ以上質問出

來マセスガ、私ノ推算致シマシタノデハ、道府縣ノ今マデノ歳入歳出、是等ヲ比較致

シマシテ考ヘタ時ニ、先般本會議デ質問シタヤウニ比率ニ非常ナ差ヲ生ジタ、即チ警

察費其ノ他小學校教員ノ俸給等ヲ計算ニ入レテ見マシテモ、道府縣ノ方ガ餘計ニナル

ヤウデアリマスガ、ソレハ自然増加ノ見込額ガ多クナルト云フコトト、只今ノ負擔分

任ノ關係トノ差ガサウ云フヤウニナツタト云フコトニナルノデスガ、ドウモハツキリ

分ラヌヤウニ思ヒマス、私ノ尋ネタノハ市町村ト道府縣トノ間ニ於ケル區分ヲ伺ツタ

ノデアリマシテ、是ハ改正後ニ於ケル地方財源ノ移動見込デアリマスカ

○**三好政府委員** 御手許ニ差上ゲマシタ表ガ御尋ノ數字ヲ示シテ居ルノデアリマス、配付稅ト云フ欄ヲ御覽下サイマススト、道府縣二億三萬圓、市町村ガ一億二千四百萬圓ニナツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ三億二千七百萬圓ノ總額カラ按分致シマススト、百分ノ六十二、百分ノ三十八、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、丁度御要求ノ數字ニ當ル表デゴザイマス、尙ホ斯ウ云フ風ニ致シマシタ結果、一番終ニ書イテゴザイマ

只今御述ニナリマシタ場合デモ非常ナ災害ガアツテ、例ヘバ静岡ノ火災ノ如キ家屋ガスツカリ焼ケタ、サウスルト家屋稅ガ取レナイ、其ノ結果單位稅額ト云フノガ非常ニ減額シマスカラ、サウスルト第一種配付額ト云フノガ増加シマス、其ノ意味ニ於テ見マスルト、斯様ナ場合ニハ配付稅ハ相當災害ノアリマシタ場合ニ増額サレルト云フコトニナルト思ヒマス

ソレカラ道府縣ニ付テ申シマス、國ノ補助ノアル災害債ガ多カツタ場合ニハ、其ノ災害ノ起債額ハ配付ノ基準トシテ採用サレマスカラ、起債額ガ多イ場合ニハソレダケ擔稅力ガ減ジタト云フ意味ニ於テ配付稅ノ方ニ響イテ配付額ガ多クナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

ソレカラ一般ノ市町村ニ付キマシテハ、第三種配付額ガ其ノ意味ニ於テ或ル程度ノ考慮ヲスルコトガ出來ルヤウニナルト思ヒマスガ、災害ノ起債ノ援助ト云フコトヲ主トシテ睨ミマシテノ救濟策ト云フモノガ、配付稅ノ中ニ盛込マレテ居ルト云フ風ニ申上ゲル譯ニハイカスト思ヒマスガ、今申シマシタヤウナ形ニ於テ色々ナ點デ現ハレテ來ルトハ思ヒマス

○青木委員 サウシマス、サウ云フヤウナ形デ分與稅ヲ通ジテ救濟サレ得ルト云フコトハ言ヘルガ、的確ニソレダケノ償還財源ヲ補給シテヤルト云フコトニハナラナイ、殊ニ府縣ノ場合ニ於テ、成ル程此ノ條文ノ中ニハ災害復舊ノ爲ノ起債額ノ十五分ノ一ヲ計算カラ引クヤウニナツテ居リマスカラ、太體十五箇年ニ償還シテシマフトシマス、餘程其ノ數字ガ符合スルヤウナ風ニモ考ヘラレルトデアリマスガ、サウスルト此ノ計算ニ依レバ大體其ノ金額ダケガ出テ來ル結果ガ證明出來ル譯デアリマス

○狹間政府委員 十五分ノ一ト云フノハ大體三十箇年ノ償還ト見マシテ、算盤デ行クト何デモ十五分ノ一ヲ控除スレバ宜イト云フヤウニナルラシイノデアリマス、併シナガラ是ハ一ツノ標準ノ數字デスカラ、其ノ額ガ生デソレダケ府縣ニ行クトハ限リマセヌガ、サウ云フ標準ノ下ニ配付額ガ定ツテ行クト云フコトニナル譯デアリマシテ、災害債ノアル府縣ハ其ノ災害債ノ多寡ニ應ジマシテ、分與稅額ノ金額ニモ關係ヲ持チマスガ、其ノ多寡ニ應ジテ配付稅ノ額ガ多クナツテ來ル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○青木委員 サウシマス、結局サウ云フ補給ノ得ラレナイ不足額ハ、ドウシテモ附加稅ヲ増徴スルヨリ外ナイト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ其ノ使途ニ依ツテハ附加稅ノ増徴ヲ當然御許シニナル御方針デアリマスカ

○狹間政府委員 是ハ災害ノ程度ニモ依リマスルガ、必要ガアル場合ニハ附加稅ノ増徴ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○青木委員 今回ノ稅ヲ見マスルト、色々ノ方法デ一割増加スルモノニ付テ其ノ配付ヲ加減シテ、サウシテ財政ノ惡イ府縣或ハ市町村ヲ救濟スルヤウニ按配スル爲ニ此ノ稅制案ガ出來テ居ルヤウデアリマスケレドモ、而モ尙ホ其ノ基礎ガ必ズシモ一部ノ町村ニハ的確ニ當ラヌヤウナモノガアリハシナイカト思フノデアリマス、例ヘバ今日ノ貧弱町村ノ中ニハ人口ガ非常ニ少イ、家屋稅トカ或ハ地租トカ云フモノノ上ル金額ハ大體今ノ標準單位稅額ニ近イモノデアリマシテモ、人口ガ少イ爲ニ遺憾ナガラ其ノ總額ガ足りナイ、總額ガ足りナイ爲ニ、今日ノ町村事務費、或ハ道路其ノ他ノ土木費ヲ支辨スルコトガ出來ナイト云フヤウナノガ私ハ可ナリアルト思フ、サウ云フモノハ人口ニモ現ハレナケレバ單位稅額ニモ現ハレナイ、併シナガラ町村ノ財政ハ必ズシモ豊カデハナイ、此ノ分與稅ノ示シテ居ル所ノ自然的ニ自働的ニ調節スル項目デハ救濟サレナイヤウナ貧弱ナ町村ガアルト私ハ思ヒマスガ、當局ハサウ云フヤウナモノヲ御認メデアリマス

○狹間政府委員 御述ニナリマシタヤウナ場合ガアルト思ヒマス、分與稅法ニ於キマシテハ割増人口ヲ用ヒルコトニナツテ居リマス、隨テ人口ノ寡少ナ町村等ハ第三十七條デ、今御述ニナリマシタヤウナコトガ正ニ救濟セラレルトコトニナルデアラウト思ヒマス

○青木委員 分リマシタ——只今私が申シマシタ附加稅徵收ニ付テ御許シニナツタ場合ヲ考ヘマシテ、地方稅ニ依ツテ増課サレル三收益稅負擔者ト他ノ稅トノ負擔ト云フ關係ガ著シク均衡ヲ失スルヤウナコトニナルデアラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テハ御考ヘナカツタノデアリマセウカ

○狹間政府委員 是ハ今回ノ稅制ガ大體地方稅トシマシテハ地租、家屋稅、營業稅ト云フモノヲ中心ニシ、サウシテ人稅的ノモノハ配付稅ノ方ヘ廻シテ居リマス關係上非常ニ大キナ災害ガアツタト云フヤウナ場合ニハ、此ノ稅ノ増率ヲスルト云フコトハドウモ已ムヲ得ナイノデハナイカト思フノデアリマス

○青木委員 私ハ此ノ稅ノ負擔者ノ率ヲ見シテモ、人口ガ少イ爲ニ遺憾ナガラ其ノ總額ガ足りナイ、總額ガ足りナイ爲ニ、今日ノ町村事務費、或ハ道路其ノ他ノ土木費ヲ支辨スルコトガ出來ナイト云フヤウナノガ私ハ可ナリアルト思フ、サウ云フモノハ人口ニモ現ハレナケレバ單位稅額ニモ現ハレナイ、併シナガラ町村ノ財政ハ必ズシモ豊カデハナイ、此ノ分與稅ノ示シテ居ル所ノ自然的ニ自働的ニ調節スル項目デハ救濟サレナイヤウナ貧弱ナ町村ガアルト私ハ思ヒマスガ、當局ハサウ云フヤウナモノヲ御認メデアリマス

テミマスルト、國稅即チ分類所得稅關係ニ於テ一〇%更ニソレト同ジ計算ノ基礎ニハ立チマセスケレドモ、其ノ點ハ姑ク同一ダト見テ計算シマス、府縣ノ附加稅ガ一〇%、更ニソレノ超過ニ對シテ二〇%更ニ目的稅トシテ二五%ヲ課スル、市町村ノ附加稅ガ二〇%、前ノ國稅ノ一〇%ハ他ノ「パーセンテージ」トハ一緒ニナリマセヌ、ナリマセヌガ他ノ「パーセンテージ」ハ即チ一緒ニシテ百分ノ八、七、六デアリマスカラ、ソレヲ割ツタモノデアリマスカラ、ソレハ計算ヲ變ヘナケレバナリマセヌ、即チ市町村ノ附加稅ガ二〇%、更ニソレノ超過ヲ認メタ場合ニ四〇%、更ニ目的稅ノ爲ニ掛ケル場合ニ於テハ、六八%、斯ウ云フコトニナリマス、詰リ國稅ニ對シテ四五%ヲ掛ケタモノニ加フルニ國稅ノ一〇%、五五%ガ實際ニナリ、ソレニ今ノ分類所得稅ヲ加ヘルコトニナリマスルガ之ヲ同一市町村ニ住ンデ居リマス他ノ所得者ト比較シマシタナラバ、餘リ過重ニナルヤウナ嫌ヒガアルヤウニ思ヒマスルガ、是デモ負擔ノ均衡ハ得ラレテ居ルト思ハレマス

○狹間政府委員 今度ノ稅制ニ於キマシテハ、國民負擔ト云フモノハ國稅地方稅ト通ジテ見ナケレバナラスト云フコトハ、度々此ノ委員會デ申上ゲテ置キマシタガ、今御述ニナリマシタ三ツノ收益稅ノ負擔ノ關係ニ付テ申上ゲマス、從來現行制度ニ依ツテ賦課致シテ居リマス稅率ハ、地租ニ付テ申シマス、賃賃價格百圓ニ付テ二・一ニナツテ居リマスモノガ、今回ハ百分ノ八ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ家屋稅ニ付キマシテハ八・三ニデアリマスモノガ百分ノ七ニナツテ居ルノデアリマシテ、

於テ一〇%更ニソレト同ジ計算ノ基礎ニハ立チマセスケレドモ、其ノ點ハ姑ク同一ダト見テ計算シマス、府縣ノ附加稅ガ一〇%、更ニソレノ超過ニ對シテ二〇%更ニ目的稅トシテ二五%ヲ課スル、市町村ノ附加稅ガ二〇%、前ノ國稅ノ一〇%ハ他ノ「パーセンテージ」トハ一緒ニナリマセヌ、ナリマセヌガ他ノ「パーセンテージ」ハ即チ一緒ニシテ百分ノ八、七、六デアリマスカラ、ソレヲ割ツタモノデアリマスカラ、ソレハ計算ヲ變ヘナケレバナリマセヌ、即チ市町村ノ附加稅ガ二〇%、更ニソレノ超過ヲ認メタ場合ニ四〇%、更ニ目的稅ノ爲ニ掛ケル場合ニ於テハ、六八%、斯ウ云フコトニナリマス、詰リ國稅ニ對シテ四五%ヲ掛ケタモノニ加フルニ國稅ノ一〇%、五五%ガ實際ニナリ、ソレニ今ノ分類所得稅ヲ加ヘルコトニナリマスルガ之ヲ同一市町村ニ住ンデ居リマス他ノ所得者ト比較シマシタナラバ、餘リ過重ニナルヤウナ嫌ヒガアルヤウニ思ヒマスルガ、是デモ負擔ノ均衡ハ得ラレテ居ルト思ハレマス

既ニ今回ノ稅制ニ依ツテ課率トシテハ餘程輕減セラレテ居ルノデアリマス、營業稅ハ多少増稅ニナツテ居リマスガ、尙ホ目的稅、是ハ相當増徴セラレコトニナリマス、是ハ府縣下市町村トヲ通ジテハ現行制度ト大體同様ニナツテ居ルノデアリマス、同時ニ目的稅ト云フハ、受益者ニ對シテ受益ノ限度ニ應ジテ賦課スルノデアリマス、ソレハ負擔ガ過重トカ、輕イトカ云フ問題トハ別箇ノ關係デアルト思ツテ居リマス

○青木委員 只今比較セラレマシタ數字ハ地租ニ於テハ一・三・一、サウシテソレガ今度ハ二ナリマスカラ、五・一・一ダケ減稅ニナル、斯ウ言ハレノデアリマスルガ、之ニ付テ分類所得稅ヲ加ヘテ居ラレノデアリマス

○挾間政府委員 只今申シマシタヤウニ、是ハ三收益稅ノ關係ニ於テ斯様ニ輕減セラレテ居ルト云フノデアリマシテ、分類所得稅ヲ入レテ御話シタノデハナイノデアリマス、戶數割ノ問題モ無論之ニ入レテ居リマセヌカラ、其ノ點モ併セテ申上ゲテ置キマス

○青木委員 三億三千万圓ノ中ニハ戶數割ハ入レテナイノデスカ

○挾間政府委員 率ノ中ニハ入レテ申上ゲテ居リマセヌ

○青木委員 ソレデ分リマシタ、私が只今申シマシタ負擔ノ均衡ヲ誤リハシナイカト申シマシタノハ、三收益稅關係ダケヲ以テ申シテ居ルノデハナイノデアリマス、今度ノ改正案ニ於テハ三收益稅モ、國稅一般モ皆加ヘテ見テ、サウシテ考ヘナケレバナラヌ、收益稅關係ノ時ダケヲ論ゼラレマシタ

ノデハ、マダ餘裕ガアル、屢、此ノ委員會デ論ゼラレタコトデアリマスルガ、此ノ三收益稅ヲ地方ニ獨立財源トシテ與ヘタノデアルカラ、非常ニ伸縮力ヲ持ツテ居ル、斯ウ言ハレタノデアリマスルガ、今度ノ稅制改革ニ依ツテ全體ヲ見マスルト云フト、是等ノ收益ニ依ツテ得タル人ノ收益關係ニ付テハ、全體ニ於テ可ナリ重イ稅ガ課カツテ來ルノデアリマス、デアリマスカラ地方ガ此ノ自分ノ獨立財源ニ付テノミマダ餘裕ガアルト云フ考ヲ持ツテ、只今申シマスルヤウニ租稅額ヲ平年度ニ示サレマシタ數字デ行キマスルト云フト、本稅ノ四〇〇％ト云フモノダケニ終ルナラバ、是ハ問題ナイノデアリマスルガ、自然ニ只今申シマシタヤウニソレニ加フルニ一五・三％マデハ増加ハ出來ル、又極端ナコトヲ申シマスレバ附加稅ハマダソレヨリ以上ニ増シ得ルト云フコトヲ考ヘテ參リマスル場合ニ於テハ、此ノ收入ト言ウタ所デ、是ハハハリ他ノ國稅關係ニ於テモ同ジク狙ツテ居ル所ノ收入デアリマシテ、地方稅ハ課カルガ、其ノ收入ニ對シテハ國稅ハ課カラナイ、斯ウ云フヤウナモノデアリマシタ場合ニ於テハ、完全ニ其ノ收入全體ガ愈、一文モナクナルマデハ課金得ル極端ナ場合ヲ想像サレルノデアリマス、國稅關係ニ於テ、又將來ニ於テ總理大臣ノ答辯ニモアリマスル如ク、事變ノ將來如何ニ依ツテハ相當ノ増稅ガ見込マレテ居ルト覺悟シナケレバナラヌ、サウ云フコトヲ考ヘテ見マス、可ナリ今回ノ改正案ニ於テ是等ノ收益稅關係ノモノハ、國稅ニ於テモ比率ニ於テモ相當ノ重イ率ガ課セラレテ居ルノデアル、只今ノ制限率以內デアレバ、先ヅ其ノ程度ノ比率ノ差等ハ

忍ブベシトシマシテモ、只今ノヤウニ無制限ニ課セラレルヤウナ場合ヲ考ヘテ見マス、ト、是ハ非常ニ酷ナ改正案ニナリマシテ、戶數割ノ改正ガ一部ノ人ニ取ツテ非常ナ弊害ヲ示シタガ如ク、本稅ハ斯ウ云フ收入ニ依存シテ居ル所ノモノニ取ツテハ、非常ナ不均衡ヲ生ズル虞ガアリハシナイカト思フノデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○挾間政府委員 負擔ノ均衡ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ國稅地方稅全體ヲ通ジテ考ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、此處ニ正確ナル數字ヲ一寸申上ゲ兼ネルト思ヒマス、併シナガラ收益稅關係ノ納稅義務者ノミガ非常ニ負擔ガ過重ニナルト云フノデハナイノデアリマシテ、是ハ國稅關係ニ於キマシテモ、配當利子等ニ於ケル稅率モズツト上ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ時局ニ於テハ負擔ノ過重ト云フコトハ忍バナケレバナラヌト思ヒマスガ、今御尋ニナツテ居リマス三稅ノ賦課率ノ非常ナル膨脹ト云フコトニ付テノ問題ハ、是ハマア場合ニモ依ルノデアリマスガ、災害ガアリマシテ、ソレニ對スル救済ガ全部之ニ降リ掛ルト云フコトハ少イノデハナイカト思フノデアリマス、災害ガアリマシタ場合ニハ、自然ソレニ依リマシテ、例ヘバ旱害ト云フヤウナ場合ニ於テハ、地租ガ減免セラレル結果課稅力ガ減ジマス、或ハ火災ガアルトシマスレバ、其ノ結果トシテ家屋稅ガ取レナイノデ、單位稅額ガ減額スル、其ノ結果トシテ配付稅ガ多額ニ來ルト云フヤウナコトニナリマス、此ノ三稅ノミガ非常ナ膨脹ヲスルト云フコトニハナラヌデアラウト私ハ考ヘマス、同時ニ之ヲドノ程度マデ賦課セシメラルカト云フコトニ付キマシテハ、府縣ハ百

分ノ百、市町村ハ百分ノ二百、サウシテ府縣ニ付テハ百分ノ二百二十、市町村ハ二百四十マデハ監督官廳ノ許可モ要シマセヌガ、ソレ以上ニ至リマシタ場合ニハ、監督官廳ガ其ノ財政情況其ノ他ノ事情ヲ考慮シマシテ許可スルコトニナツテ居リマシテ、其ノ點ニ於テ十分考慮ヲ致シマスノデ、之ニノミ集中サレルト云フコトニハナラヌダラウト考ヘルノデアリマス

○青木委員 只今仰ツシヤイマシタ監督官廳ガ考慮セラレテ、其ノ附加稅ノ増率ヲ許サレナイト云フ場合ニハ、其ノ歳出ヲ許サナイト云フコトニナルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ歳出ガ已ムナシトスレバ、歳入ヲ得ナケレバナリマセヌカラ已ムナク許可シナケレバナラヌ、歳出ハ認メルガ、歳入ハ許サヌト云フコトニナリマスレバ、他ニ財源ヲ求メナケレバナラヌ、サウ云フモノハ今回ノ改正案ニ於テハ三收益稅以外ニハナイヤウニ思ハレマスガ、サウ云フ場合ニハドウ致シマスカ

○挾間政府委員 今御述ニナリマシタヤウナ場合ハ私ハ極メテ稀ナ場合ト思ヒマスガ、左様ナ場合ガ起リマスレバ、此ノ三稅ニ依ル外ハナイト思ヒマス、配付稅ノ額モ増サナイ、而モ非常ニ歳出ガ膨脹ヲ見タト云フヤウナトキニハ、之ニ依ラザルヲ得ナイト思ヒマス

○青木委員 ソレデハサウ云フ場合ハ當局ニ於カレテハモウ無イト云フヤウニ確信シテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ハ今回ノ此ノ補則ヲ見マシテモ、非常ニ難解ナ方法ヲ以テマシテ其ノ過渡的處置ヲ講ジテ居ラレル、若シ之ニ現ハレタ程度ノ補則ガ必要デアルトシマスナラバ、サウシテソレニ引

ツ掛ル所ノ町村ガアルトシマスナラバ、其ノモノハ自然ニ五年ノ後ニ於キマシテハ、次第第二收入ガ減少シテ來ル、即チ分與稅ノ稅額ガ減少シテ來ル傾向ニアル、分與稅額ガ減少スルニ拘ラズ、改正額ニ依ル所ノ歲入ハ必ズシモ増加シナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、勢ヒ今ノヤウナ附加稅以外ニ救済スル途ハナイノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、サウスルト、其ノ中心ハ今申シマシタヤウナ極度ノ場合ハ起ラナイニ致シマシテモ、可ナリ他ト均衡ヲ失シタ結果ガ五年後ニ現ハレルコトガ分ル、若シサウデナケレバ、歲出ヲ毎年一割宛縮減シテ其ノ歲入減ニ備ヘナケレバナラヌガ、併シ現在ノ各町村ノ事務ノ狀態カラ考ヘテ見マシテ、人口ハ一ツモ増加シマセスデモ、サウ云フヤウナ財政ノ縮減下コロカ、物價騰貴カラ總テノ實情ヲ考ヘテ見マシテ、歲出ハ増スバカリト思ヒマスガ、サウスルト其ノ費用ノ増高ニ對シテ歲入ハ寧ロ増加セヌ、斯ウ云フコトヲ考ヘマスレバ、今仰シヤツタヤウナ、絕對ニソシナコトハナイト云フコトハ考ヘラレナイヤウニ思ヒマスガ、ドンナモノデアリマスカ

○挾間政府委員 今御述ニナリマシタヤウナ場合ハ、是ハ經過規定デ救済スルノハ、非常ニ貧弱ナ村デ増シ過ギルヤウナ所ガ急ニ増サナイヤウニナリ、非常ニ裕福ナ所ガ急ニ減少シナイデ漸次減少スルト云フコトニナルノデアリマシテ、御心配ニナツテ居ルヤウナ所ハ、寧ロ利益ヲ受ケル限度ガ急ニ來ナイコトニナル、斯ウ云フ風ニ御考戴イデ宜イデハナイカト思ヒマス

○青木委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、利益ヲ受ケル限度ガ急ニ來ナイト云フヤウ

ニ言ハレマスガ、サウスルト先ニナル程救済シテヤル金ヲ——暫定的ニ處置スル金額ヲ少クシテヤラウト云フヤウナ法律ノヤウニ私ハ見受ケテ居ルノデアリマシテ、即チ本案ニ依ル所ノ常態ニ行ク爲ニ、非常ナ極端ニ不足ノアルモノハ前年度ノ稅收入額ヨリ減ラナイヤウニ成ベクシテヤルト云フコトガシテアルノデアアツテ、ソレヲ次第々々ニ緩和シテ、結局本案ハ五年後ニ於テハ特別ノ手加減ヲシナイデモヤツテ行ケルヤウニ近付ケテ行カウト云フノガ、私ハ此ノ暫定規定デアアルヤウニ思フノデアリマス、サウスルト今極端ニ不足ヲシテ居ルモノヲ急ニヤルト云フコトニナレバ工合ガ惡イカラ、急ニヤル譯ニハ行カナイカラ、現在ノヤウナコトヲシテ居ラレル、ソレガ段々減ツテ行クマデニ於テハ、自然分與額ガ少クナルノデアリマスカラ、地方財政ハ私ノ言ツタヤウナコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、アタノ御話カラ言ヘバ、今少イモノハ餘計ハ貰ハレナイガ、五年先ニナルト次第ニ貰ヘルヤウニナツテ良クナル譯デアリシ、餘ツテ居ルモノハ急ニ餘計取レル所ノ部分ヲ使フト云フコトノナイヤウニ、其ノ餘剩部分ヲ他ノ貧弱町村ニ廻シテヤルト云フコトニナツテ居ルノデアアルカラ、此ノ案ニ依ツテ著シク收入ノ増加スルモノハ、次第ニ四五年前ニ於テ常態ニナルノダ、斯ウアナタハ言ハレルガ、私ノ言フノハサウ云フノト反對ニ、急ニヤルト云フコトガ——此ノ案ニ依ツテハ缺乏スルモノヲ救フ爲ニ暫定規定ガ設ケラレテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、考違ヒデアリマスガ

○三好政府委員 御尋ノ御趣旨ガ一寸吞込メナイノデアリマスガ、例ヘバ條文ノドチ

ラノ方デゴザイマセウカ、條文デ御話願フトハツキリスルカト思ヒマス

○青木委員 例ヘバ第五十條ニ於テ第三種配付額ト云フモノヲ百分ノ三十ニシテ居ラレル、此ノ百分ノ三十カラ段々昭和十九年度ニ於テ百分ノ十二ニナル、此ノ第三種配付額ノ處置ハ五十一條、五十二條、五十三條ニ書イデアリマスガ、ソレニハ新稅額ガ舊稅額ニ不足スル道府縣ニ對シテ、其ノ不足額ニ按分シテ分與スル、サウスルト新稅額ガ舊稅額ニ不足シテハナラナイ、言換ヘレバ今マデノ稅額ヲ著シク減少サセルヤウナコトヲシテハ市町村ノ經營ガ困難デアラウト云フ御考慮カラ是ガ出テ居ル、而モドウカト云フト、昭和十五年度ニハ百分ノ三十、十九年度ニハ百分ノ十ト遞減サレテ行ツテ居ラレルト云フコトハ、百分ノ三十位其ノ財源ガナケレバ、舊稅額ニ不足スル金額ヲ補充スルコトガ困難デアアル、斯ウ思ハレルカラ差詰メ昭和十五年度ニハ百分ノ三十二ニ相當スル金額ヲ以テ、舊稅額ニ不足スル部分ヲ補充シテ行ク、所ガ永クソシナコトヲシテ居タノデハ何時モ百分ノ三十ナケレバナラナイカラ、翌年度ハ百分ノ二十五ニナルト云フコトハ、多分其ノ市町村ナリ道府縣ハ幾ラカマダ新稅額ニ依ル稅額ガ増加スルデアラウ、サウスレバ舊稅額ニ比較スレバ幾ラカ伸ビテ來ルカラ、百分ノ二十五デモ少クトモ前年度ノ稅收入ガ得ラレルデアラウ、サウスルト非常ナ打撃ヲ與ヘナイデ済ムデアアラウト云フ御考慮カラ是ガ出來テ居ルト私ハ解釋シテ居ル、所ガ私ノ言フ例ハ、其ノ舊稅額ニ不足スル額ガ「コンスタント」ニズツト行ツテ居ルヤウナ町村デハ、百分ノ三十貫ツタ時ハ宜イガ、段々今

度ハ百分ノ十二加減セラレタ時ニハ、本ニナル所ノ第三種配付額ノ總額ガ減少スルノデアリマスカラ、其ノ不足額ハ依然トシテアリマスルケレドモ、按分比例ノ結果ソレダケ貫ヘナイト云フコトニナリマスカラ、自然財政ヲ壓迫スルノデハナイカ、斯様ニ申上ゲタノデアリマス

○三好政府委員 第五十條ノ第三種配付額ノ問題ハ、御說ノヤウニ減收額ニ付キマシテ見ル配付デゴザイマセウケレドモ、是ハ必ズシモ稅收入ガ從前ノ稅收入ニ比較シマシテ改正後ニ減ル所ノミ行クト云フ問題デハゴザイマセヌ、第一種、第二種ノ配付ニ依リマシテ從前ヨリモ或ハ稅收入ガ殖エルト云フ所モアルカモ知レマセヌ、ニモ拘ラズ此ノ第三種ノ考慮ヲ致スノデアリマス、是ハ増加シ或ハ減少スル稅收入ガ、成ベク改正前ノモノト大キイ波ヲ打タナイヤウニト云フ考慮カラ出タノデアリマス、隨ヒマシテ或ル場合ヲ限定シテ考ヘマス、即チ或ル團體ノミニ付テ考ヘマス、御說ノヤウニズツト減ツテ來ル所モ起ルカト思フノデアリマスガ、ソレハ又總體ノ收入トシテ、府縣デ言ヘバ第五十四條ニ於テ考慮致シテ居ルノデアリマス

○青木委員 第五十四條デ考慮セラレテ居リマスガ、是ハ成程基準ニハナリマスガ、昭和十九年度ニハ配付スベキ本ノ總額ハ百分ノ十二減少シテ居リマスカラ、此ノ少イ金ヲ以テ只今申シマシタ第五十四條ノ分デ救済サレマシテモ、大シタ救済ニハナラナイヤウニ思ヒマスガ、サウ云フコトハナイノデアリマスガ

○三好政府委員 只今御尋ノモノハ第五十條ト第五十四條ノ率其ノモノトハ無關係デ

アリマス、第五十條ノ規定ニ依リマシテ昭和十九年度ニ付テ申シマス、第一種配付額百分ノ四十五、第二種配付額百分ノ四十五、第三種配付額百分ノ十ト分與致シマシテ、其ノ額總額ガ假ニ從前ノ稅額ニ比較シテ百分ノ八十ニナルト云フ場合ニ於キマシテ、第五十四條ノ規定ガ適用サレテ、其ノ百分ノ八十ニ對シテ第五十三條デ出テ來マシタル額ヲ按分シテ持ツテ來ル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、直接此ノ第五十條ノ百分ノ十ト云フモノト第五十四條ノ百分ノ八十ニハ關係ガナイノデアリマス

○青木委員 第五十四條ノ百分ノ八十ニ充タザルモノ、例ヘバ今申上ゲマシタル百分ノ七十位シカナイト云フモノニ對シテハ、三分ノ二ヲ、百分ノ三十以上ニ超過シタ分ノ殘リヲ此ノ方ニ向ケル、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、其ノ額ハ今カラ豫想サレナイカモ知レマ、セヌガ、相當ノ金額ガアルト云フ御見込デアリマス

○三好政府委員 相當ノ金額ガアル見込デアリマス

○青木委員 相當ノ金額ト仰シヤイマス、私ガ今申上ゲマシタルヤウナ非常ナ貧弱ナ町村ノ現在ノ財政ヲ維持シ、且ツ前ノ少クトモ四、五、パーセントノ歳出ノ増大ヲ見ルト云フヤウナコトヲ想定致シタ場合デモ、之ヲ補給シ得ル程度ノ結果ガ現レルト云フ一應ノ計算ハ立ツテ居ルノデアリマス

○三好政府委員 計算ハ別ニ立ツテ居リマセヌガ、御話ノ如ク貧弱團體デアリマスレバ、寧ロ第五十條ノ方ノ適用ヲ受ケマシテ、第五十四條ノ方ノ適用ヲ受ケル團體ニハ相成ラスノデアラウト考ヘルノデアリマス、大體通ジテ申上ゲマスレバ、第五十四條ノ

適用ヲ受ケルヤウナ團體ハドウデアアルカト云フト、稅ヲ比較的高ク取ツテ居ル團體デアリマス、同ジヤウナ資力アル團體ヲ假定致シマスナラバ、稅ヲ高ク取ツテ居ル團體ノ方ガ第五十四條ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、サウ云フ團體ハ概ネ施設ガ他ノ團體ニ比較シテ良ク致シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ配付額ハ少額デアリマシテモ、或ハ稅收入ガ標準率デ計算致シマスレバ少額デゴザイマシテモ、施設ガ良イト云フコトニナリマスレバ、他ノ團體ニ比較シテ高率ノ稅ヲ課シテモ負擔ノ均衡ハ得ラレルト考ヘラレマス、丁度稅制全體ノ狙ツテ居ル結果ヲ得ルコトニナル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○青木委員 只今ノ御説明ニ依リマス、比較稅額ノ多イ、而モソレハ今御話ノヤウニ施設ヲ良クシテ居ル爲ニ高率ノ稅ヲ課シテ居ル所ハ第五十四條ニ依ツテ更ニ分配ヲ受ケルト云フヤウナ結果ニナリマスレバ、此ノ考方ハ此ノ經過規定ガ濟ンデシマツタラ、無クナルノデアリマスカ、ドウ云フ譯ラ、經過規定ハサウ云フ團體ダケヲ一時救済サレルヤウニセラレタノデアリマスカ

○三好政府委員 理論カラ申上ゲマスルナラバ、第五十三條、第五十四條ト云フ風ナ規定ヲ設ケマセヌデ、經過規定ナシニヤツテ行クノモノツノ考ヘ方デアリマセウ、併シナガラ財政收入ニ激變ヲ生ジマスルコトハ、其ノ團體ガ其ノ財政收入ニ合シタ財政狀態ヲ提出シテ行クト云フコトニ無理ガ掛ツテ參リマスカラ、相當ノ年所ヲ經テ其ノ財政收入ニ合シタ財政經理ヲヤツテ行クヤウナ狀態ヲ現出サセルコトガ必要デアラウト云フ意味デ、此ノ經過規定ヲ設ケタ次第デ

アリマス

○青木委員 サウシマスルト結局此ノ經過規定ガ適用サレナイヤウナ時ニナレバ、ソレダケノ分與金ヲ得ラレナイカラ、結局他ノ附加稅カ何カニ依ツテ補ハナケレバナラヌト云フコトニナルノデヤナカラウカト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デスカ

○三好政府委員 左様デゴザイマス、經費ニ依リマシテドウシテモ節減出來ナイト云フ所ハ稅ヲ高ク取ラナケレバナラヌト云フコトニナルカト思フノデアリマス、併シナガラ例ヘバ或ル市ニ於テ水道ノ使用料ヲ非常ニ安ク致シマシテ、ソレヲ戶數割デ支辨シテ居タト云フヤウナ所ハ、合理的ナル使用料ニソレヲ廻シテ、サウシテ稅ノ負擔ヲ輕クシテ、斯ウ云フ新シク出來タ稅制ニ財政狀態ヲ合シテ行クト云フコトモ考ヘラレマス、經費、收入兩方面ニ於テ考ヘラレバキ問題デアリマスガ、ドウシテモソレデ「バランス」ガ取レナイト云フコトニナレバ、勢ヒ稅ヲ高クスルト云フコトニナルト思フノデアリマス

○青木委員 次ニ是ハ今マデ論ゼラレタコトデアリマス、例ノ市町村民稅ヲ千圓ノ額ニ止メルト云フ理由ガ、ドウモ私ニハ能ク分ラナイヤウニ思ヒマス、モウ一度ハツキリ御説明ヲ願ヒタイ

○挾間政府委員 是ハ度々申上ゲタノデゴザイマシテ、御迷惑カト存ジマスガ、モウ一度申上ゲマス、詰リ各團體ニ於ケル平均ノ最高額ヲ八圓、六圓、四圓ト定メマスノト、各人ノ最高額ヲ定メマスノトハ全ク理由ヲ別ニシテ居ルノデアリマス、各人ノ最高額ヲ定メマスノニハ、其ノ人ニ市町村民稅ヲ幾ラ課ケルカト云フコト決メタルノ

デアリマスカラ、其ノ人ガドノ團體ニ住ヒヲシテ居リマシテモ、其ノ團體ヲ異ニスルコトニ依ツテ千圓ニナリ、二千圓ニナリ、或ハ三千圓ニナルト云フコトハ、此ノ市町村民稅ノ本質カラ考ヘテ合理的デナイト思ハレルノデアリマス、唯之ガ千圓デ適當デアル、或ハ五百圓ガ宜イ、或ハ千五百圓デナケレバナラヌト云フコトニナリマス、別ニ理論的ニ千圓デナケレバナラヌト云フコトハ申上ゲ兼ネルト思ヒマスガ、此ノ市町村民稅ハ、今回ノ稅制改正ノ稅總額五億圓ノ一割ヲ押ヘルノニハ、最高額ヲ千圓ニシテ、同時ニ各團體ニ於ケル平均最高額ヲ八圓、六圓、四圓ト抑ヘルコトニ依ツテ、五千萬圓ヲ保持スルコトガ出來ルト云フノ

○青木委員 各團體ニ依ツテ其ノ人ガ居住ヲ異ニスル場合ニ、千圓デアツタリ、或ハ二千圓デアツタリ、一万圓デアツタリスルト云フコトハイカニスト云フノデゴザイマスガ、最高額ヲ千圓ニシテ居ラレルト云フコトノ爲ニ、同一人ガ所ニ依ツテ高クナツタリ、低クナツタリスルト云フ結果ニナルト思ヒマスガ、是ハ如何デスカ

○挾間政府委員 法律ハ最高額ヲ抑ヘテ居ルダケデアリマスカラ、各團體ニ依リマシテ條例ヲ以テ定メルト云フコトハ、之ヲ法律ニ依ツテ拘束ハ致シマセヌ、隨ヒマシテ各市町村ガ此ノ法ノ定メマシタ制限内ニ於テ如何様ニ決定スルカハ、各地方ノ自治ニ任シタイト思ヒマス

○青木委員 サウシマス、或ル個人ハ、更ニ其ノ人ヨリモ非常ニ澤山ノ收入ヲ得ル人ガ居ル、詰リ最高額ノ千圓ニ相當スル人間ノ居ル所デハ其ノ人ハ五百圓位デ濟ム、他

ノ市町村ニ行クト其ノ人ガ最高額ニ相當スルカラ、是ハ千圓デアル、昔ノ戶數割ノ時ノコトヲ考ヘテ見ルト、マダ千圓デモ足ラナイノデアルト云フヤウナコトヲ考ヘラレヌデモナイ、又今度ノ市町村民稅ノ平均額五圓ト云ヒマスレバ、元ノ戶數割ノ十五圓程度ニ比較シマスレバ大體三分ノ一デアリマスカラ、三分ノ一ト云ヒマスレバ前ノ納稅額ニ比較シマスルト三千圓以上戶數割ヲ納メテ居ツタ者ハ可ナリ居ツタヤウニ思フノデアリマス、サウスルトサウ云フ人ノ振合ト云フモノガ非常ニ難カシクナツテ、サウ云フ人ガ入ツテ來ルト云フト、收入ノ著シク違ツテ居ル者デアツテ、千圓ノ近所デハ釘付ニドツチモ千圓ツツ市町村民稅ヲ納メルト云フコトニナル、サウ云フ人ノ來ル度ニ、其ノ團體毎ニ市町村民稅ノ規則ヲ變ヘテ見ナケレバナラス、段階ヲ變ヘテ見ナケレバ、丁度サウ云フ人間ニ適當スルヤウナ市町村民稅ガ作リニクイ、斯様ナコトガ起リマスカ、ドンナモノデアリマスカ

○三好政府委員 御話ノヤウニ市町村ガ異ルニ依リマシテ、同ジ資力ノ者デ市町村民稅ガ異ルト云フコトハ、或ル程度起リ得ル、必ズ起リ得ルト思フノデアリマス、但シ只今御例示ニナリマシタ程甚ダシクハ起ラナイデアラウト信ズルノデアリマス、現在五千圓以上ノ戶數割ヲ取ツテ居リマス市町村ハ、全國ニ九十七アルニ過ギナイノデアリマス、假ニ今回ノ市町村民稅ヲ戶數割ニ引當テテ考ヘテ見マスルト、五分ノ一ニナツタトスルト千圓デアリマス、千圓以上ノ市町村民稅ヲ取ル所ハ九十七町村ヨリモマダ少クナルノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、尤モ此ノ他ニ六大都市等ノ戶數割

不施行地ガゴザイマスカラ、數ニ於テハ正確ニ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、何レニシテモサウ澤山ナ市町村デハナイト云フコトニナリマス、サウ云フモノカラ睨ミ合セテ見マシテモ、サウ巨額ニ町村ノ負擔ノ異ルニ依ツテ負擔ノ異ルト云フコトハ先ヅ起ラナイト考ヘラレルノデアリマス

○青木委員 今マデノ戶數割ニ致シマシテモ、凡ソ其ノ團體ニハ戶數割賦課規則ト云フモノヲ作ル時ニ、餘リ不合理ナモノハ出來マセヌカラ、只今ノ御話ノ如ク、著シク高額ナルモノニハ、其ノ高額ナル理由ガアツテ課セラレテ居ル、サウ考ヘテ見マスレバ、今當局ノ御説明ニナリマシタルガ如ク、此ノ案ニ於テモ千圓以上ニナルモノハサウアルマイト云フ御話デアル、サウアルマイト云フコトナラバ、千圓ヲ設ケテ見タ所デ、大シテ關係ハナイ、唯サウ云フコトニ引掛ル團體ニ於テノミ問題ニナル、サウ云フ場合ニ於テサウ云フ不合理ヲ生ジテモドウスルコトモ出來ヌ、千圓ト云フモノガアルカラ仕樣ガナイ、此ノ人ガヤツテ來タカラ先ヅ下ヲ動かスト云フコトハ、平均四圓、六圓デアツテ大變困難デアル、ダカラ上ダケヲ動かサウト云フヤウナコトニナツテ、上ノ二三人ダケノ比率ノ程度ヲ變ヘルトカ何カシナケレバ、非常ナ高額ヲ所得ヲ得テ居ル者ガ入ツテ來タ時ニ課スルコトガ出來ナイ、即チサウ云フ人ノ入ツテ來タ爲ニ、市町村民稅賦課規則ト云フモノヲ改訂シナケレバナラヌト云フヤウナ面倒ヲ生ジマス、サウデナイトスレバ、實ハ資格ノ違フ所ノ人間ヲ同一額ノ千圓賦課シナケレバナラス、制限額ニ近イ金額ヲ同一人ニ課セナケレバナラヌ、斯ウ云フコトガアリマスカラ、サウ

云フ不便ナコトノアル、而モ例外ノ甚ダ少イ場合ニ於テモ、平均ガ四圓トカ六圓トカ八圓トカ云フモノガ決メタル以上ハ、最高額ヲ制限スルノ必要ハナイヤウニ私ハ思フガ、ドンナモノデセウカ

○三好政府委員 最高ヲ制限シテ置キマセスト、第一ニハ本稅ヲ設ケル趣旨ニ反スルヤウナ事態ガ起ル、即チ資力ノ非常ニアリマス者ニハ、一萬圓モ二萬圓モ現在ノ戶數割課ケテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ致シマスレバ、他ノ市町村民ニ對シテ殆ド此ノ稅ヲ課ケナイト云フコトガ起ルノデアリマス、是ハ本稅ノ性質カラ見テ好マシクアリマセヌ、改正稅制ニ依リマシテ、市町村民稅ヲ一文モ納メナイト云フ階級ガ澤山出來テ來ルコトヲ防グ意味ノ稅制ト致シマシテハ、ドウシテモサウ云フコトガ生ジナイヤウニシナケレバ相成リマセヌカラ、千圓ガ宜イカ二千圓ガ宜イカハ別ト致シマシテ、或ル程度ノ制限ヲ設ケルト云フコトハ、已ムヲ得ナイコトデアラウト思フノデアリマス

モウ一ツノ點ハ、稅負擔ノ見地カラ眺メマスレバ、各人ノ稅負擔ハ、市町村民稅ヲ別ニ致シマシテ、他ノ稅種ニ於テ考慮セラレテ居ルノデアリマシテ、市町村民稅ヲ課ケナケレバ各人ノ稅負擔ノ均衡ハ得ラレナイモノデハナイノデアリマス、市町村民稅ハ先日モ申上ゲタコトデゴザイマスガ、別ナ考慮カラ設ケラレルモノデアリマスカラ、負擔關係上ノ必要ニ於テ設ケラレルモノデナイ以上ハ、其ノ點ニ考慮ヲ拂ハナケレバナリマセヌ、若シ茲ニ巨額ノモノヲ課ケ得ルコトニ致シデ置キマスナラバ、其ノ巨額ノモノガ課カツテ來ル階級ト云フモノハ、

各稅ヲ通ジテ見タ場合ニ非常ニ不均衡ヲ負擔サセラルル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サウ云フ兩面ノ必要カラ考ヘマシテ、或ル程度以上ニ越サセナイト云フ制限ガナケレバナラス、其ノ制限ノ範圍内デアレバ、負擔ノ不均衡ト云フコトガアツテモ或ル程度ハ吞ムト云フコトガ出來ルノデアリマスガ、吞ミ得ナイ不均衡ガ生ズルト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フ見地カラドウシテモ制限ヲ設ケザルヲ得ナイノデアリマス

○青木委員 サウスルト當局ノ見テ居ラレル市町村民稅ハ、負擔ノ衡平ト云フコトハドウデモ宜イ、要スルニ金額ガ小サイカラ、成ベク多クノ人間ガ平均四圓、六圓、八圓ト云フヤウナ金額ニ相當スルモノヲ課ケテ呉レサヘスレバ、ソレデ負擔分任ノ精神ガ出來上ルノデアルカラ、此ノ間ニ於テハ負擔均衡ト云フコトハ第二、第三ノ問題デアル、斯様ニ考ヘテ居ラレルノデセウカ

○三好政府委員 其ノ點ニ付テハ各稅ヲ通ジテノ問題トシテハ、是ハ負擔ノ均衡トシテ考ヘル必要ガナイ、併シナガラ最高制限ノ範圍内ニ於キマシテハ、ヤハリ稅デゴザイマスカラ、其ノ範圍ニ於テ彈力性ニ相應シタヤウナ負擔ヲサセナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○青木委員 千圓以上ニ課セラレルモノガアルト、ソレハ他ノ國稅其ノ他ヲ通ジテ考ヘテ見タ場合ニ、却テ負擔ノ均衡ヲ紊ルヤウナコトニナルカラ、ソレデ此ノ千圓以上ニ課シテハナラナイ、詰リ市町村民稅ノ爲ニ折角設ケタ此ノ稅制改正案ノ衡平ナル所ヲ破ラレテハ困ル、斯ウ云フヤウニ受取ラレルノデゴザイマスガ、成程千圓以上課セ

ラレルヤウナモノガ全國ニ五十人トカ、或ハ六十人トカ——是ハ私ハ分リマセヌガ、サウ千人モ居ルモノデハナカラウト思ヒマス、併シナガラ千圓ト限定サレテ居ル爲ニ

千圓以下ノ人ニ於テハ、市町村ニ依リマシテハ、或ハ事實上ニ於テハ、他ノ町村ニ於テ二三百圓、或ハ東京市ノヤウナ相當富豪ノ居ル所デハ、或ハ二百圓ト云フ位ノ金額ヲ出セバ濟ムモノガ、或ル町村ニ住ンデ居ツタ爲ニ千圓近イ町村民稅ヲ拂フト云フヤウナコトモ賦課規則ノ拵ヘ方ニ依リマシテハ出來ル、サウスレバ寧ロサウ云フ程度ニアル所ノ人間ノ負擔ノ均衡ヲ破ルコトモ大キナ問題デハナイカト思フノデス、ソレ等ノモノハ當リ前ノ率デ行ツテ宜シイ、ダガツレヨリ以上ノモノニ課スルト云フコトハ負擔均衡ガ破レル、斯ウ云フ理窟ハ立タナイヤウニ私ハ思フ、アノ統計ヲ見マシテモ昭和十年、十一年ノ頃ハ五千圓以下カラ三千圓マデノ所得者ガ稅額ノ最高額ヲ拂フ、ソレガ段々多クナツテ、十三年度ノ如キハ五萬圓ト三萬圓トノ間ノ收入所得ノ人ガ稅額ノ最高額ヲ拂フ、景氣ガ好クナリマシタカラ自然五千圓程度カラ五萬圓程度ニ飛躍シタガ、千圓程度ノ市町村民稅ヲ拂フ者ハ、今ノ五萬圓乃至三萬圓程度ノ所得者ガソレニ相當スルノデハナイカト思フノデアリマス、サウスルト、サウ云フ人ハ其ノ市町村ニ於テハ千圓ノ市町村民稅ヲ拂フ、併シナガラソレ以上ノ百萬圓ノ收入、二百萬圓ノ收入、サウ云フ者ガ居ツタトスルト、其ノ人モ千圓拂フ、サウ云フ百萬圓、二百萬圓ノ收入ノ者ニテ戶數割ヲ一ツタナラバ、負擔ノ均衡ヲ害スルノデハナ

イカ、斯ウ云フヤウニ聞エマスガ、ドウモ其ノ邊ガ私ニハ分ラナイヤウニ思ヒマスガ、ドウ云フヤウナモノデスカ

○**挾間政府委員** 國民負擔トシテノ均衡ノ問題ハ地方稅ノミナラズ、國稅ト地方稅ヲ通ジテ考ヘナケレバナラス問題デアリマシテ、大體今度ノ稅制ハ中央ト地方ヲ通ジテ負擔ノ均衡ヲ得シメルヤウニ出來テ居ルノデアリマス、例ヘバ戶數割ヲ廢止シ、所得稅附加稅ヲ地方稅ニ於テハ廢止致シマシタガ、中央ノ稅制ニ於テ所得稅制ガ根本的ニ改正サレマシテ、分類所得稅、綜合所得稅ヲ新設スルコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ市町村民稅デハ四五萬圓ノ收入ノ者ガ千圓ノ負擔ヲスル、サウシテ百萬圓程度ノ收入ノアル人モ千圓ノ負擔ヲスル、而モ百萬圓程度ノ收入ノ人ハ今マデ一萬圓ノ戶數割ヲ負擔シテ居ツタト云フコトデハ、延イテ負擔ノ均衡ヲ害シハシナイカ、御話ハ尤モダト思ヒマスガ、大體今度ノ稅制全體トシテサウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、唯吾々ノ俱レル所ハ、從來ノ如キ戶數割ト云フモノガアリマシテハ、非常ニ負擔ノ過重ヲ來シ、不均衡ヲ來シテ居リマスノデ、戶數割ヲ廢止シタノデアリマス、今度ノ稅制デハ、全體のニ見マシテ負擔ノ均衡ヲ得ルト云フヤウニナツテ居リマスカラ、市町村民稅デ再ビ戶數割ノ如キ弊害ノナイヤウニ、最高額ヲ抑ヘルト云フコトニシタ譯デアリマス、隨テ此ノ千圓ノ最高額ト云フモノヲ撤廢シテ無制限ニスル、或ハ之ヲ最高一萬圓ニスルト云フコトハ、再ビ戶數割ノ弊害ヲ繰返スコトニナル、又國稅ニ於テ所得稅制ヲア、云フ風ニ改正シマシタ趣旨ト重複スルヤウニナリマスノデ、是ハ爲シ得

ザルコトデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

マス、ソレハ即チ團體ノ資力ニ依ツテ、團體ノ構成ニ依ツテ此ノ三ツニ分ケラレタモノデアリマセウ、然ラバ其ノ構成如何ニ依ツテ一人當リノ會費ノ違フ團體ハ其ノ一番最高ノ會費ノ違フト云フコトハ又當然デアルト思ヒマス、是モ極ク簡單ノ差デアレバ先刻局長ノ言ハレタヤウニ大吞込ニ吞込シテモ宜イカモ知レマセヌ、全體トシテ元ノ戶數割二億圓以上ト云フモノガ僅ニ五千萬圓デスカラ、金額ガ少イカラ吞込シテモ宜イカモ知レマセヌ、併シナガラ東京市ノ如キ、是ハ屢、小見山君其ノ他カラ御話ガアリマシタガ誰ガ考ヘテモ東京ノ岩崎、三井ガ千圓、地方ノ小サナ團體ノ、而モ賃賃價格ノ一萬圓カ二萬圓シカ持ツテ居ナイ者モ千圓デアルト云フノデハ、是ハ國民通念トシテ餘リニ其ノ差ガ甚シイト云フ感ジテ私ハ起スノデアリマス、又ソレデ三井、岩崎モ會費デアルカラ千圓、地方ノ一萬、二萬ノ賃賃價格ノ人モ、村ノ一番分限者モ千圓ト云フコトヲ認メルト云フ程マデ之ヲ大吞込ニ吞込ムナラバ、先程申シマシタヤウニ團體ヲ其ノ構成ニ依ツテ三ツニ分ケテ、サウシテ一人當リ四圓、六圓、八圓ト決メテ根據ガ私ハナクナリハシナイカ、既ニ一人當リノ等差ヲ認メルナラバ、其ノ最高額ニ於テモ若干ノ等差ヲ認メルト云フノハ是ハ論理ノ必然ノ結論デハナイカト思フノデアリマス、ソレヲ今マデ當局ガハツキリ御話ニナラナカツタカラ、委員長ノ御注意ニアルガ如ク私達ノ質問ガ繰返シノ起ルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點當局ノ立案ノ御趣意ヲ承リタイト思ヒマス

○**挾間政府委員** 是モ度々申ゲマシタガ、或ハ説明ガ不十分デアルカモ知レマセヌ

一〇九

第五回 昭和十五年三月八日

第六類第二號附屬 所得稅法改正法律案外三十件委員中地方稅法案外七件小委員會會議錄

ガ、一口ニ申シマス、差等ヲ八圓、六圓、四圓ト斯ウ設ケマシタノハ、住民全體ノ資力ヲ考ヘマス、大體是ハ大都市、中小都市、町村ト云フモノデ區分出來ルデアラウ、大都市ハ資力ノアル人多ク住ツテ居リマス、町村ハ資力ノナイ人多ク住ツテ居ラシテ、平均ノ額ト云フモノハ差等ヲ付ケタガ宜カラウ、個人ハ幾ラ納メルカ、最高額ハ幾ラニスルカト云フコトハ是ハ全國一律ニ見ナケレバナラヌダラウ、更ニモツト言葉ヲ平易ニ申シマス、大キナ團體ニハ最高千圓程度納メル連中ガ澤山居ルノダカラ、サウ云フ所ニハ最高額八圓ト云フカ、一番平均額ヲ多クシテ行ク方ガ實情ニ合フデアラウ、斯ウ云フ譯ナノデアリマス、サウシテ各都市ノ實情、町村ノ實情ニ應ジテ、其ノ範圍内ニ於テ適當ニ課稅ヲスルコト云フコトヲ各自自治團體ノ自治ニ任セルト云フ風ニ致シタノデアリマス

○武田委員 ハツキリ致シマセヌガ、ソレヂヤ斯ウ云フコトニ言葉ヲ變ヘテ伺ツテ見マセウ、今ノ御話デハ御答辯ガ矛盾シテ居ハシナイカト思フ、此ノ四圓、六圓、八圓ト御決メニナツタコトハ御話ノ通りデ、勿論私モサウ思ツテ居ル、サウスル各團體ノ資力ノ如何ヲ見テ、大都市ト町村トハ即チ資力ガ違ツテ居ルカラ、六圓、八圓、四圓ト決メタノダト仰シタル以上ハ、資力ガ違ツテ居ル爲ニサウ云フ工合ナ一人當リノ等差ヲ認メラレタ以上ハ、其ノ結論トシテ最高額モ等差ヲ付ケルト云フコトハ必然的デハアリマセヌカ、其ノ各團體ノ資力ヲ見テソレニ等差ヲ付ケテ置キナガラ、最高額ニ等差ヲ付ケテハイケナイト云フコトハドウ云フ理由ニナツテ居ルノデアリマスカ、

又現實ニ等差ヲ付ケテシタラドウ云フ弊害ガ起キルノデアリマスカ、何カ理論的ニ、或ハ又實際ノ問題トシテドウ云フ差支ガ起キ、ドウ云フ弊害ガ起キルノデアリマスカ

○扶間政府委員 同ジコトヲ申上ゲルコトニナルカモ知レマセヌガ、團體別ニ差等ヲ設ケマシタノハ、團體全體トシテノ資力ガ大中小ニ依ツテ分レルデアラウ、即チ大キナ團體ニハ資力ノアル人多ク住ツテ居ラシテ、平均ノ額ト云フモノハ差等ヲ付ケタガ宜カラウ、個人ハ幾ラ納メルカ、最高額ハ幾ラニスルカト云フコトハ是ハ全國一律ニ見ナケレバナラヌダラウ、更ニモツト言葉ヲ平易ニ申シマス、大キナ團體ニハ最高千圓程度納メル連中ガ澤山居ルノダカラ、サウ云フ所ニハ最高額八圓ト云フカ、一番平均額ヲ多クシテ行ク方ガ實情ニ合フデアラウ、斯ウ云フ譯ナノデアリマス、サウシテ各都市ノ實情、町村ノ實情ニ應ジテ、其ノ範圍内ニ於テ適當ニ課稅ヲスルコト云フコトヲ各自自治團體ノ自治ニ任セルト云フ風ニ致シタノデアリマス

又現實ニ等差ヲ付ケテシタラドウ云フ弊害ガ起キルノデアリマスカ、何カ理論的ニ、或ハ又實際ノ問題トシテドウ云フ差支ガ起キ、ドウ云フ弊害ガ起キルノデアリマスカ

○扶間政府委員 同ジコトヲ申上ゲルコトニナルカモ知レマセヌガ、團體別ニ差等ヲ設ケマシタノハ、團體全體トシテノ資力ガ大中小ニ依ツテ分レルデアラウ、即チ大キナ團體ニハ資力ノアル人多ク住ツテ居ラシテ、平均ノ額ト云フモノハ差等ヲ付ケタガ宜カラウ、個人ハ幾ラ納メルカ、最高額ハ幾ラニスルカト云フコトハ是ハ全國一律ニ見ナケレバナラヌダラウ、更ニモツト言葉ヲ平易ニ申シマス、大キナ團體ニハ最高千圓程度納メル連中ガ澤山居ルノダカラ、サウ云フ所ニハ最高額八圓ト云フカ、一番平均額ヲ多クシテ行ク方ガ實情ニ合フデアラウ、斯ウ云フ譯ナノデアリマス、サウシテ各都市ノ實情、町村ノ實情ニ應ジテ、其ノ範圍内ニ於テ適當ニ課稅ヲスルコト云フコトヲ各自自治團體ノ自治ニ任セルト云フ風ニ致シタノデアリマス

限ガ違フノハワカシイデハナイカト云フコトデゴザイマスガ、斯ウ云フ場所デ申上ゲマスニハ適當デハナイカト思ヒマスガ、例ヘバ住友男爵ハ村ニ御住ヒニナツテ居ルノデアリマス、偶、市ニ御住ヒニナレバ千圓、村ニ御住ヒニナレバ五百圓ト云フ風ニナルノハドウモワカシイノデハナイカ、ソレデハ稀有ナ例外デアアルカト申シマス、少イ例デハアリマスガ、現在デモ五千圓以上ノ戸數割ヲ納メテ居リマス者デ相當村ニ住ンデ居ル人ガアリマス、新潟縣ナドハ隨分澤山大キナ地主ガアリマシテ村ニ住ンデ居ラレルノデアリマス、サウ致シマス、サウ云フ所デハ最高千圓ト云フ適用ヲ致シマシテ、千圓マデ取ツテモ宜イダラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、勿論制限ハ最高デゴザイマスカラ、是カラ超エテハイケナイケレドモ、之カラ下ルコトハ固ヨリ構ハナイノデアリマス、實際問題ト致シマシテモ、戸數割ヲ賦課致シテ居リマス市町村ヲ眺メマス、千圓以上ノ戸數割ヲ取ツテ居リマスモノハ僅ニ千三百三十七市町村ニ過ギナイ、全國ノ市町村ノ約一割程度ノモノデアリマス、隨ヒマシテ戸數割サヘサウデゴザイマスカラ、斯ウ云フ最高ノ制限ヲ設ケタガ故ニ、所得ノ非常ニ少イ者デモ最高ノ千圓ヲ取ツテヤレト云フコトニハナラナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○青木委員 ドウモ私ハ今ノ御答辯ニ満足シナイ、此ノ問題デ餘リ長クナルノモロカシイヤウデアリマスガ、小サイ町村デハ斯ウ云フヤウナ問題ガ割合ニ大キナ關係ガアルノデアリマス、只今仰シヤツタヤウニ、サウ云フ人ガ一人居ルト居ラストデハ大シ

タ違ヒニナルノデアリマシテ問題ニナル、今仰シヤツタヤウニ全國デ千何百箇町村シカ其ノ影響ヲ受ケル所ハナイ、サウ云フヤウナ數ノ問題ダケヲ以テ申シマスカラバ、私ハ其ノ稅收入ノ中ニハ極ク僅カナ人間ガ關係シテ居ルダケデアツテ、ソレヲ一々論ゼヌデモドウデモ宜イノデハナイカト云フヤウナ問題モナキニシモアラズデアリマスガ、是ハ唯數ノ問題デ有耶無耶ニセラレナイ問題デアアル、假令全國デ十箇町村シカサウ云フ異例ガナイニシマシテモ、其ノ十箇町村ノ中ニ於テドウモ均衡ガ取レナイデヤナイカト云フ議論ガ起レバ、ソレ位ノモノデモ満足スルヤウナ方法ヲ取ツテ置イタ方ガ宜イノデハナイカ、又ソレカラソレ位ノ數シカナイモノガ、若シ之ヲ最高額ヲ除イテ居ツタナラバ、千數十箇町村ヨリモヨリ以上ニ弊害ガ多クナルダラウト云フヤウナ御懸念デモアルノデアリマスカ、サウデナカツタトシタナラバ、結局ソレダケノ數ノモノニ起ル問題ヲ解決スル上ニ於テハ適當デハナイ、又今仰シヤイマシタガ、ドンナ者デモ千圓以上ハ町村民稅ハ取ラヌノダト云フコトニ決メテ置ケバ宜イ、サウスル千圓ノ人ガ十人、サウ云フ金持ガ十人集ツタ場合ニ於テハ、其ノ富豪ノ實際ノ收入ハ或ハ十萬圓ノ收入、百萬圓ノ收入、五十萬圓ノ收入、三萬圓ノ收入、斯ウ云フヤウナモノガ五人集ツテモ皆千圓ト云フノハ工合ガ惡イカラ、九百圓、九百五十圓、千圓、千圓、サウ云フヤウナ金額ニナツテモ構ハナイ、斯ウ云フヤウナ御考デアリマスカ、サウスルト其ノ九百圓位カラ以下ノ分ニ付テハ大體負擔ノ均衡ガズツト取レテ居ルノニ、今仰シヤツタ全國デ言ヘバ百人カ百五十人位シ

○青木委員 ドウモ私ハ今ノ御答辯ニ満足シナイ、此ノ問題デ餘リ長クナルノモロカシイヤウデアリマスガ、小サイ町村デハ斯ウ云フヤウナ問題ガ割合ニ大キナ關係ガアルノデアリマス、只今仰シヤツタヤウニ、サウ云フ人ガ一人居ルト居ラストデハ大シ

カ居ルマイ、ドンナニ多ク見タ所デ五百人モ課ルカドウカト思ハレルヤウナ人間ノミノ負擔均衡ヲ考ヘル爲ニ、此ノ千圓ト云フ問題ヲ固執セラレルヤウニ考ヘル、其ノ五百人カ三百人ヲ除イテノ部分ニ於テハ、アタガ言ハレルヤウニ市町村稅ヲ餘計課ケタ時ニハ無理ナリ數割ガ課ルト云フ、其ノ戶數割ノ弊害ト云フモノヲ大シテ重要視シテ居ラレス、千圓以上課ケラレルヤウナ人ニ於テ感ジラレタ其ノ戶數割ノ弊害ヲ痛切ニ感ジラレテ、サウシテ此ノ案ノ提出トナツタノデアルカ、千圓以下ノ戶數割ヲ受ケル人達デ、五百圓以上千圓マデノ間デ、各市町村ニ於テ殆ド亂暴ニ上下セラレル所ノ其ノ戶數割ノ弊害ト云フモノニ對シテハ何等ノ顧慮ガ拂ハレヌト云フコトニナリマス、千圓以上ト云フモノト、千圓カラ二三圓マデノ市町村民稅ノ高額負擔者トノ間ニ於テハ非常ナ不公平ガ生ズルデハナイカト私ハ考ヘマスガ、ドンナモノデアリマセウカ

出スルコトニナルト思ヒマスノデ、嚴重ナ制限ヲ設ケナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウシテ先程モ度々申上ゲマシタガ、負擔ノ均衡、資力ニ應ジタル負擔ト云フコトハ、是ハ他ノ稅ト併セテ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、獨リ市町村民稅ノミニ依ツテ負擔ノ均衡ガ完全ニ保持サレルト云フコトヲ期待スル必要ハナイシ、ソレハ出來ナイト思ヒマス、唯此ノ市町村民稅モ稅ノ一種デアリマスカラ、最高限ヲ設ケマシタ其ノ限度内ニ於テハ、適當ナ階級ヲ設ケマシテ、負擔ヲ分任スル限度ニ差等ヲ設ケルト云フコトハ必要デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ其ノ爲ニ市町村民稅ノ最高限ヲ撤廢シテ、何處マデモ資力アル者ハ取ツテ、此ノ稅自身ニ於テ本當ノ負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニスルト云フコトハ、成程理想トシテハサウ云フコトモ考ヘラレマスガ、結果ニ於テハ戶數割ノ形ヲ變ヘタモノニナリマシテ、弊害ノ赴ク所非常ニ懸念ニ堪ヘナイト思ヒマスカラソレハ出來ナイ、ヤツテハナラヌコトデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

モ、其ノ爲ニコソ此ノ市町村民稅ニ於テ限度ヲ四圓、六圓、八圓ト云フヤウニ決メラレタノデアリマス、若シ或ル一町村ニ非常ナ富豪ガ參リマシテ、一萬圓ト云フ市町村民稅ヲ出シタト云フ場合ニ於テハ、アトノ者ハ零ニ近イモノデ宜イカト云フヤウナコトハ、ソレハ市町村民稅ノ賦課規則ニ適當ナ制限ヲ設ケテ置キマスレバ防止ノ出來ルコトデアリマシテ、今マデモソシヤウナ、或ル一人ガ一萬圓出シテ、他ノ者ハ五十錢カ三十錢、甚シキハ二十錢ト云フヤウナコトデヤツテ居ツタト云フコトハ私ハ餘リ見受ケヌノデアリマス、折角平均額ト云フモノガ出テ居リマスル以上ハ、大凡財産ノ比率ニ應ジテ行ケバ宜シイ、尙ホ今地方局長ノ仰シヤイマシタ是デ以テ負擔ノ均衡ヲ圖ル必要ハナイト云フコト、固ヨリ此ノ市町村民稅デ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトハ必要アリマセヌガ、市町村民稅デモ負擔ノ均衡ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ動カスベカラザルコトデアアル、他ノ稅モ負擔ノ均衡ヲ考ヘテ出來テ居ルノデアリマスカラ、此ノ稅ニモ負擔均衡ト云フコトガ織込マレテ居ラナケレバ、其ノ稅ヲ審議スル場合ニ於テ、必ズ市町村會デ論ゼラレル時ニハ其ノ問題ガ出テ來ルノデアリマシテ、或ル高額所得者ヲ千圓ニスルト、其ノ次ノ人ヲドノ程度ニ置クベキカト云フヤウナ問題ニ付テ、今度ノ賦課規則ニハ餘リ難シイ制限ヲ設ケズ、各團體ノ自由ニ依ツテ決メルコトニナツテ居リマスルダケ、其ノ賦課規則ニ付テハ、サウ云フ高額所得者ガ其ノ團體ニ居住スルト否トニ依ツテ色々考ヘヲ變ヘテ行カナケレバナラヌコトニナリマスカラ、サウ云フ場合ニ一々其ノ賦課規則マデ動カ

サナケレバナラヌヤウナ原因ヲ茲ニ作ツテ置ク必要ハナイデハナイカ、若シソレガサウ云フ賦課規則ヲ變ヘナイト云フコトニナレバ、結局最高ノ所得者ガ飛込シテ來タ時ニ、其ノ次ノ人トノ均衡ガ取レナクテモソレハ仕樣ガナイ、千圓ガ最高額ダカラ已ムヲ得ヌ、市町村民稅ト云フモノハソシヤウナ、ダト云フコトニ依ツテ、其ノ市町村會デ他ノ人ノ負擔均衡ヲ色々ト論ジテ、四圓、五圓、六圓ノ市町村民稅ヲ出ス者ノ問題ハ町村會議員ハ口角泡ヲ飛バシテ論ズルガ、最高額ノ問題ハモウ論ジテ見タ所デ上ガ決ツテ居ルノデ仕樣ガナイ、斯ウ云フコトニナルト、下ノ方ノ負擔均衡ハ市町村民稅ノ制定ノ時ニ非常ニヤカマシク言フガ、上ノ方ハ論ジテモ仕樣ガナイト云フ結果ニナツテ、私ハ其ノ點ニ於テサウ云フヤウナコトニ熱心ニ論議ヲ交ヘル所ノ是等ノ人々ヲシテ、法制ノ上ニ於テ非常ナ不滿ヲ感ゼシムルコトハナイカト痛感スルノデアリマス

○三好政府委員 千圓ノ者ガ偶、其ノ村ヘ入ツテ來タ爲ニ條例ヲ變ヘナケレバナラヌト云フ問題ハ、千圓ト云フ制限ガアルカラデハゴザイマセヌ、四圓、五圓、八圓ト云フ制限ガアルカラデアリマス

○挾間政府委員 青木サンノ御話ハ、市町村民稅ノ最高限ヲ設ケナイヤウニシタラ宜クハナイカト云フ御意見ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、是ハ結局戶數割ニナツテシマフト思フ、先程財政課長ガ御話致シマシタノハ唯一例デゴザイマシテ、戶數割ノ弊害ト云フモノハソレハ千人五百人ニ關スル問題デナクテ、戶數割ガ負擔ノ過重ニナリ均衡ヲ失シテ居ルト云フコトハ、是ハモウ天下ノ通論デアルト思ヒマス、隨テ最高限ヲ抑ヘズニ——決シテ私ハ戶數割自身ガ惡稅デアルトハ考ヘマセヌケレドモ、戶數割ノ勢ノ進ム所ア云フ風ニ弊害ヲ醸シテ居ルモノト思ヒマス、隨テ市町村民稅モ之ヲ無制限ニ致シテ置キマスレバ、結局弊害簇

○青木委員 戶數割ノ弊害ハ、固ヨリ今ノヤウニ非常ニ高額ナモノニ無制限ナ稅ヲ課ケテ、他ノ者ノ負擔ヲ輕クシテ多額ノ所得者ヲ窘メル、其ノ爲ニ多額ノ所得者ガサウ云フ町村カラ逃ゲテ行クト云フヤウナ例ハアリマスガ、一面ニ於テハ戶數割ノ弊害ハ、戶數割ニ非常ニ澤山ノ稅ガ課カルヤウニナツテ、結局戶數割以外ニ金ヲ出ス途ガナイカラ、戶數割ニ其ノ財源ヲ求メタト云フコトノ弊モ大キイト思フノデアリマス、是ハ武田君ガ本會議デモ述べラレタコトデアリマスカラ繰返シテハ申シマセヌケレド

第五回 昭和十五年三月八日

○青木委員 ソレハ千圓ノ人ガ入ツテ來タ時ニ四圓、六圓ト云フモノヲ變ヘルコトニナルト云フノハ、總額デ平均シテサウ云フコトニナリマスカラ、變ヘナケレバナラヌト云フ御意見デアリマスガ、總額ト云フコトカラ言ウテ變ヘル場合モアリマスガ、先ヅ御五ノ例ヘバ今マデノ戶數割ニ致シマシテモ、各資産點數ヲ以テ順位ヲ決メテ居リマス場合ニ、今マデノ點數ノ割合ハ具合ガ惡イト云フヤウナコトガ起ツテ來ハセヌカ

ト思フノデアリマス、ソレハナゼカト云フ
ト、今マデ居ル人間デ百万圓ノ收入ト云フ
ヤウナ者モ居レバ考ヘルノデアリマスガ、
今居ラスノニ百万圓ノ收入ノ人ヲ想定シテ
最高額千圓ト云フコトハ考ヘラレナイモノ
デアリマスカラ、其ノ町村ニ於ケル最高
額ノ收入者、例ヘバ或ハ十萬圓ノ所得
者ガ居ルトシマス、其ノ人ヲ大體千
圓近イモノニナルヤウナ順デ作ツテ置ク、
サウシテ今度其ノ總額ヲ合セテ見ルト平均
ガ四圓ニナル、斯ウ云フ風ニ按配シテ其ノ
規則ヲ作ツテ置クノデアリマスガ、茲ニ
非常ニ大キナ所得者ガ現ハレテ來タ時ニハ、
其ノ上ニ付ケテ行カナレバナラス、斯ウ
云フコトニナリマスカラ、其ノ次ノ順位ハ
ズツト下ツテ來マス、隨テ今仰シヤルヤウ
ニ平均四圓ノモノハ下ツテ來マスガ、其ノ
規則ハ變ヘテ來ナレバナラスト云フコト
ニナリハセヌカ

○三好政府委員 色々御述ニナリマスケレ
ドモ、其ノ條例ヲ變ヘナレバナラス問題
ハ、四圓ト云フ制限、六圓ト云フ制限ヲ取
拂ハレルト云フ問題デアツテ、千圓ト云フ
制限ガアルガ故ニ條例ヲ變ヘナレバナラ
スト云フ問題ハ起リマセヌ、是ハ兎ニ角高
額所得者ガ入ツテ來レバ——千圓ト云フ制
限ガナケレバ尙更ノコト、一萬圓モ課ケ
得ル者ガ入ツテ來レバ、變ヘナレバナラ
スト云フコトニナツテ來ルノデアリマシテ、
此ノ問題ハ四圓、六圓、八圓ト云フ制限ガ
アルコトガヲカシイト云フ議論ニ發展スル
ノデアツテ、千圓ト云フ制限ガアルガ故ニ
條例ヲ變ヘナレバナラスト云フ問題ハド
ウモ起ラナイヤウニ思フノデアリマス

○長野委員 一寸關聯シテ……

○小山委員長 ドウデスカ、此ノ問題ハ何
十回ト繰返サレタ問題デアリマスカラ、關
聯質問ダケハ頗ル簡單ニ願ヒマス

○青木委員 私ハ宜シウゴザイマス
○小山委員長 ソレデハ長野君、極ク簡單ニ
願ヒマス

○長野委員 市町村民稅ハ、地方ノ戶數割
稅ガ廢止サレマシテ、之ニ伴ツテ負擔分任
ノ精神ヲ存置スルト云フ意味カラ御制定ニ
ナツタト云フコトハ屢、聽イテ居ルノデア
リマスガ、サウシマス都府縣ニ於テ從來戶
數割ヲ賦課致シテ居リマセヌ方面ニ於テハ、
ドウ云フ風ニ解釋スレバ宜イカ、例ヘバ今
度ノ稅法改正ニ依リマシテ、裏長屋ノ大工
サンヤ或ハ駄菓子屋ナドハ、府縣ノ營業稅
ガ廢止サレマシタノデ、ソレニ代ルベキ所
謂小市民稅ト云フ精神ガ織込マレテ居ルノ
カドウカ、若シサウデナイトスレバ、ヤハリ
都會ニ於テハ千圓ノ最高限度ハ少ナ過ギル、
現ニ町會費ハ日本橋ナドハ月ニ七百圓モ取
ツテ居ル所モアル、サウ云フ點ニ比較シテ
千圓ノ最高限度ハ少イト云フ議論モ起ルノ
デアリマスカラ、大體ニ於テ小市民稅ト云
フヤウナ氣持ガソコニ織込マレテ居ルト云
フコトデアレバ、吾々ノ立場トシテサウ云
フ氣持デ審議ニ臨ミタイト考ヘテ居リマス
カラ、其ノ點ハツキリト御述ヲ願ツテ置ク
方ガ結構ダト思ヒマス

○小山委員長 留保シテ置イテ戴ケバ、文
部大臣出席ノ際ニ質問ヲ許シマス
○宮本委員 先ツ質問ノ事項ヲ進メル前ニ
簡單ニ申上ゲテ置キマスコトハ、今回ノ稅
制改正ノ理由トスル所ハ、國民負擔ノ均衡化
及ビ地方團體ノ財政ノ基礎ヲ確立スルニア
ル、斯ウ云フ趣旨デアリマス、然ルニ案ノ
内容ヲ檢討致シマスルト、其ノ趣旨ニ疑問
ヲ生ズルノデアリマシテ、其ノ疑問ノ點ニ
付キマシテ質問ヲ致シマス、第一ハ負擔ノ
均衡ヲ圖リマシタル目標デアリマス、先刻
誰方カノ質問ニ對シマシテ、負擔ノ均衡ト
云フコトニ付テハ、東京カラ沖繩マデノ諸
里全國ノ各自自治體ノ財政力ヲ檢討シテ、
サウシテ實力ノ薄弱ナル自治體ニ對シテハ、
分與稅デ之ヲ調節スルト云フコトニ於テ、
貧弱町村ト雖モ財政ヲ強化スルト云フ御答

辯ガアツタノデアリマス、今回ノ改正ニ於
キマシテハ其ノ方針ニ重キヲ置イタノデア
ルカ、又個人ニ對スル課稅ノ方針ニ付テ負
擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ點ニ重キヲ置イタノ
デアリマスガ、其ノ重點トスル所ハドチラ
デアリマスカ、其ノ點ヲ先ツ御伺シタイ
○挾間政府委員 負擔ノ均衡ハ現在ノ地方
稅制ノ實情ヲ見マス、各稅ノ間ニ於テ均
衡ヲ失シテ居ルモノガアリマス、又地域的
ト申シマスカ、各團體相互ノ間ニ負擔ノ均
衡ヲ失シテ居リマス、隨テ今回ノ稅制ハ此
ノ兩方面ニ於テ負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニ致
スコトヲ目標トシテ改正ヲ企テタノデアリ
マス

○宮本委員 其ノ次ハ地租ノ賦課率ヲ減少
致シマシテ、地方稅賦課率ヲ増加致シマシ
テ居リマス、此ノ理由ヲ御伺致シタイノデ
アリマス、地租ノ賦課率ハ御承知ノ如ク百
分ノ三・八ヲ二ト致シマシテ、地方稅賦課
率ヲ増加致シテ居リマス、此ノ關係ハ、所得
稅收入ニ重キヲ置クト云フコトノミニ因ハ
レテ改正ヲスルト云フ方針ヲ立テラレルノ
デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデ
アリマスガ、先ツ地租ノ賦課率ヲ減少シタ
ル理由、地方稅賦課率ヲ増加シタル理由ヲ
御伺シタイ

○挾間政府委員 土地ニ對スル負擔ハ先刻申
シマシタ通り、國稅地方稅ヲ通ジテ考ヘマ
スト、相當ノ負擔減少ニナツテ居リマス、
サウシテ總額ヲ百分ノ八ト致シマシテ、ソ
レヲ國稅ハ百分ノ二、サウシテ府縣ガソレ
ニ對シテ百分ノ百、市町村ガ百分ノ二百ト
致シマシタノハ、府縣ト市町村ニ土地ヨリ
生ズル稅收入ヲ均分ニ分配スルト云フ趣旨
ニ出デテ居ル、單ナル形式的ノ問題デアリ

マスノデ、強ヒテ國ノ稅率ヲ少額ニシ、附加稅ノ稅率ヲ重クスルコトニ意味ガアルノデハナイノデアリマシテ、全體ヲ通ジテ是ハ地方ノ財源トナツテ居リマスカラ、唯形ノ上ニ於キマシテ二・一・四ト云フ形式ヲ取ツタニ過ギナイノデアリマス

○宮本委員 此ノ稅制改正ニ關スル見方ハ色々アラウト思ヒマスガ、是ハ尙ホ後ノ機會ニ委員長ノ御許ヲ得テ簡單ニ申上ゲタイト思ツテ居リマス

其ノ次ニ御同致シタイ問題ハ、所得稅賦課ノ方針ト地方稅即チ今回ノ改正ニ依ル府縣稅ノ獨立稅、市町村稅ノ獨立稅、此ノ賦課ノ方針ト比較致シマス、負擔ノ均衡ノ趣旨ニ甚ダ相違スル點ガアルコトヲ認ムルノデアリマス、所得稅賦課ノ方針ハ、數日前ヨリ稅制改正ノ委員會ニ於キマシテ大藏大臣ノ答辯モ屢、伺ツタノデアリマスガ、此ノ改正法律ノ趣旨ハ、所得金額ノ多少ニ依ツテ異進ノ課稅スルコトニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ趣旨デアルト思フノデアリマス、然ルニ今回地方稅ノ改正ニ依ル只今申上ゲマシタ府縣市町村ノ獨立稅——其ノ稅種目ノ批評ハ後ニ致シマスガ、其ノ賦課率ハ均一デアリマシテ、茲ニ賦課率ノ關係ヨリ致シマシテ、所得稅ノ賦課ノ方針ト地方稅ノ獨立稅ノ賦課ノ方針トノ間ニ、根本的ニ趣旨ノ違フ點ガアルト思フノデアリマス、其ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○按問政府委員 ドウモ私一寸御質問ノ趣旨ガ吞込ミニクカツタノデゴザイマスガ、獨立財源トシテノ地租、營業稅、家屋稅ノ問題デセウカ、獨立稅タル例ヘバ府縣ノ船舶稅トカ、自動車稅トカ、市町村ノ市町村民稅ト云フヤウナモノデゴザイマセウカ、

一寸ソコヲモウ一度御伺シタイ

○宮本委員 ソレデハ尙ホ趣旨ヲモウ少シ敷衍致シマスガ、今回ノ所得稅ノ改正ノ趣旨ハ、所得ノ金額ニ依ツテ、或ハ或ル程度果進率ニ依ツテ免稅點ヲ決メ、負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ趣旨ヲ大藏大臣ハ屢、述ベテ居ル是ハ收入金額ノ多或少ニ依ツテ、此ノ程度ノ所得ノ金額ニハ此ノ程度課稅シテ宜シイ、斯ウ云フ考カラ賦課率ヲ決メ、ソコニ金額ノ程度ニ違ヒハアリマスレドモ、隨テ賦課率モ違フコトニナル、是ハ收入ト云フモノガ基礎ヲ成シテ居ル、ソコデ賦課率モ相違シテ居ル、ソレガ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトデアレバ、府縣及ビ市町村ノ獨立稅ハ、是ハ均一稅デアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、府縣稅市町村ノ獨立稅ニハ均一稅ヲ認メテ、ソレデ國稅ノ方ハ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトハ、收入ノ多或少ニ依ツテ賦課率ヲ變ヘテ行クコトニアル、サウスルト其ノ趣旨ニ矛盾ガアル、斯ウ云フ點デス

○按問政府委員 ソレハ國稅ト地方稅トハ稅ノ性質ガ非常ニ違フノデ、即チ今度ノ稅制ノ改正ニ依ツテ其ノ點ガ極メテ明瞭ニナツタト思ヒマスガ、所得稅ノ如キハ國稅トシマシテ果進的ノ課率ヲ用ヒル、ソレガ本質ナノデアリマスガ、地方稅ニハ、サウスフ稅質ノモノガナイノデアリマス、隨テ果進率ニ依ツテ課稅スルト云フヤウナモノハ、地方稅ニハ一寸見付カラナイ譯デアリマス

○宮本委員 サウ云フ御答辯デアルト、茲ニ批評——批評ト云フコトハ申上ゲル場合デナイカモ知レマセヌガ、負擔ノ均衡ト云フ趣旨ガ、國稅ト地方稅ト趣旨ガ違フヤウニ考ヘル、大體國稅ノ體系ハ今回所得稅改

正ニ依ツテ立テラレル、ソレハ納稅義務者ノ收入ノ多少ニ依ツテ課稅率ヲ變ヘテ課ケルコトガ負擔ノ均衡デアアル、然ルニ府縣市町村稅ニ於テハ、收入ト云フコトヲ離レデ同一物件ニ於テ均一稅ヲ課ケルト云フコトニナツテ、趣旨ガ違ツテ居ルヤウニ考ヘル、ソコニ何カ理由ガアリハセヌカ、國稅ノ方ハ收入本位ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ方針ヲ執ラレル、府縣市町村ノ獨立稅ノ方ハ、物件稅ニ於テ收入トカ利用價值ト云フヤウナコトハ考ヘナイ、ソレガ負擔ノ均衡ト云フコトニ、ドウ云フ點ガ一致スルカト云フ見方デアリマス、市町村ノ今回ノ獨立稅ノ課ケ方ニ付キマシテハ、其ノ生活情況ニ於テノ收入如何ト云フコトハ考慮シテ居ナイ、貧富ノ差ヲ認メズシテ、同じ自轉車ト云フ一個ノ其ノ物ニ對シテ稅ヲ課ケル、是ハ收入トカ利用價值ト云フヤウナモノハ考慮シナイ、所得稅ノ方ハサウデハナイ、所得稅ノ課ケ方ガ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトデアレバ、府縣稅市町村稅ノ獨立稅ニ於テモ左様ナ趣旨ヲ尊重スベキデナイカト云フ意味デス

○小山委員長 宮本君ニ一寸御相談申上ゲマスガ、アト五分間カ十分間デ整理シテ戴イテ、アトハ明日デモ……

○宮本委員 承知シマシタ

○按問政府委員 今御話ニナリマシタコトハ、詰リ稅ノ性質ガ全ク違ヒマシテ、御述ニナリマシタ地方稅デモ、從來收益稅體系ニ屬スルモノデモ、例ヘバ營業收益稅ニ課率ノ違ツタコトモアリマスガ、大體人稅ニ於テ果進的ナモノガアルノガ特質デス、地方稅デ茲ニ掲ゲデアリマスモノハ、大體課稅ノ容體ガ物件稅デスカラ、ソレハ所有シ

テ居ル物ニ對シテ果進的ニ課稅スルコトハ一寸課ケ方ガナイノデハナイカト思ヒマス、隨テ地方稅ニ於キマシテハ、所得稅ノ如ク果進課稅ト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ

○宮本委員 私ハ國稅トシテ所得稅ノ課ケ方ガ、國民トシテ國家ニ對スル納稅ノ義務ノ上カラ、一應負擔ノ均衡ヲ得テ居ルモノナリト云フコトニ斷定致シマスレバ、地方稅ニ於キマシテモ、ヤハリ收入本位ト云フコトニ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ根本趣旨ガアルガラウト考ヘマス、尙ホ私ハ市町村稅ニ付キマシテハ一ツノ意見ヲ持ツテ居リマスノデ、今回ノ法律ノ獨立稅ノ建テ方ニ依リマシテ、私ノ意見ノヤウナコトヲヤリ得ルカドウカト云フコトヲ御伺スル前提トシテ、是等ノコトヲ申上ゲテ置キマス、重ネテ申上ゲマスガ、私ハ總テ收入本位ニ於テ稅ヲ取ルコトガ、負擔ノ均衡ヲ圖ルトコトデアルト思フ、所得稅ニ付キマシテハ色々意見モアラウカト思ヒマスガ、國稅ノ體系トシテ所得稅ニ重キヲ置イタト云フコトハソコニアル、然ラバ府縣市町村ノ獨立稅モ、ソコニ其ノ趣旨ヲ置イテ改正ヲシナケレバナラヌデハナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ尙ホ明日伺フコトニ致シマシテ、本日ハ此ノ程度デ打切ルコトニ致シマス

○小山委員長 本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス。午後六時散會

昭和十五年三月九日印刷

昭和十五年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局